

朝來市

# 筒江浦石遺跡

—一般国道483号北近畿豊岡自動車道（春日和田山道路Ⅱ）建設に伴う  
発掘調査報告書Ⅰ—



2007年3月

兵庫県教育委員会

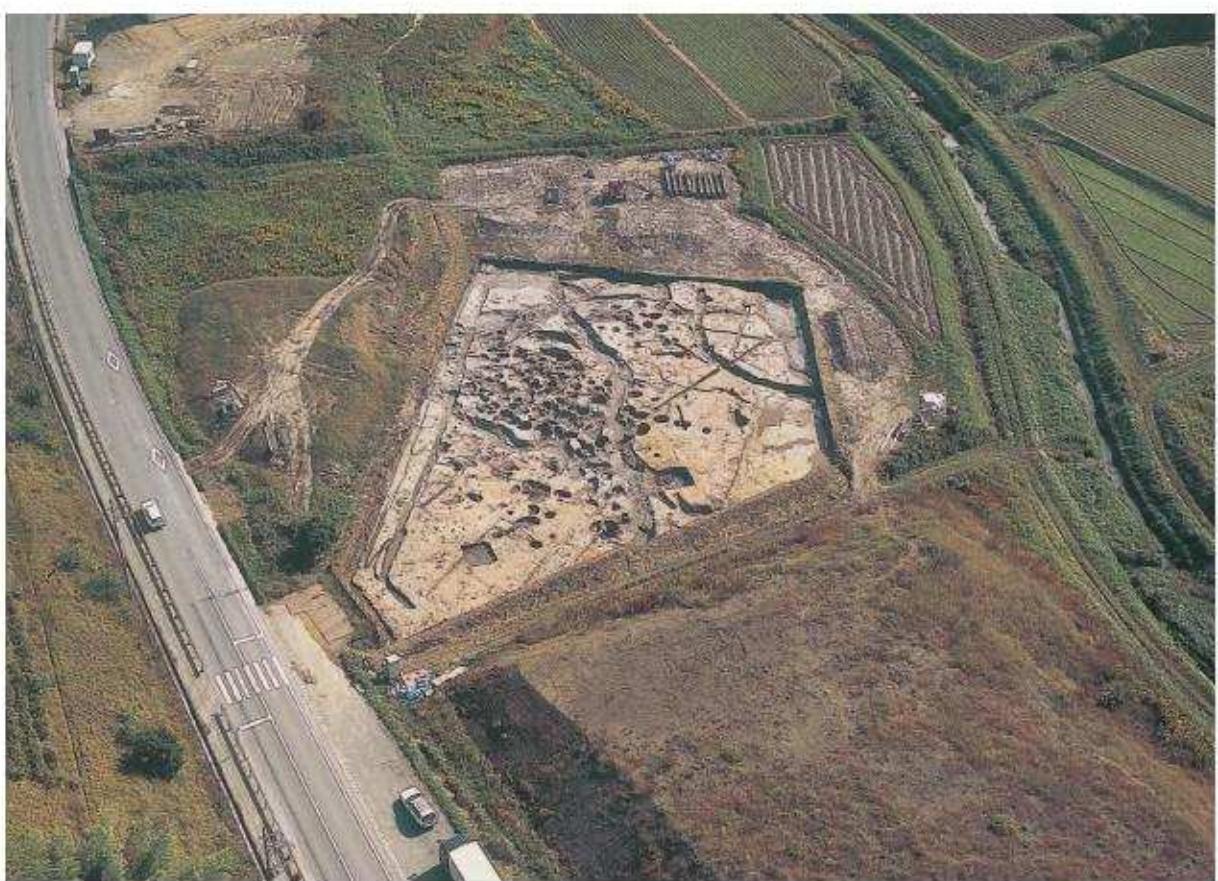
# 筒江浦石遺跡



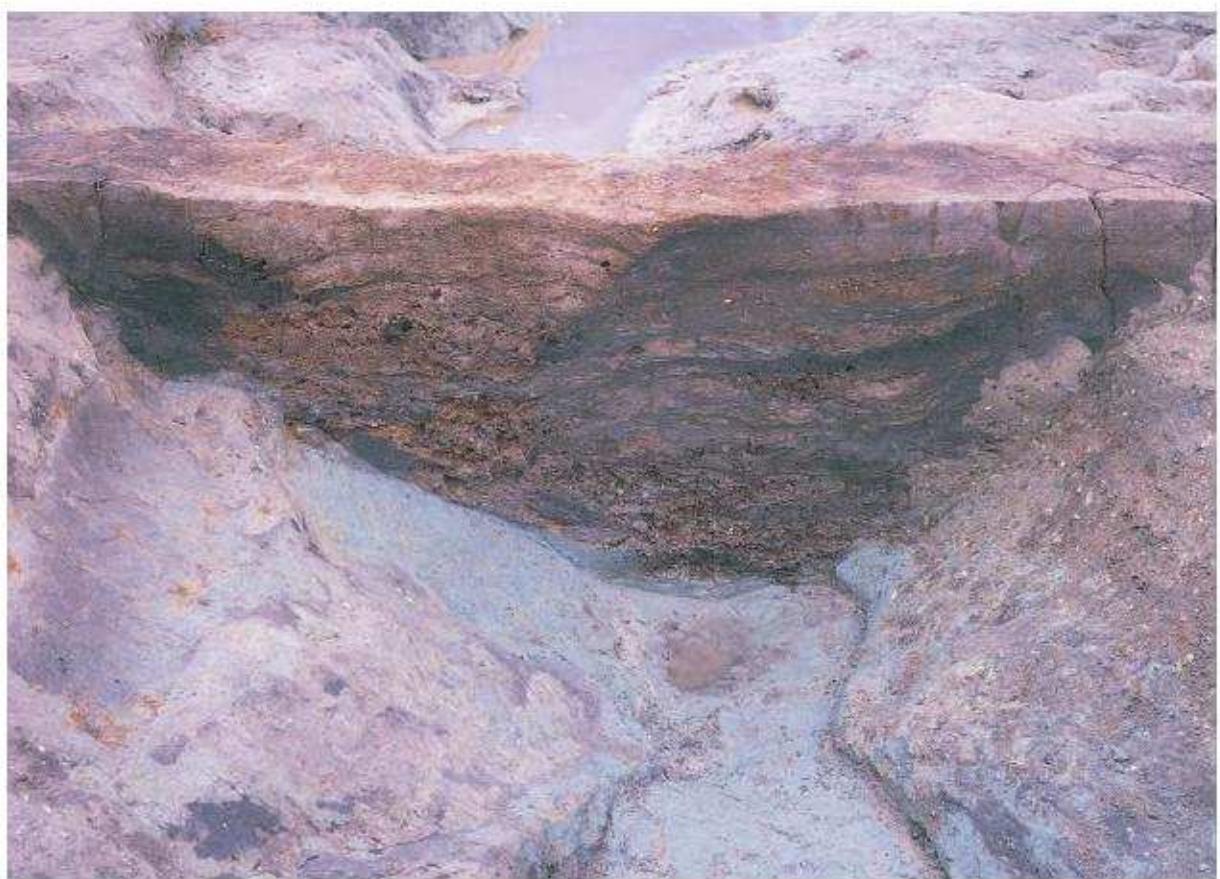


# 筒江浦石遺跡





























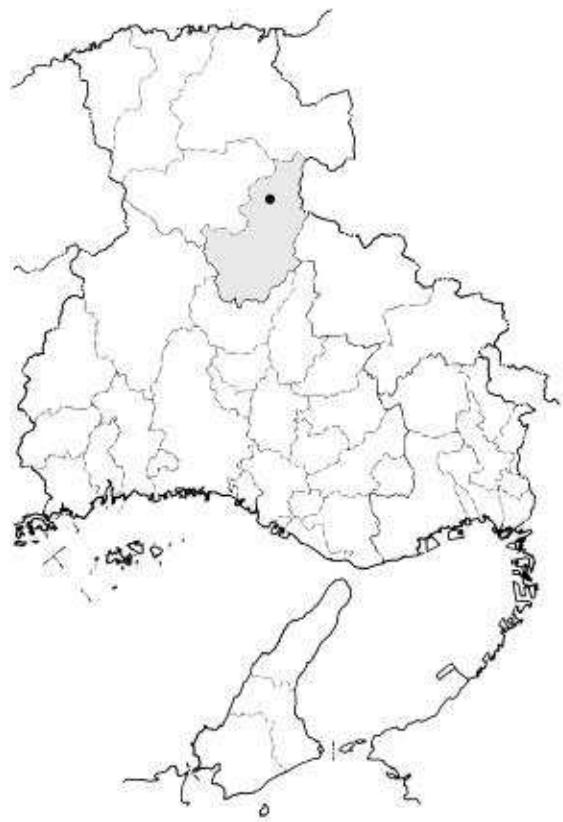




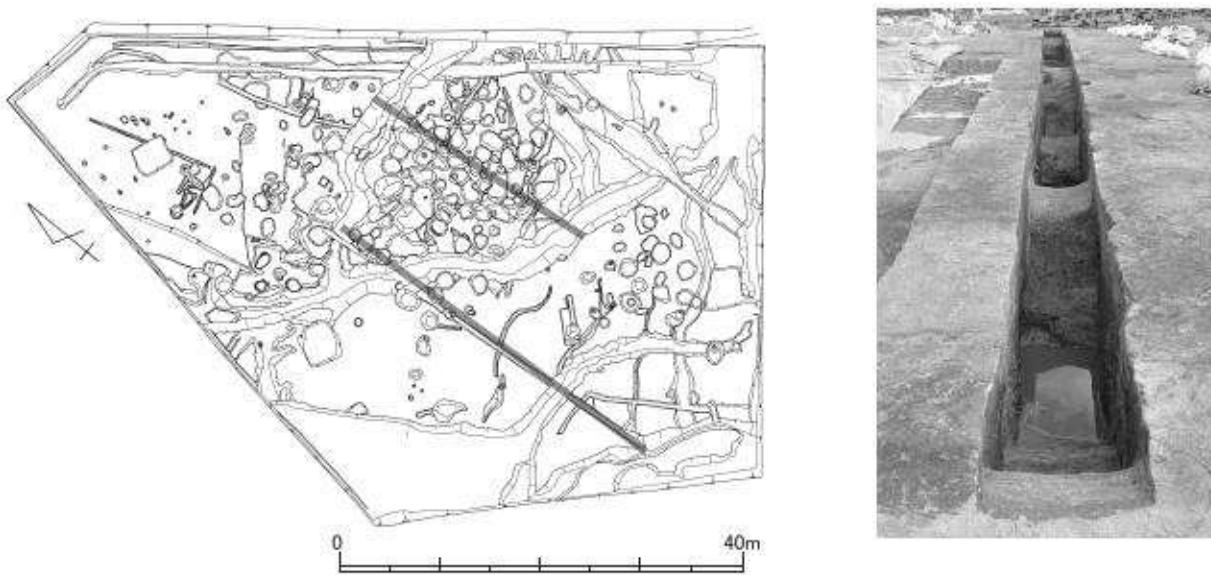












第2図 先行トレンチ配置図と掘削状況

込みと判断するものであるが、遺物が存在する以上は遺構埋土のはずである。そこで、いくつかの土坑で断面に沿って断ち割りを入れたところ、地山と埋土の識別が不十分であったことが判明した。即ち、多くの土坑は鉢状では無くほとんど垂直か袋状に、底面はほぼ平坦に掘削されており、底面付近では横に抉るような掘削状況も確認された。そして底面に接する土坑壁には良質な粘土層が存在することも判明し、ここで初めて粘土採掘土坑と認識することができたのである。SK065において粘土採掘に使用されたと考えられる鍬が出土したこと、この認識を裏付けるものと考えた。

遺構の性格が判明すると、掘削を終えたと考えていた土坑にも掘り足りていないものが多数有ることが判り、改めて掘削し直すことになった。また、これ以降は断面図を実測する際に、埋土だけではなく粘土層の位置を書き込むようにした。

こうしてようやく筒江浦石遺跡の遺構の性格が判明した時には、すでに調査期間の約半分が経過していた。その後は、最終的に200基近い数にもなった土坑の半裁、断面実測と写真、完掘をひたすら繰り返す日々が続いた。土坑の形態は袋状であったり、粘土層部分を横に抉ったりするものが多いことは断面では認識できるのであるが、こうした特徴を失わずに掘削を進めることは困難で、筒状に完掘してしまったものも多かった。また、個々の土坑の平面図を詳細に実測する時間的な余裕はすでに無く、大半の平面図は10月27日に実施した空測による1/50平面図に頼らざるを得なかった。したがって、土坑の断面図と平面図には齟齬をきたすものが多くなってしまっている。

この他、断面形や埋土が特徴的な2基の土坑（SK045・SK084）について、断面の剥ぎ取りを行った。両者の粘土層部分は、SK045では全く砂粒が含まれておらず肌理の細かいものであるのに対して、SK084では砂粒が多くかなりざらついた感がある。剥ぎ取った断面を比べるとその違いが明確にわかる。

また、すべての遺構調査が完了した後に、遺跡における微地形の形成過程に関する情報を得るために、立命館大学の青木哲哉氏の指導のもと断ち割り調査を実施した。断面の実測を行うとともに、年代測定用試料として、土壤と堆積土中の木材のサンプリングを実施した。これらの分析結果は第7章で報告している。

#### 第4節 整理作業の経過

出土品整理作業は平成17年度から開始した。土器は水洗とネーミング、実測、接合・補強、復元、写真撮影までを実施し、金属器と木器は実測と写真撮影、保存処理を行った。

土器の復元作業では、通常の遺跡の場合では全体を復元するような土器であっても、粘土採掘土坑出土土器についてはできるだけ行わないようにした。大きく割った破片の状態で土坑内に廃棄されていることが意味のあることと考えたからである。

作業中には、立命館大学の青木哲哉氏と赤穂市教育委員会の荒木幸治氏に学識経験者として来所いただき、遺跡の形成過程や土器などについてご教示を得た。

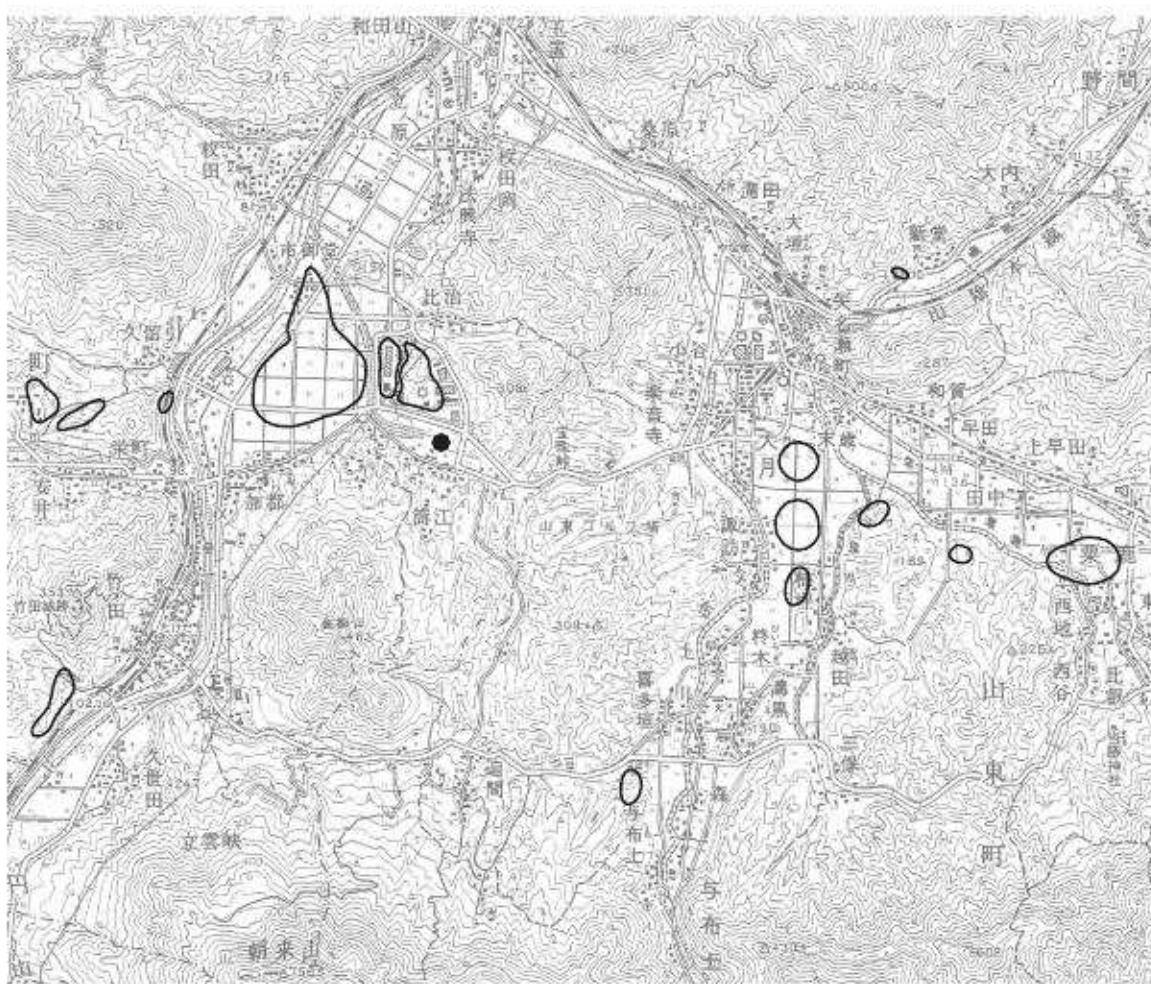
木器については調査段階ではほとんどすべてを取り上げていたが、現地の事務所で選別を行い、107点を将来的に保存すべき遺物として持ち帰っていた。板や自然木の多くは現地でのメモ写真撮影と法量や加工状況の記録を行い、樹種同定が可能な程度のサンプルのみを採取した後に廃棄している。持ち帰った107点の内、44点については実測と写真撮影を実施した。また、保存処理はPEG含浸法によって行った。SK065出土の一木鋤については真空凍結乾燥法による処理を試みたが、遺物が脆弱であったため全般的に落ち込みなどの変形が生じた。処理方法の選択ミスが原因である。

この他、外部委託による分析・鑑定として、<sup>14</sup>C年代測定、土器の胎土分析、木器の樹種同定も平成17年度に実施した。これらの結果は、第7章で報告している。

平成18年度には遺構図補正と遺構・遺物のトレース、レイアウト作業を行った。200基近い土坑の平面図や断面図、写真などの情報を整理するのに多くの時間が費やされた。その後、編集作業を経て本報告書を刊行した。

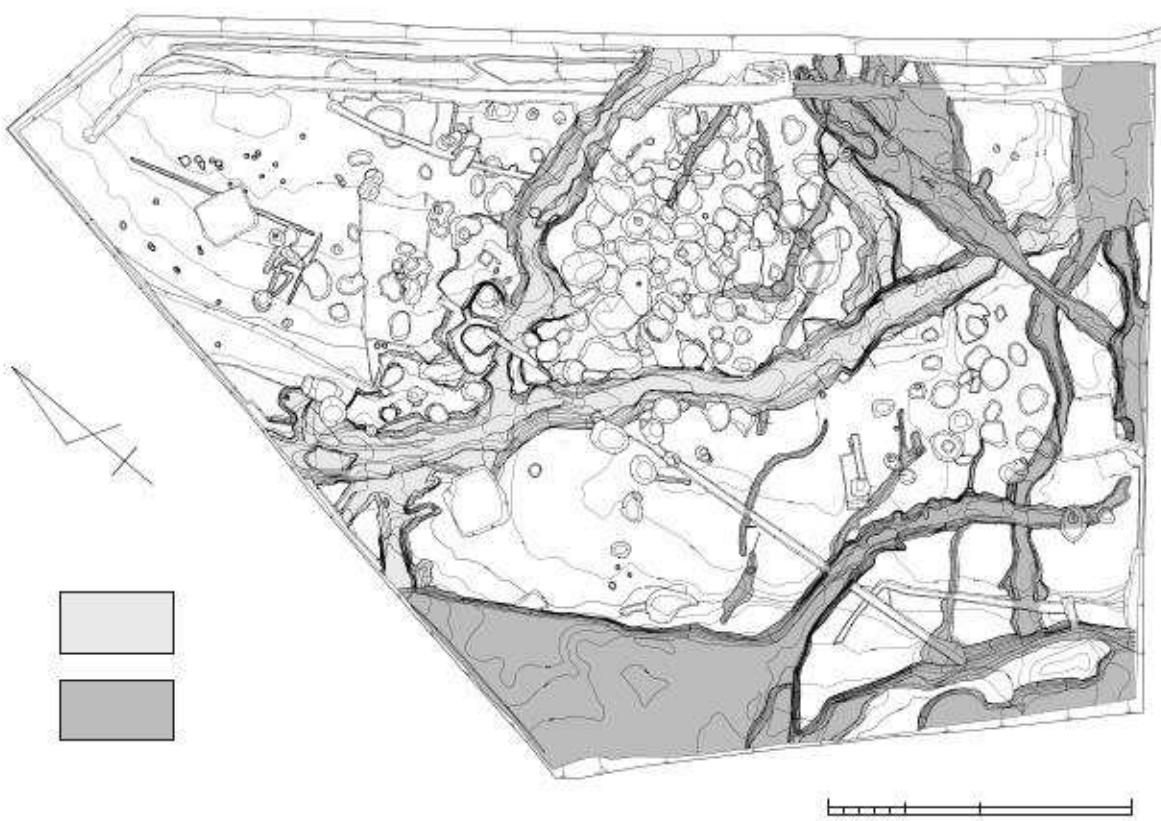










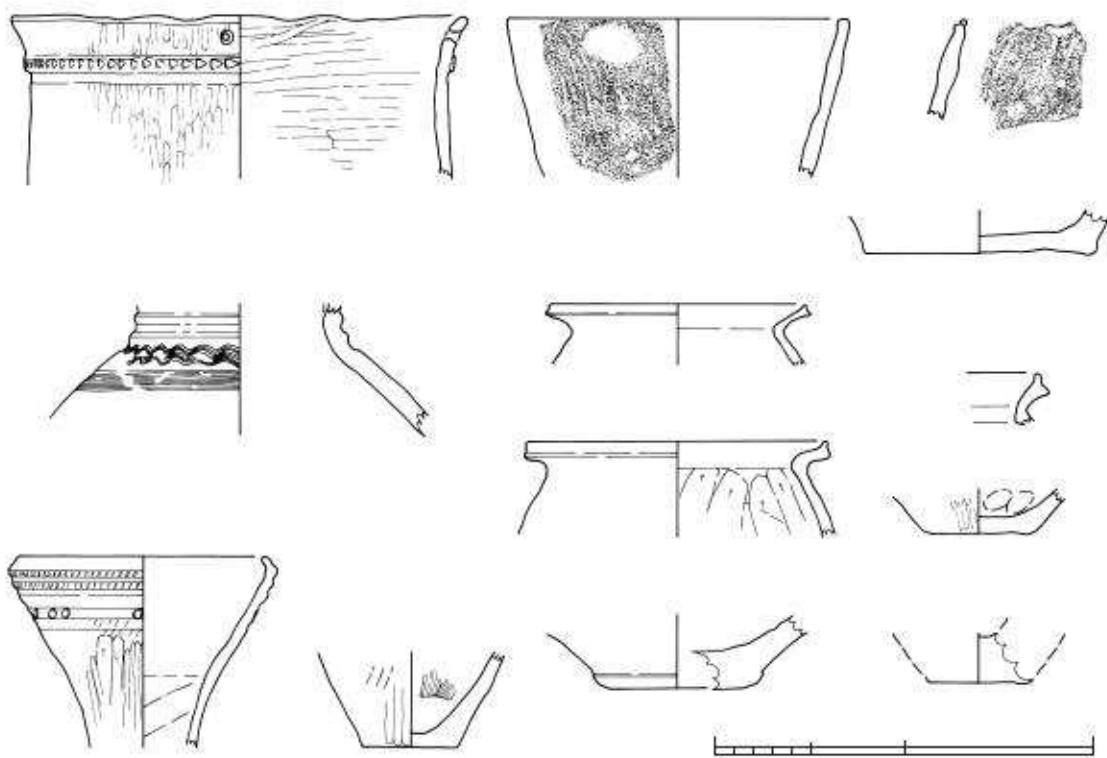


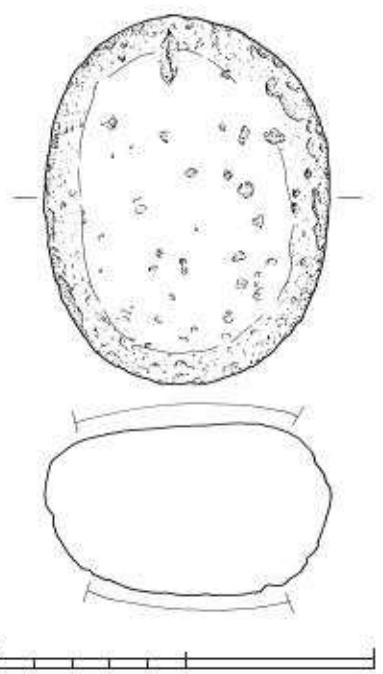
遺構面は1面で、北端では12層（黒灰色シルト）上面にあるが、南に向かうと25層（黒灰色砂混じりシルト）上面、29層（暗灰色砂混じりシルト）上面、34層（灰色砂混じりシルト）上面というように順次別の層に変わってゆく。12層の上面には深さ10cmぐらいの不規則な凹凸が認められるところがあり、耕作等に伴って生じた可能性がある。足跡と考えられなくもないが断面で見る限り少し窪みが大きいように感じられる。平面的な調査は行っていない。

こうした土層の堆積状況は西壁から東へ離れるにしたがって次第に異なった状況を示す。SD002より東側で調査区の北東壁際では、山側となることから削平の度合いが大きく、耕作土直下のごく浅い位置に遺構面がある。遺構面はやや濁った暗灰色をしており、ここですべての遺構を識別することは困難である。しかし、少し削り下げるかと青灰色の砂質シルトが広範に認められ、遺構の識別ははるかに容易となる。この辺りには黒色系のシルト層はほとんど残っていないが、粘土採掘土坑の埋土には黒色シルトが含まれている。かつては上層にあった黒色系のシルトが削平されたことを示すものであろう。

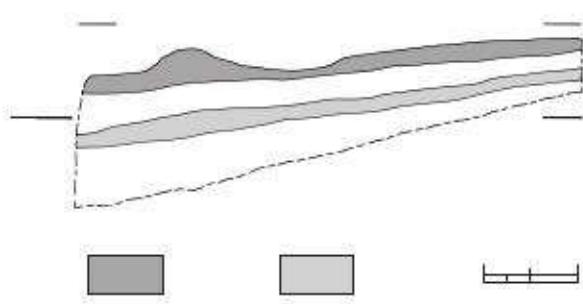
また、SD002とSD003の合流部付近には黒色土が10~20cmの厚みをもって溜まり状に堆積していた。この層が粘土採掘土坑以降に堆積したものか、それ以前の堆積物であるのかは明らかにすることはできなかったが、土坑の検出はこの層を除去しないと不可能であった。



























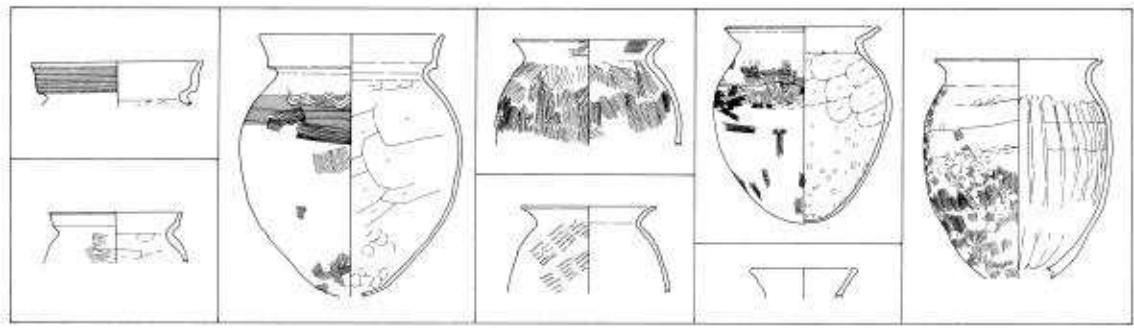












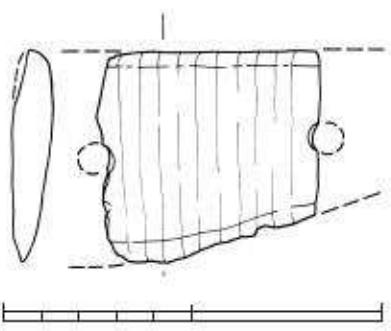












衲

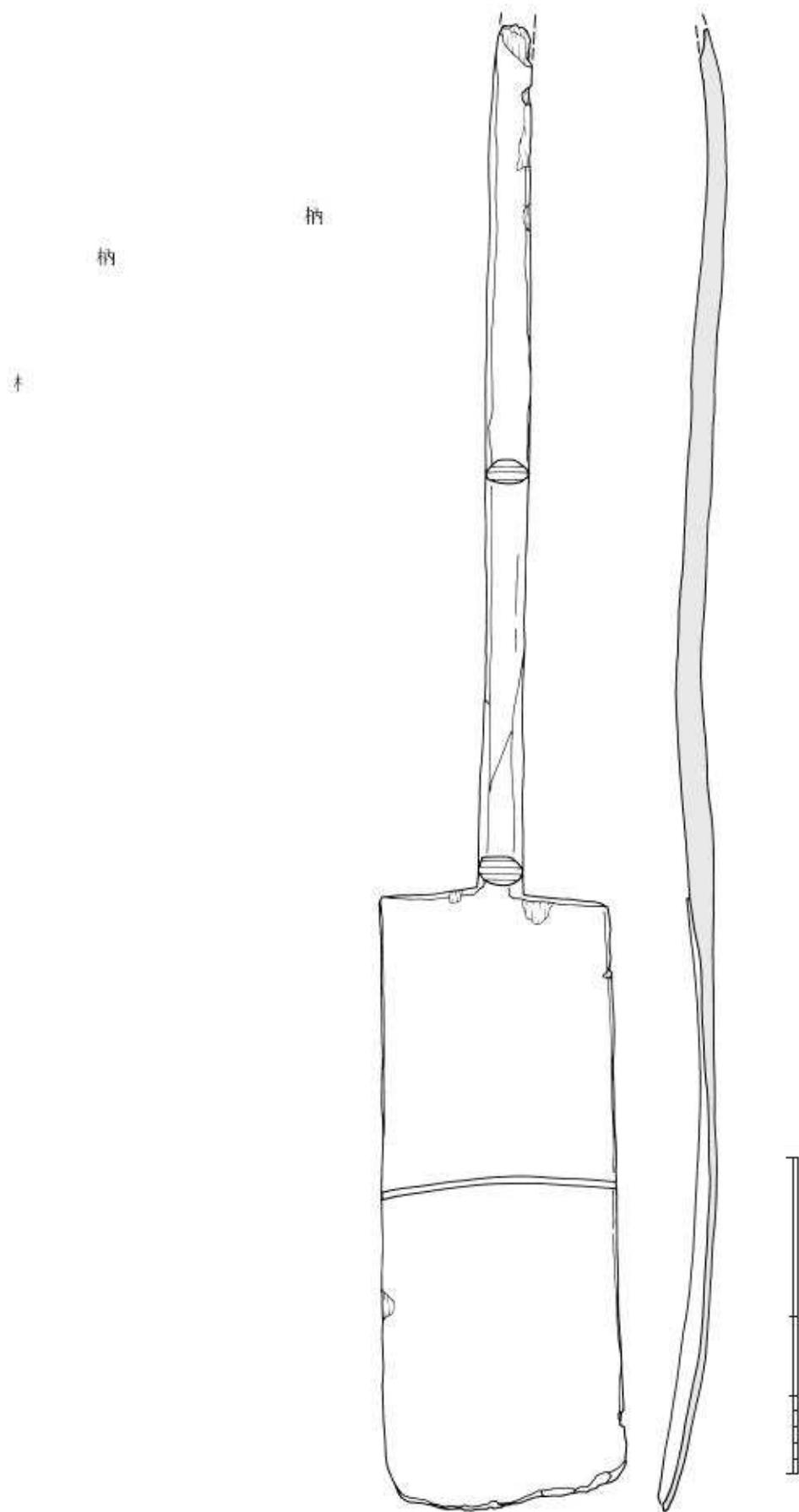
衲

衲

衲

衲





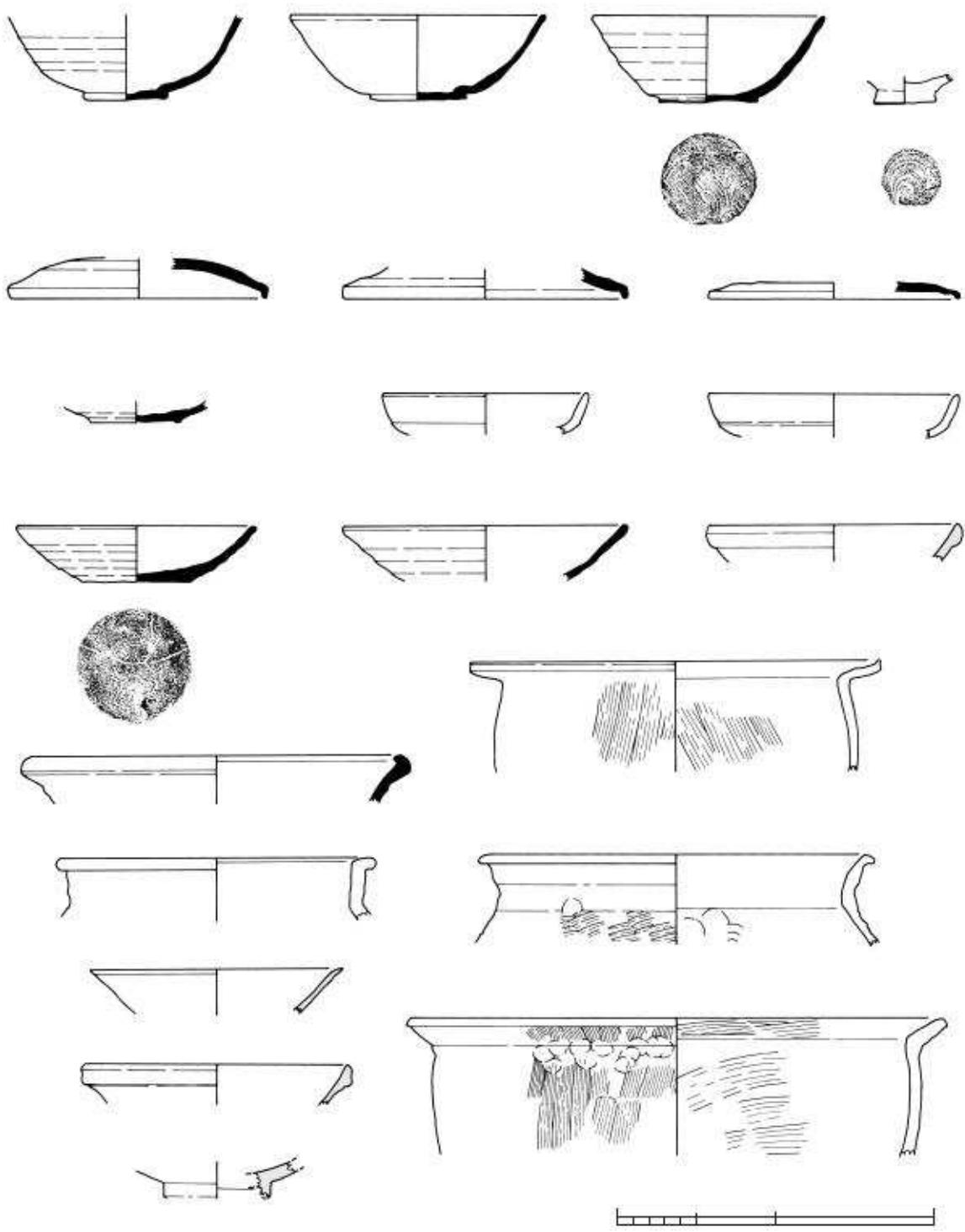
柄

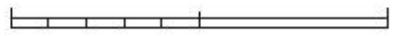
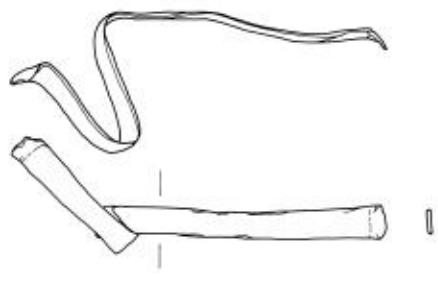
柄

柄



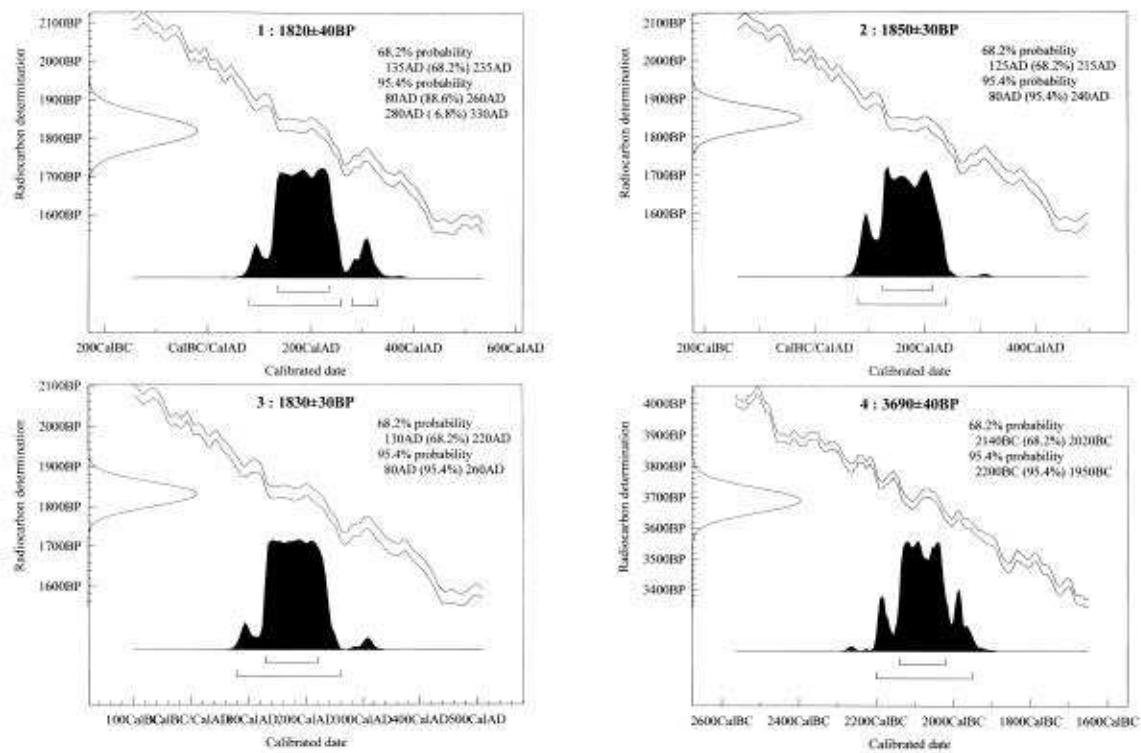


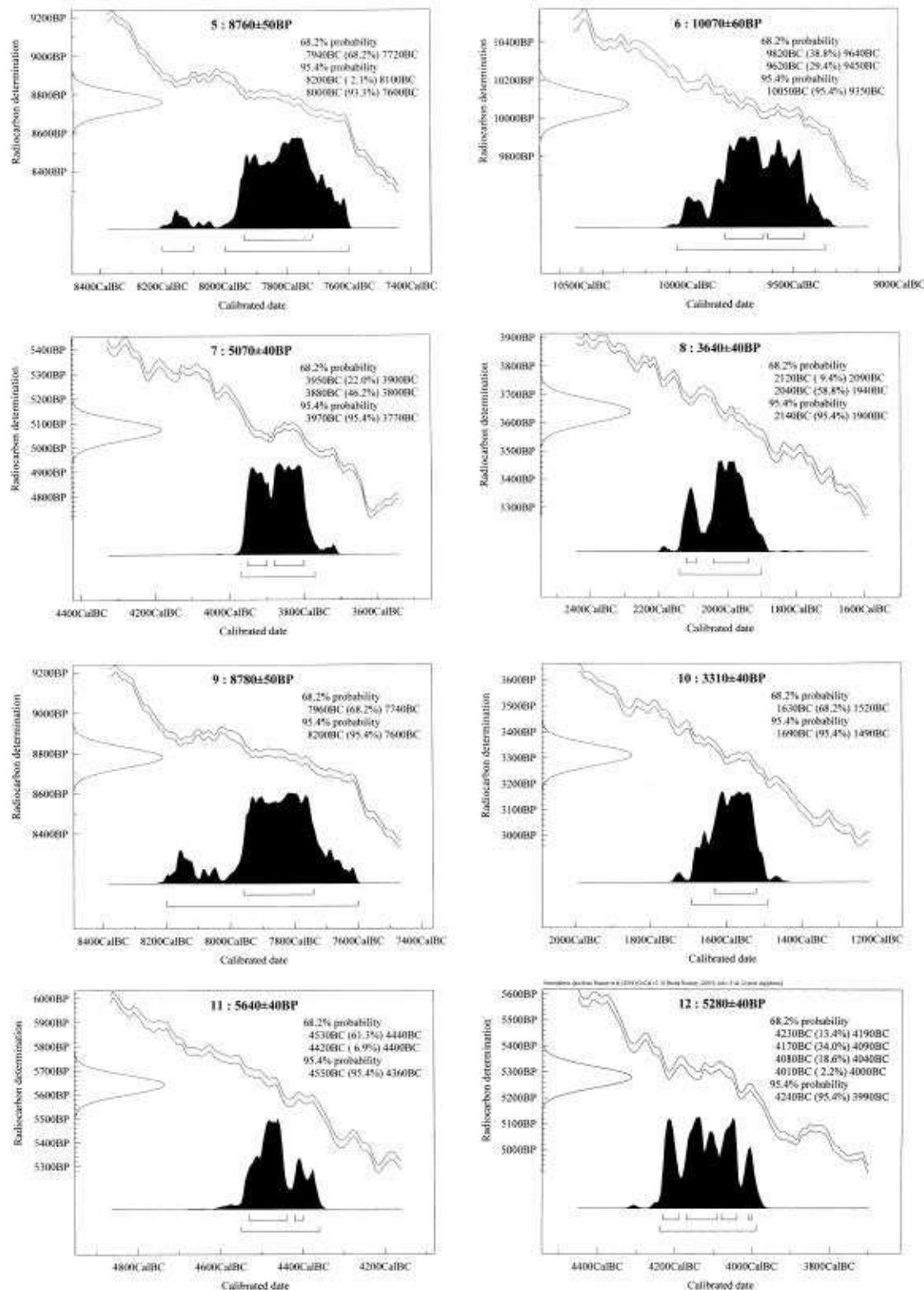


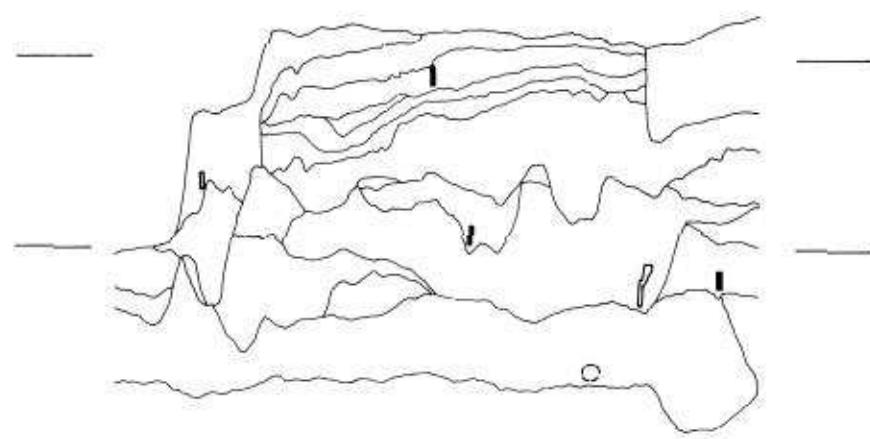
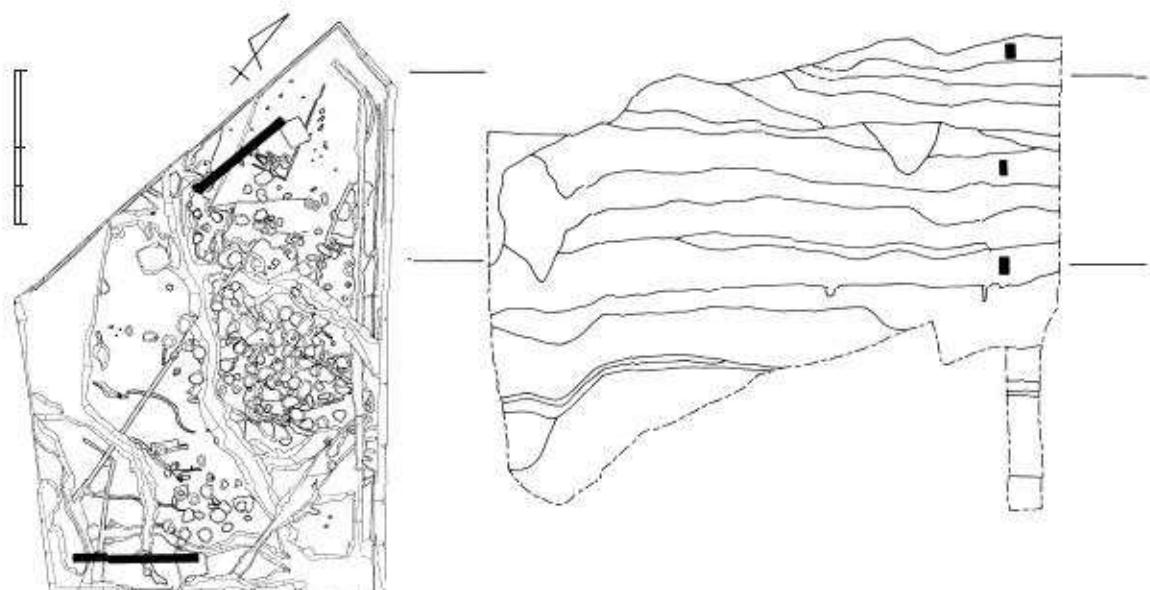
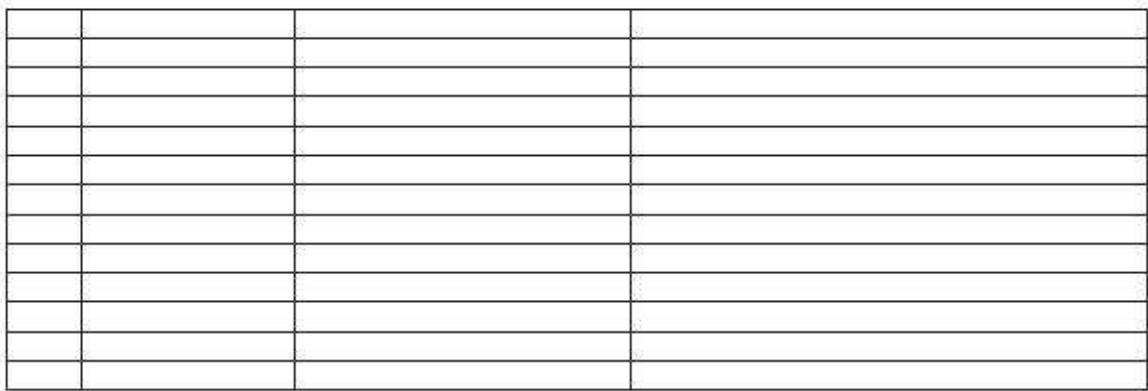




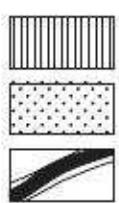
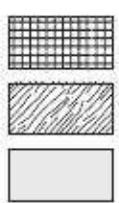
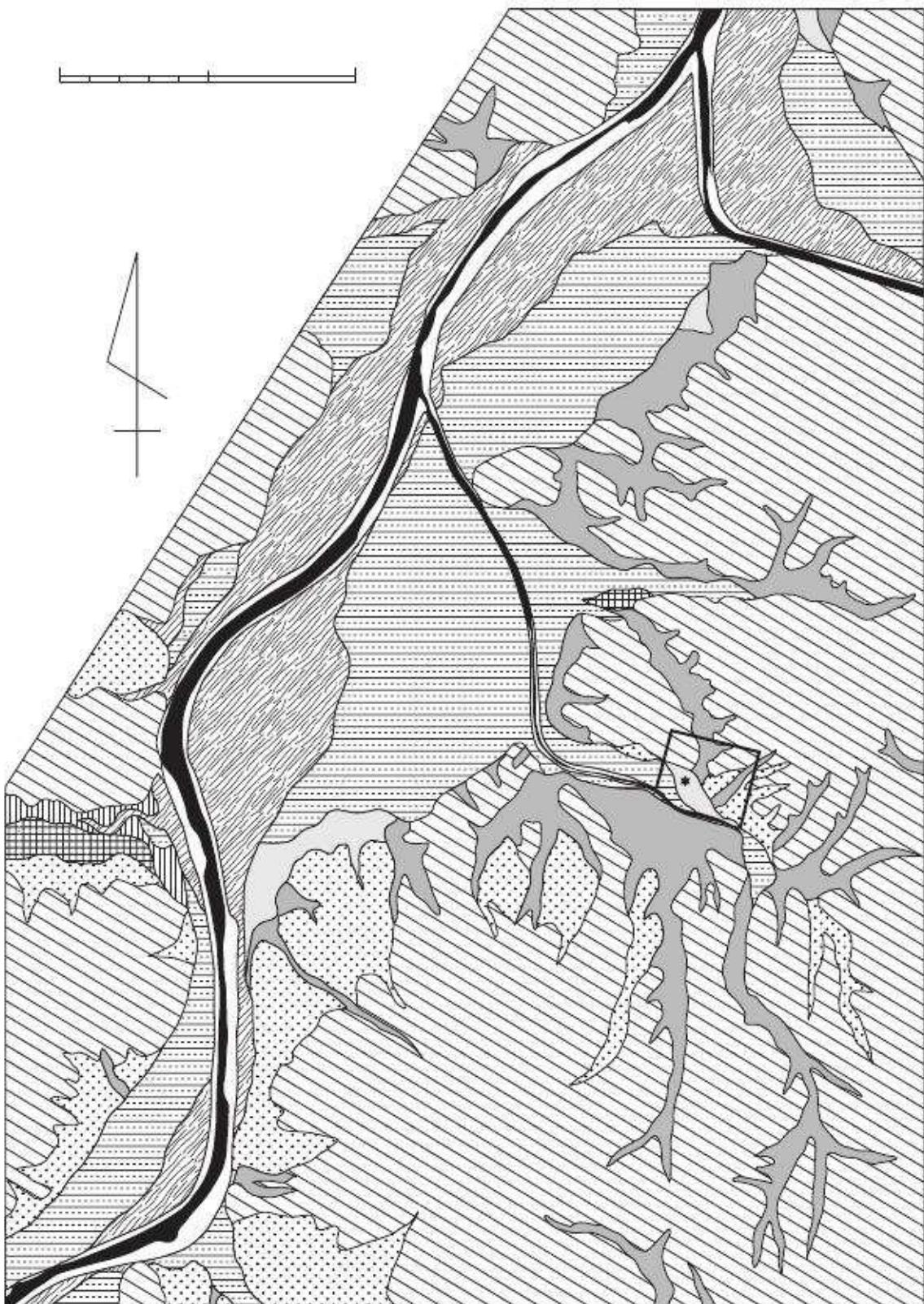


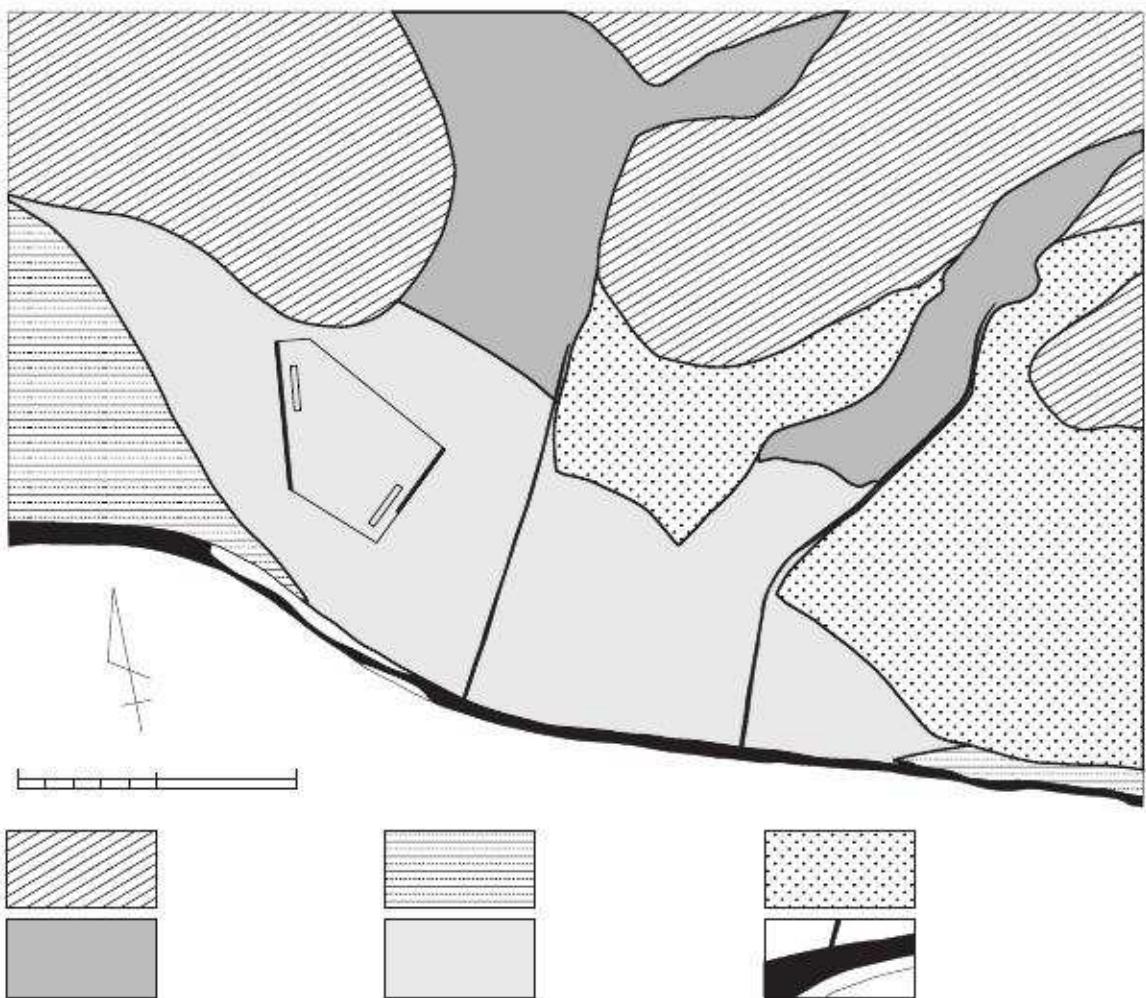





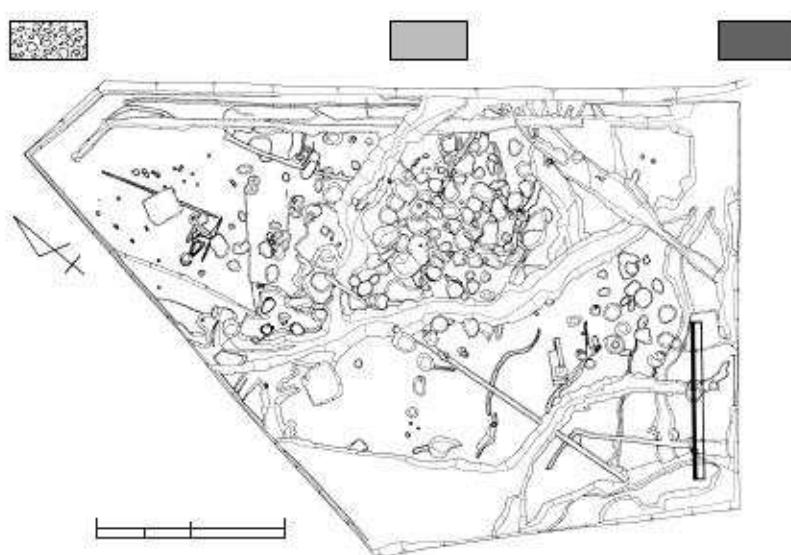
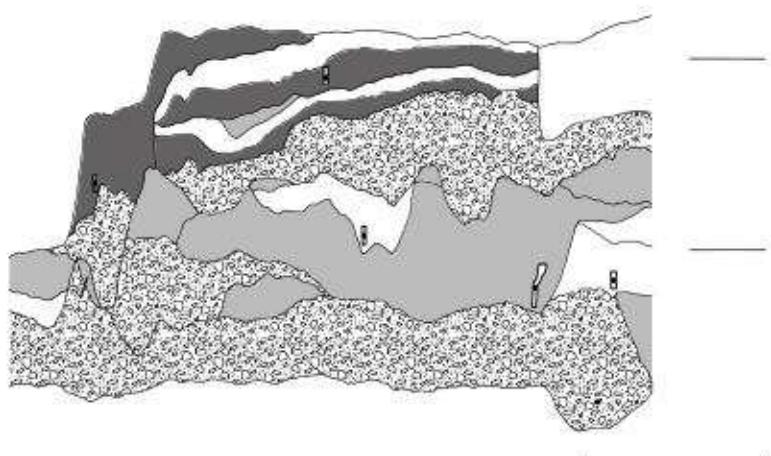


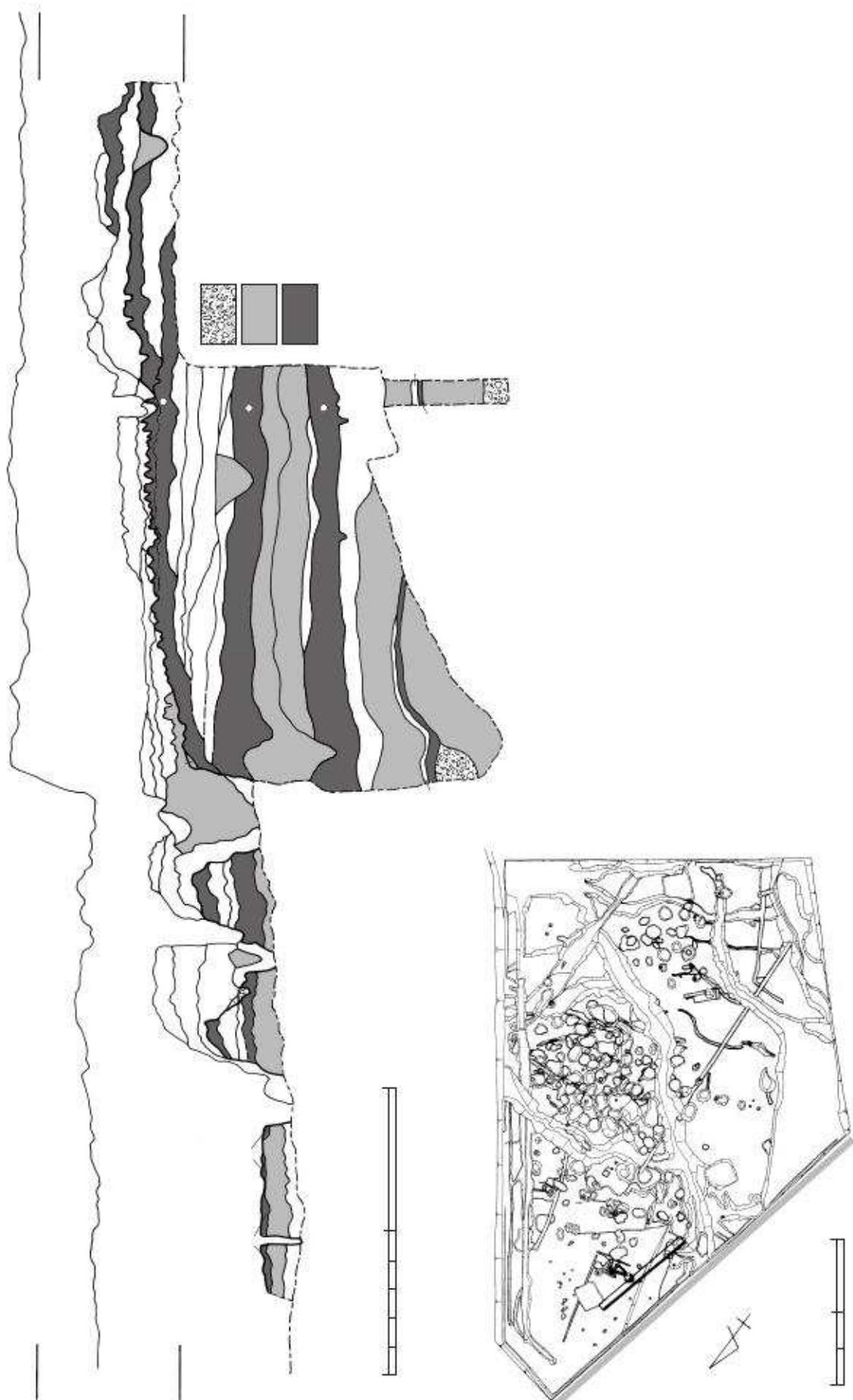




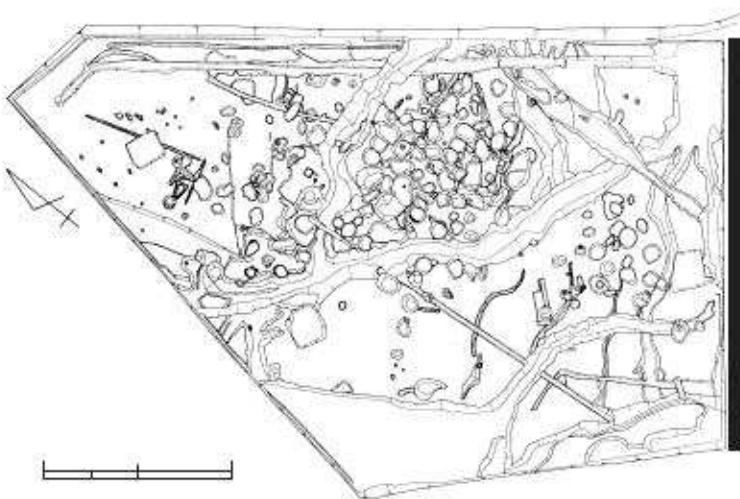
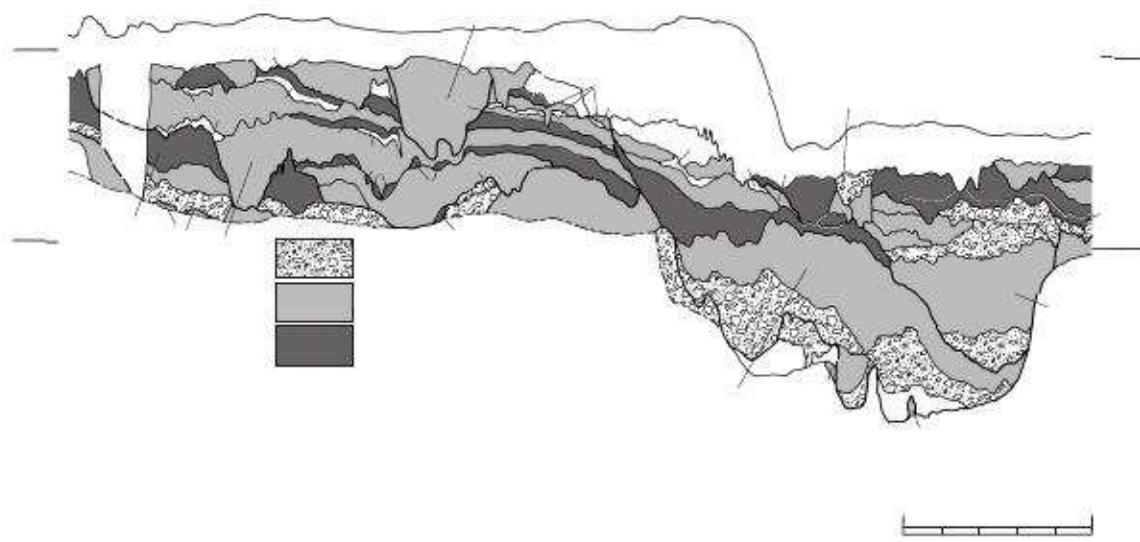














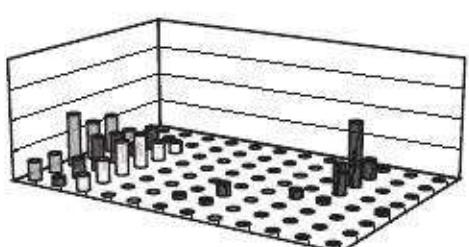
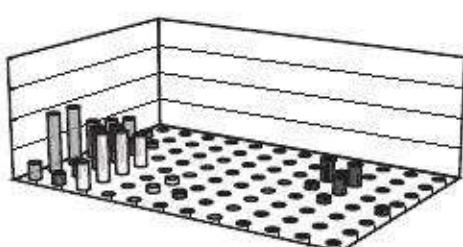
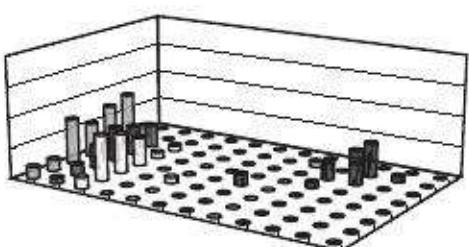
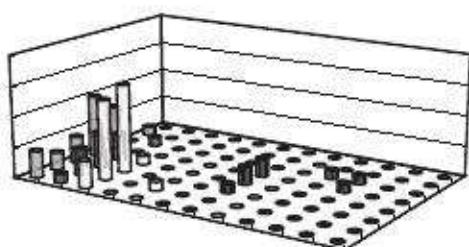
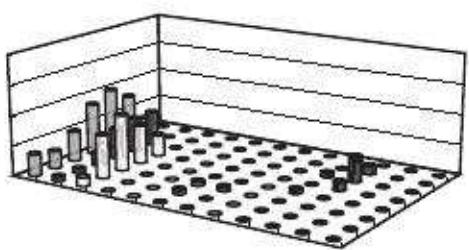
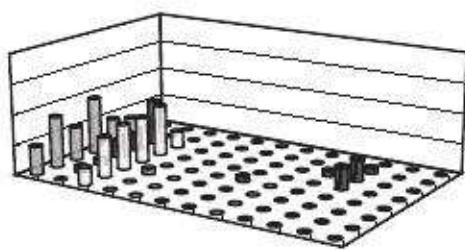
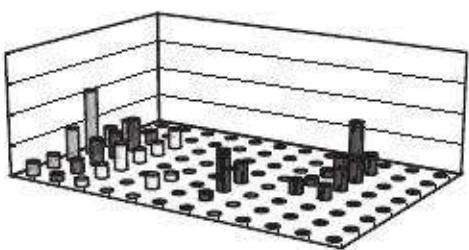
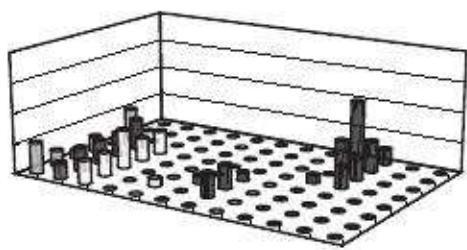
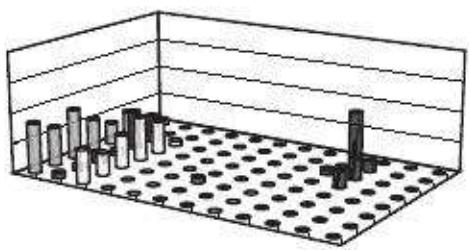
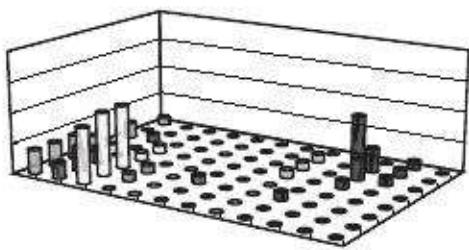


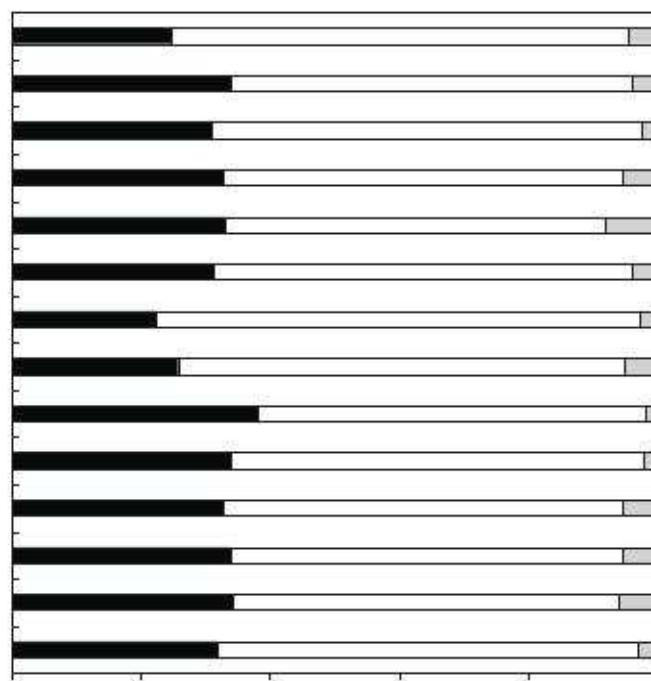
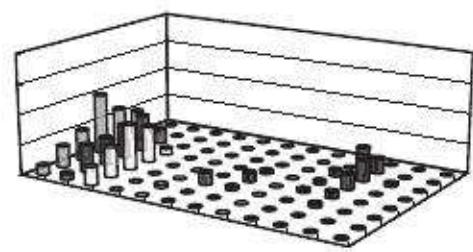
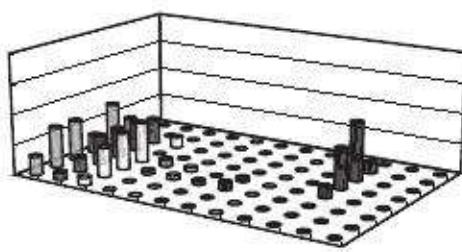
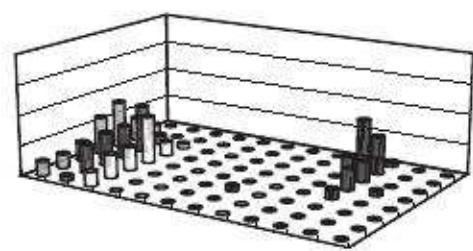
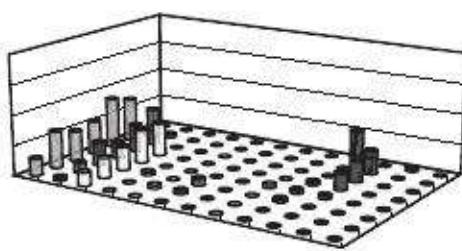


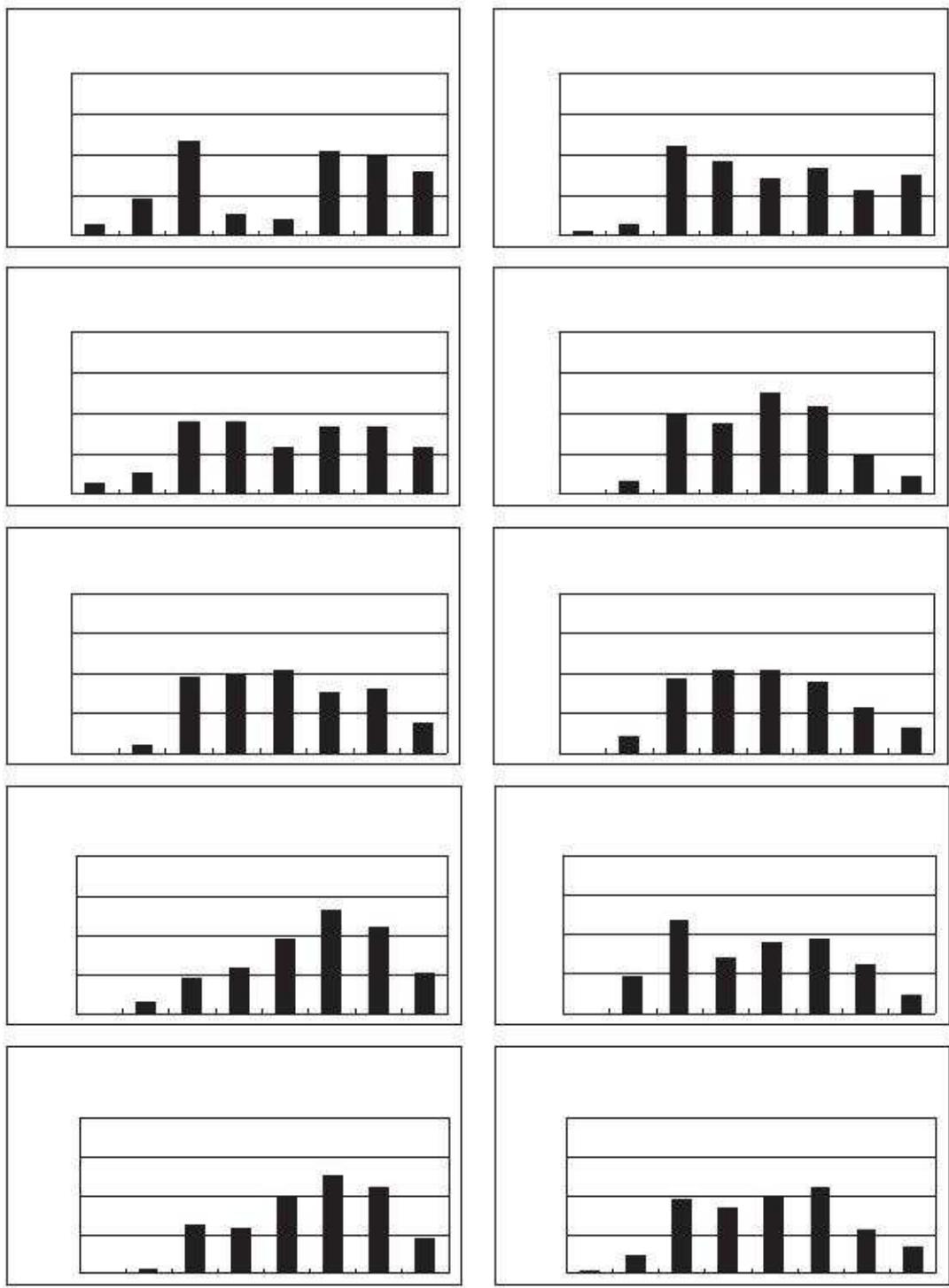


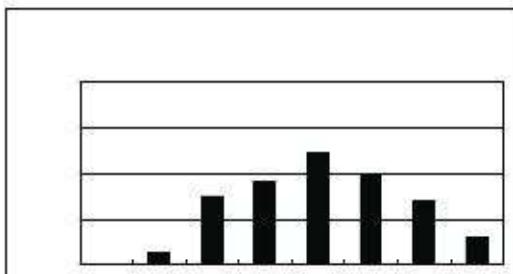
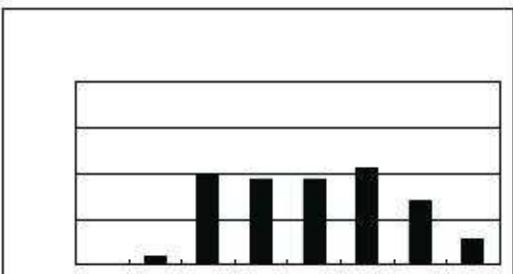
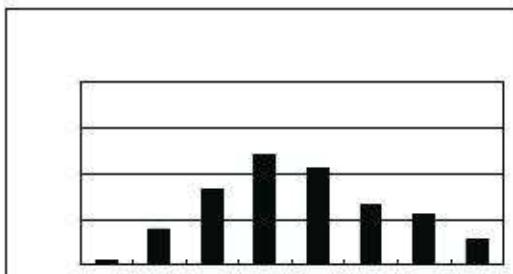
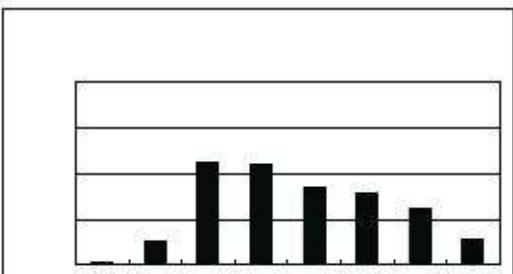




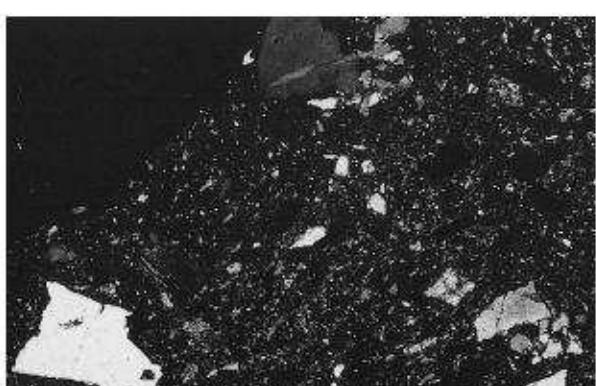
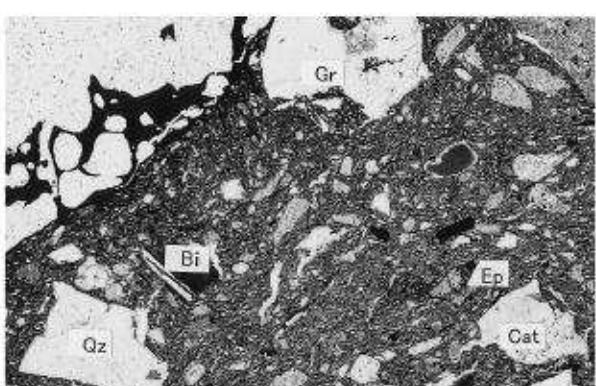
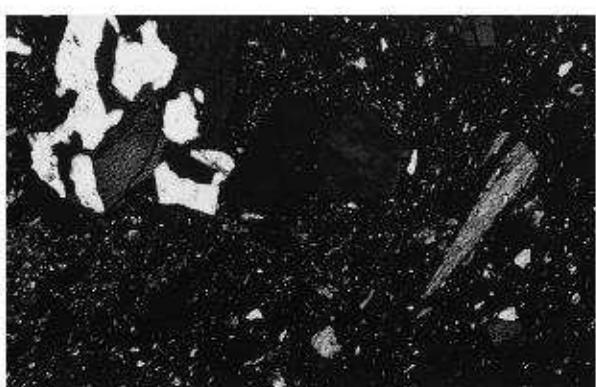
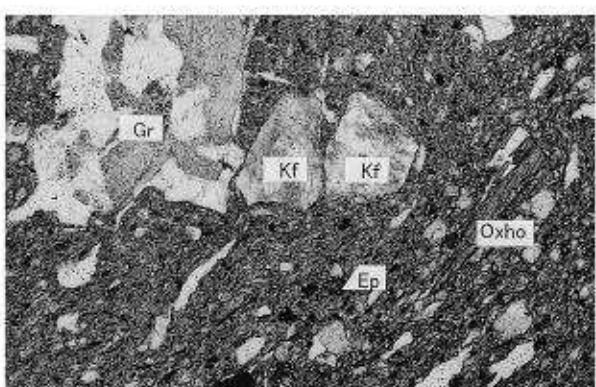
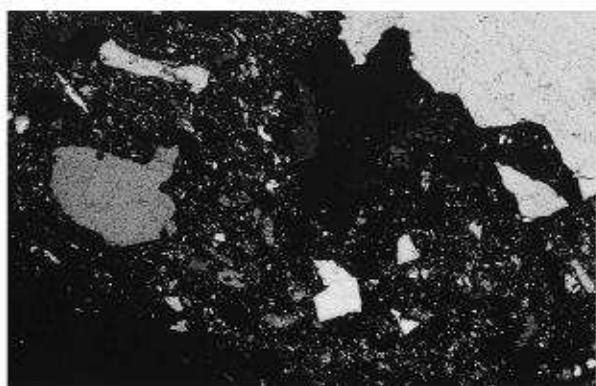
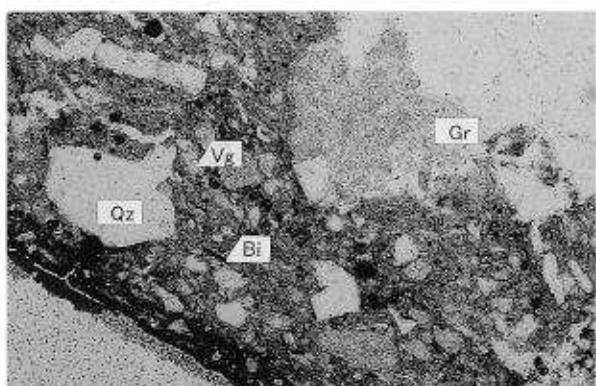
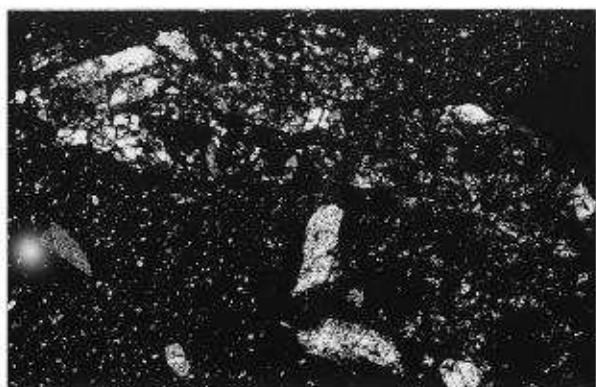
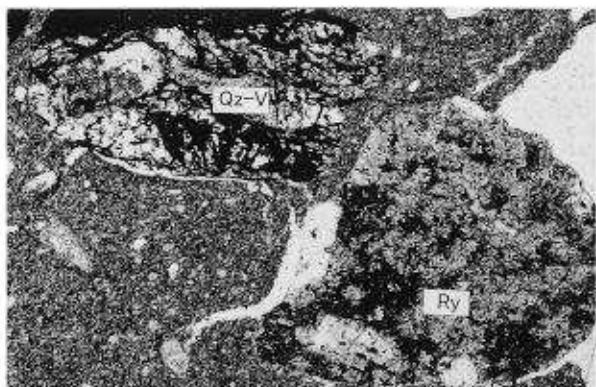




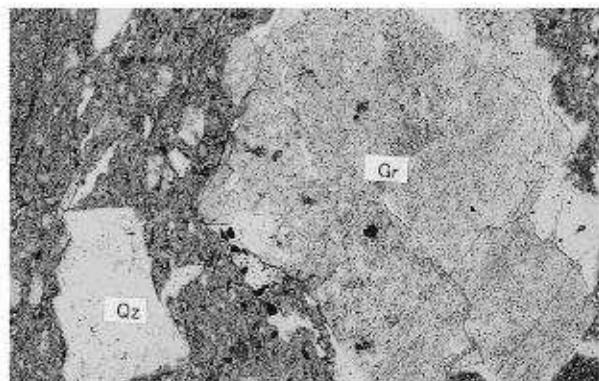




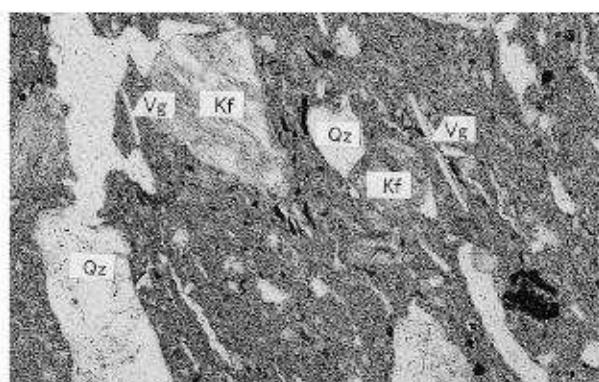
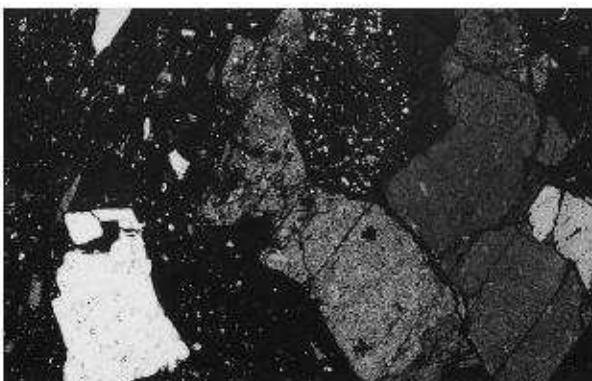




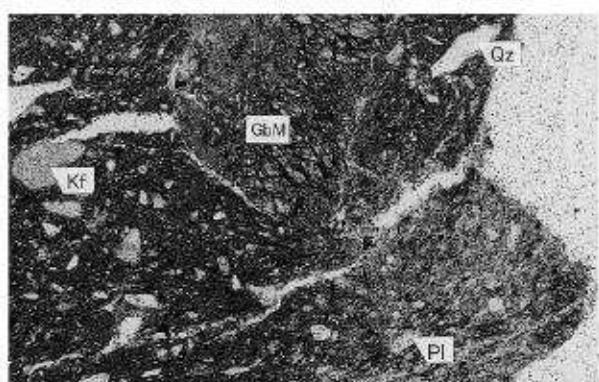
—



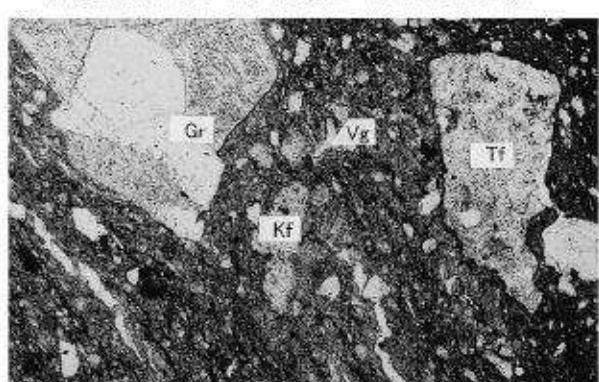
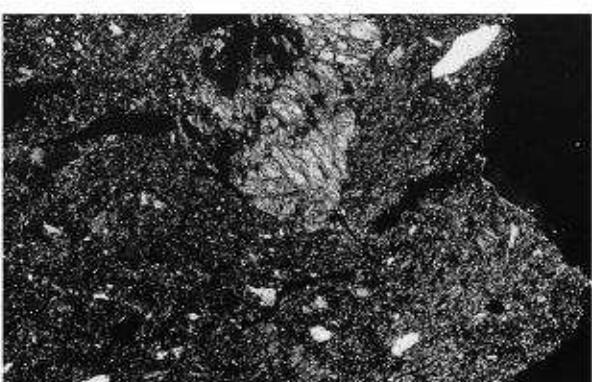
5. 資料No.5 (22 山陰系疊C 2) 筒江浦石遺跡



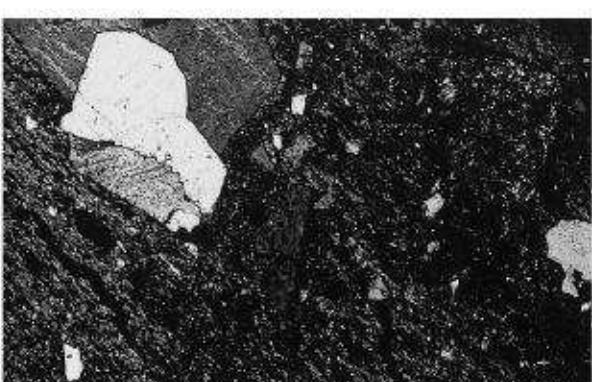
6. 資料No.6 (62 畿内系疊D) 筒江浦石遺跡



7. 資料No.7 (43 畿内系疊D) 筒江浦石遺跡



8. 資料No.8 (40 畿内系(布留傾向)疊F) 筒江浦石遺跡



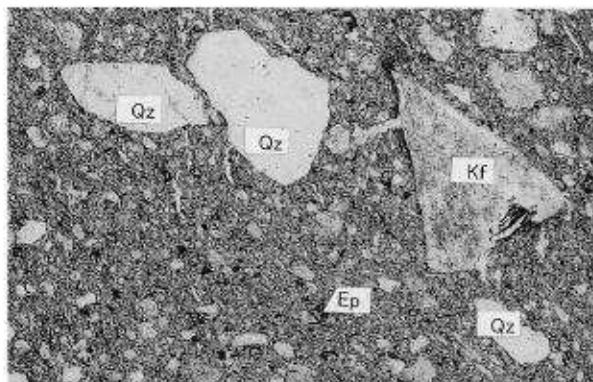
Qz:石英 Kf:カリ長石 Gr:花崗岩 Tf:凝灰岩 Pl:斜長石

Vg:火山ガラス GbM:はんれい岩

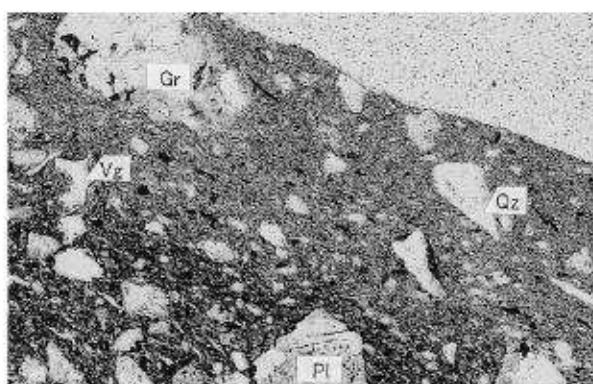
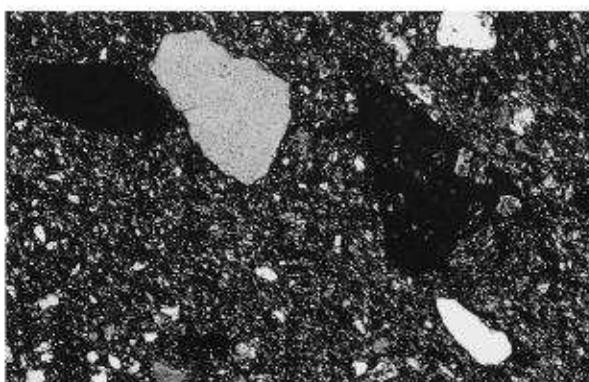
写真左列は下方ポーラー、写真右列は直交ポーラー下。

0.5mm

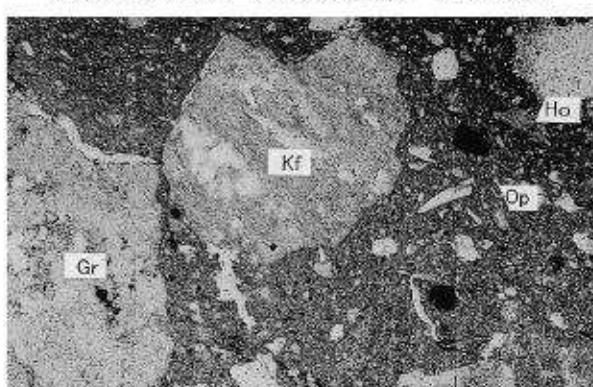
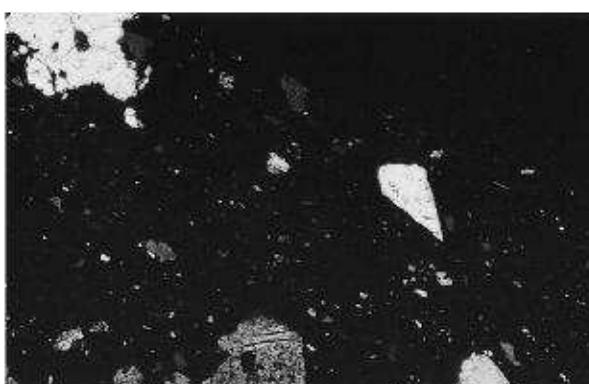
第27図 胎土薄片(2)



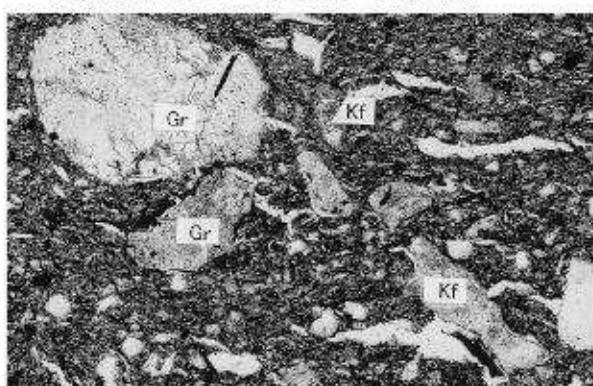
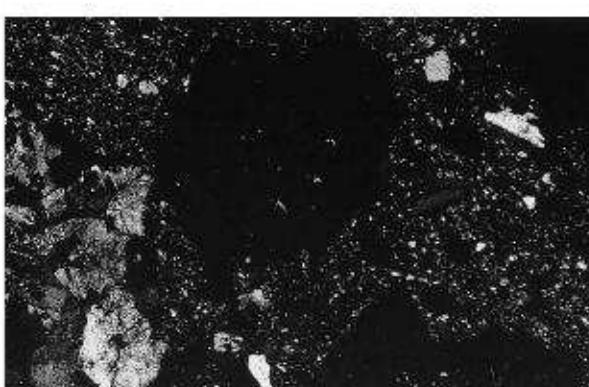
9. 資料No.9(94 畿内系(布留傾向)壺F 筒江浦石遺跡)



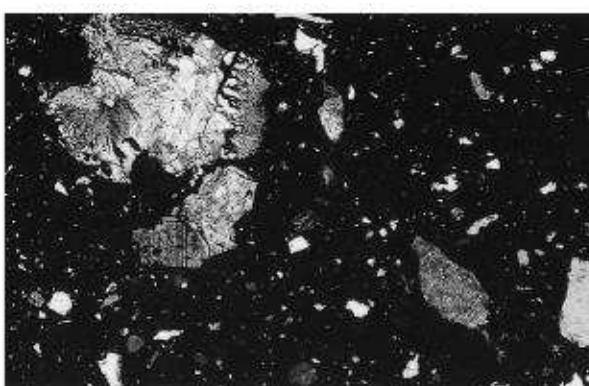
10. 資料No.10(130 山陰系鼓型器台 片引遺跡)



11. 資料No.11(133 布留型壺 片引遺跡)



12. 資料No.12(132 山陰系壺 片引遺跡)



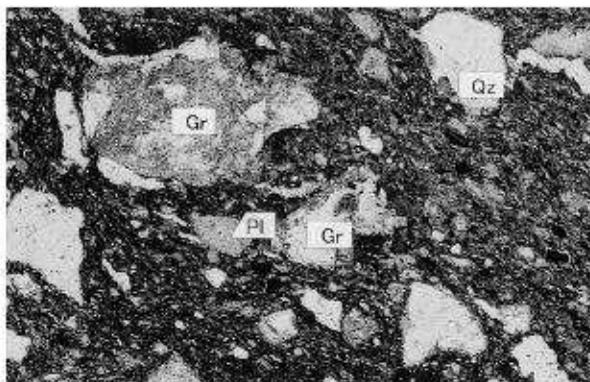
Qz:石英 Pl:斜長石 Kf:カリ長石 Ep:緑レン石 Ho:角閃石 Op:不透明鉱物

Gr:花崗岩 Vg:火山ガラス

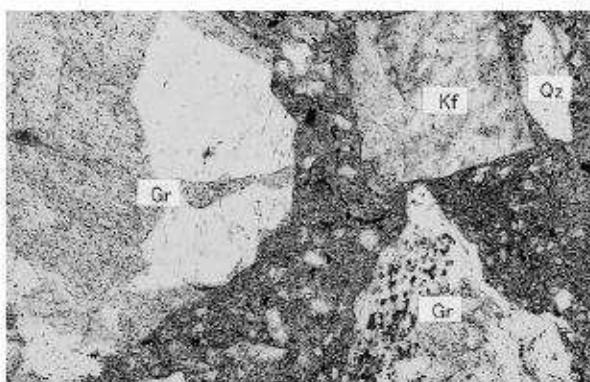
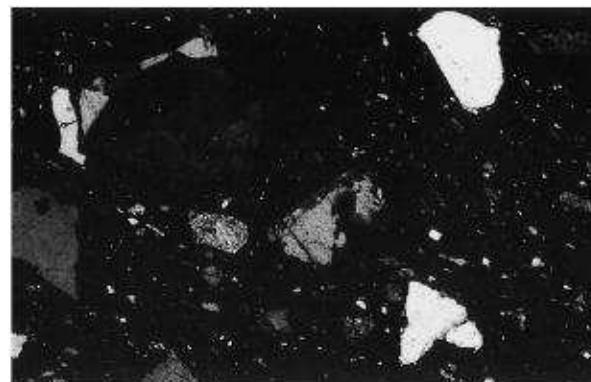
写真左列は下方ポーラー、写真右列は直交ポーラー下。

0.5mm

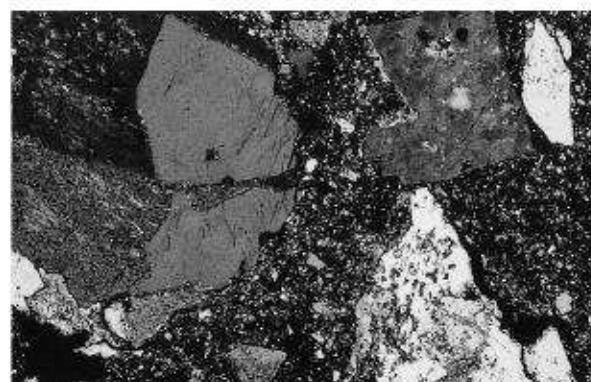
第28図 胎土薄片(3)



13. 資料No.13(131 山陰系壺 片引遺跡)



14. 資料No.14(粘土(探掘目的と考えられる粘土層より採取) 筒江浦石遺跡)



Qz:石英 Kf:カリ長石 Pl:斜長石

Gr:花崗岩

写真左列は下方ポーラー、写真右列は直交ポーラー下。

0.5mm

第29図 胎土薄片(4)

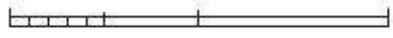
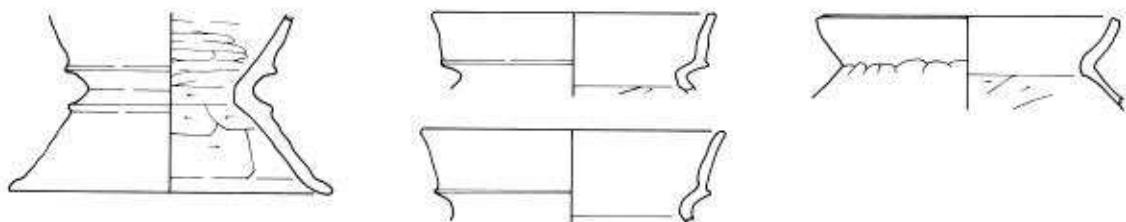
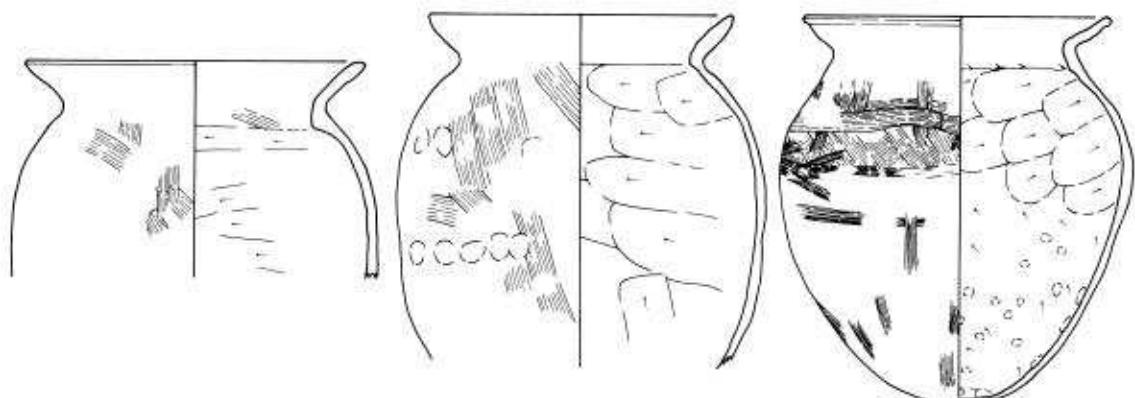
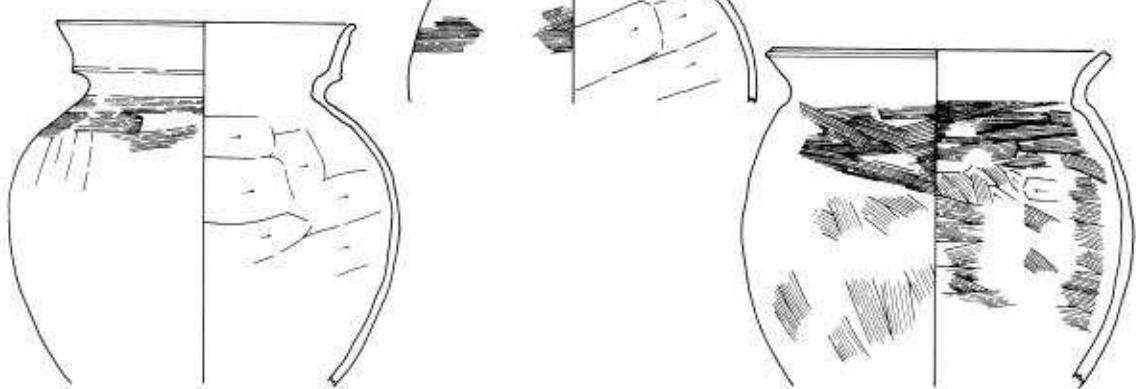
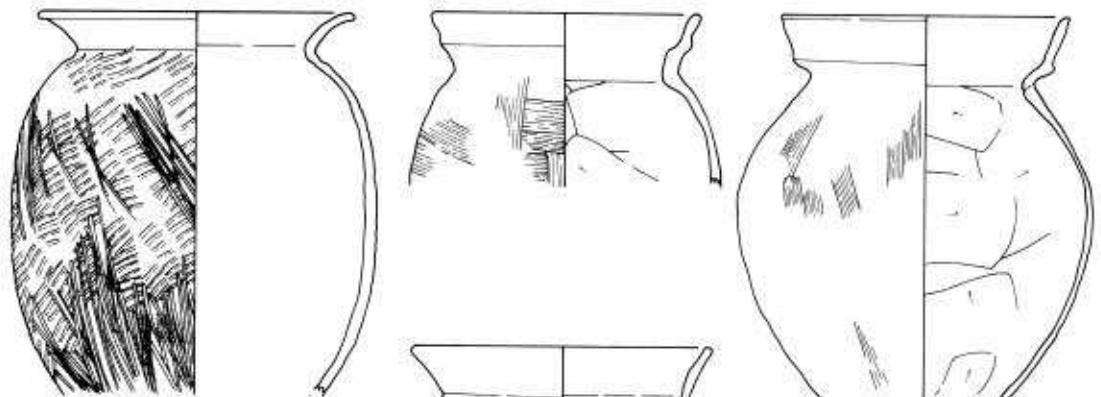
#### 引用文献

猪木幸男, 1981, 20万分の1地質図幅「姫路」, 地質調査所.

松田順一郎・三輪若葉・別所秀高, 1999, 瓜生堂遺跡より出土した弥生時代中期の土器薄片の観察—岩石学的・堆積学的による—, 日本文化財科学会第16回大会発表要旨集, 120-121.

日本の地質「近畿地方」編集委員会, 1987, 日本の地質6 近畿地方, 共立出版, 297p.

矢作健二・石岡智武, 2005, 高坂西遺跡出土縄文土器の胎土分析, 兵庫県文化財調査報告第281冊 高坂古墳群 国道175号竹田バイパス公共特殊改良一種事業に伴う埋蔵文化財調査報告書, 兵庫県教育委員会, 89-96.



*Cryptomeria japonica*

*Salix*

*Populus*

*Alnus*

*Alnus*

*Fagus*

*Castanea crenata*

*Quercus*      *Cyclobalanopsis*

*Quercus*

*prinus*

*Quercus cerris*

*Cladrastis platycarpa*

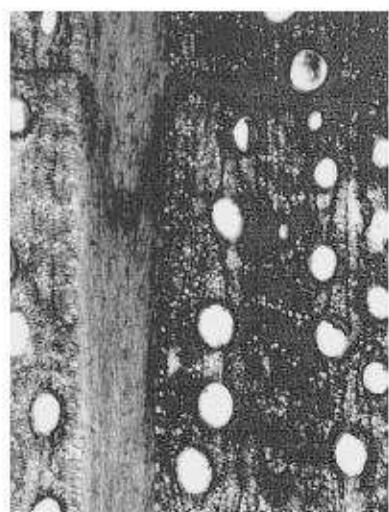
*Morus bombycis*

*Illicium anisatum*

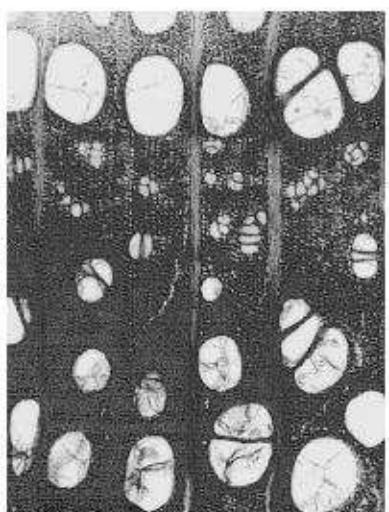
*Cleyera japonica*

*Rhus trichocarpa*

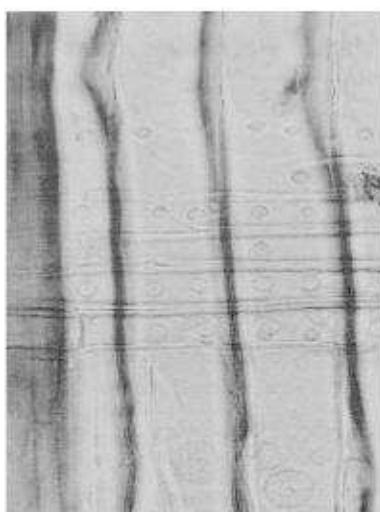




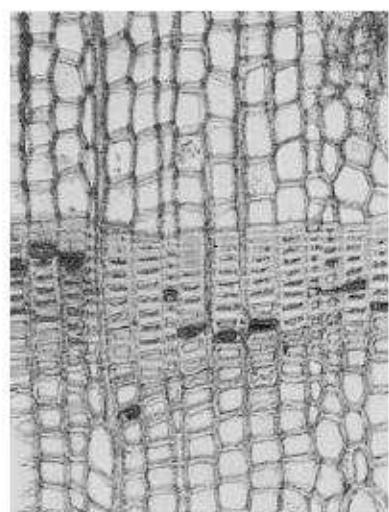
1. No. 1 鋤柄 アカガシ亜属  $\times 30$



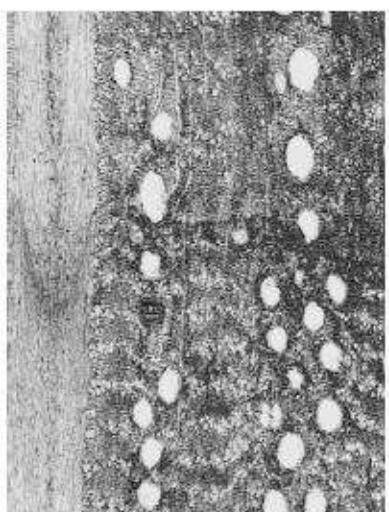
2. No. 2 穂摘具 ヤマグワ  $\times 30$



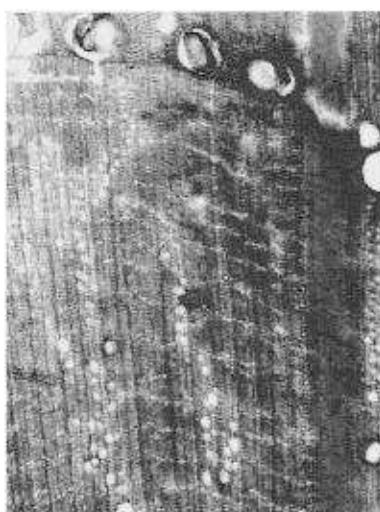
3. No. 3 一木掘り棒? スギ  $\times 300$



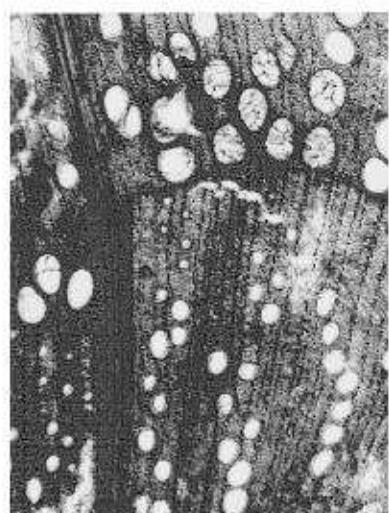
4. No.13 刀形 スギ  $\times 75$



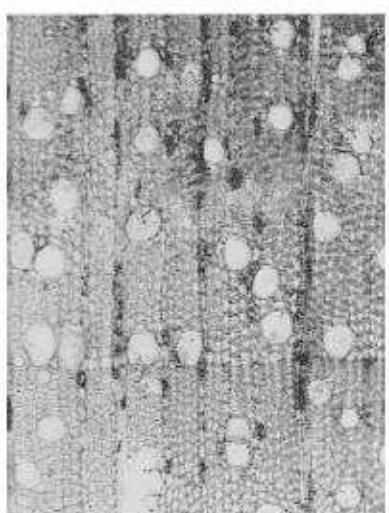
5. No.18 鋤 アカガシ亜属  $\times 30$



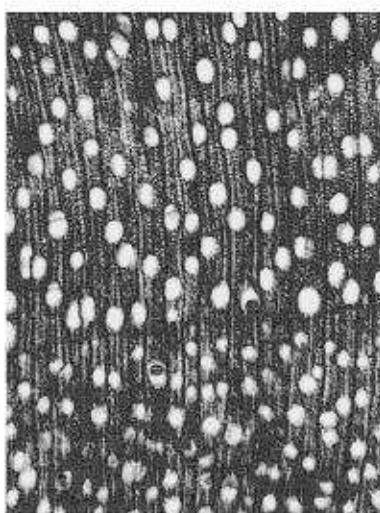
6. No.24 杭 コナラ節  $\times 30$



7. No.28 自然木 クヌギ節  $\times 30$

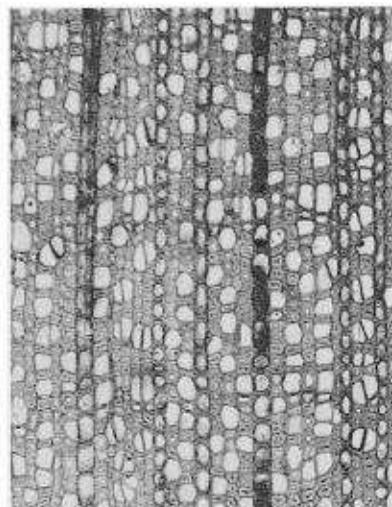


8. No.29 丸杭 クスノキ科  $\times 75$

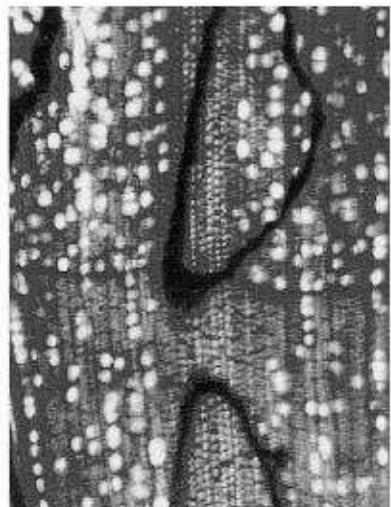


9. No.32 自然木 ヤナギ属  $\times 30$

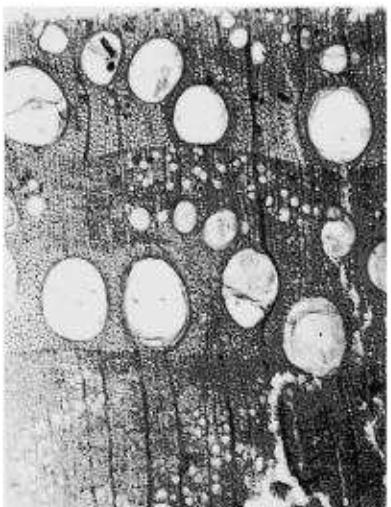
第31図 筒江浦石遺跡の樹種同定顕微鏡写真(1)



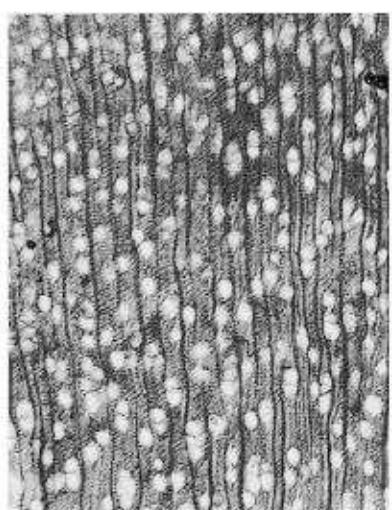
10. No.33 杖状材? シキミ  $\times 75$



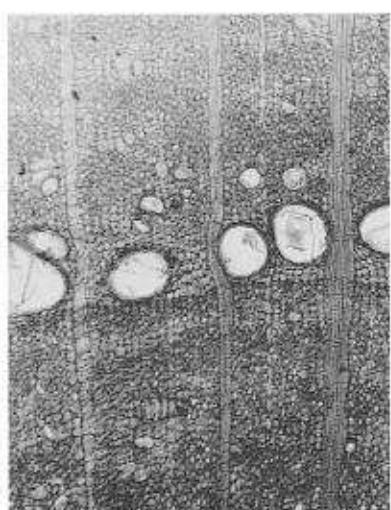
11. No.34 丸太 ハンノキ亜属  $\times 30$



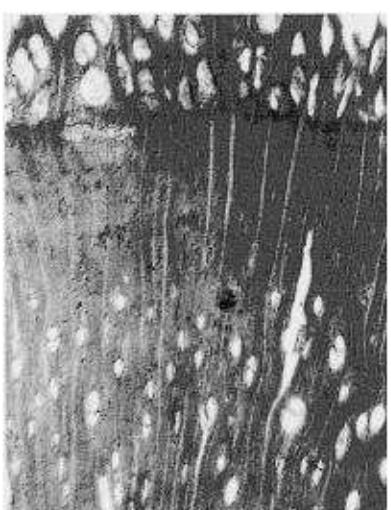
12. No.35 杖状 クリ  $\times 30$



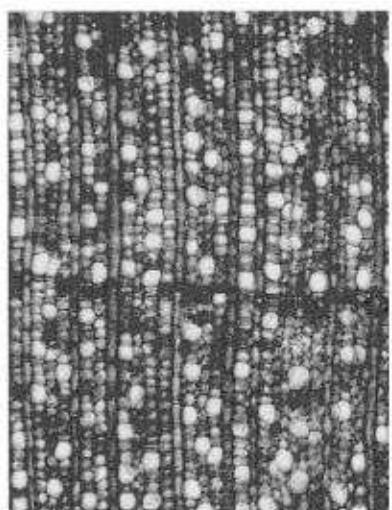
13. No.37 丸杭? ヤマナラシ属  $\times 30$



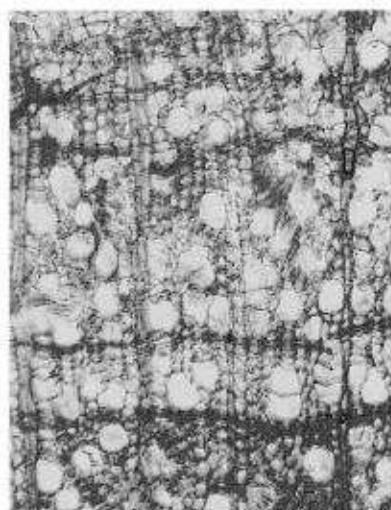
14. No.40 自然木 フジキ  $\times 75$



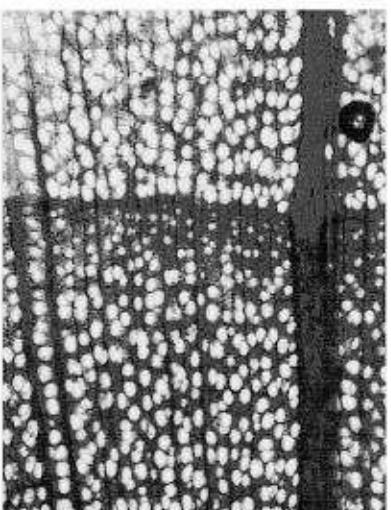
15. No.41 杖? ヤマウルシ  $\times 30$



16. No.42 丸杭 サカキ  $\times 75$



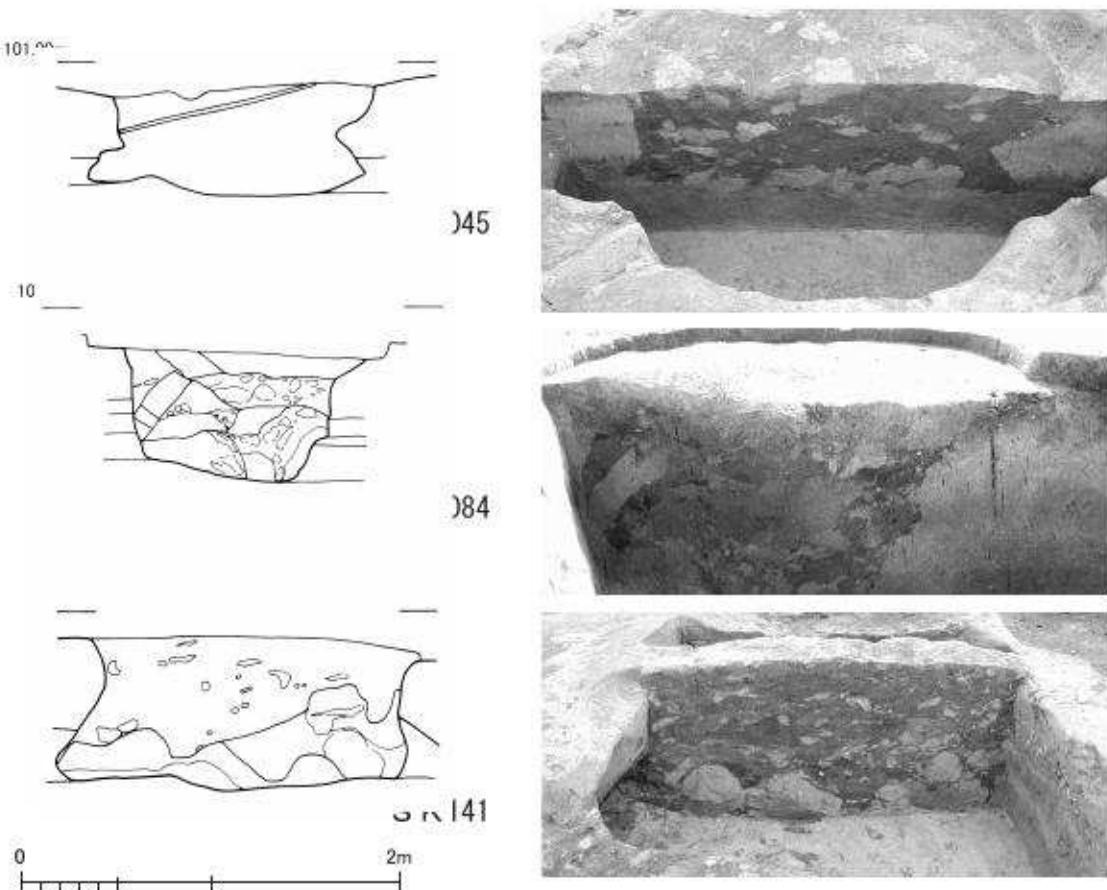
17. No.43 丸棒 散孔材B  $\times 75$



18. No.44 丸棒 ブナ属  $\times 30$

第32図 筒江浦石遺跡の樹種同定顕微鏡写真(2)





第33図 典型的な粘土探掘土坑の断面図

普通は填圧を行わなければ土が余るはずである。一度掘った所にはすでに粘土は無く、間違ってもう一度掘ってしまったら徒労に終わるだけである。土坑が埋まりきらない間であれば、時間をおいても塗みを目標に同じ所を掘らないですむのである。

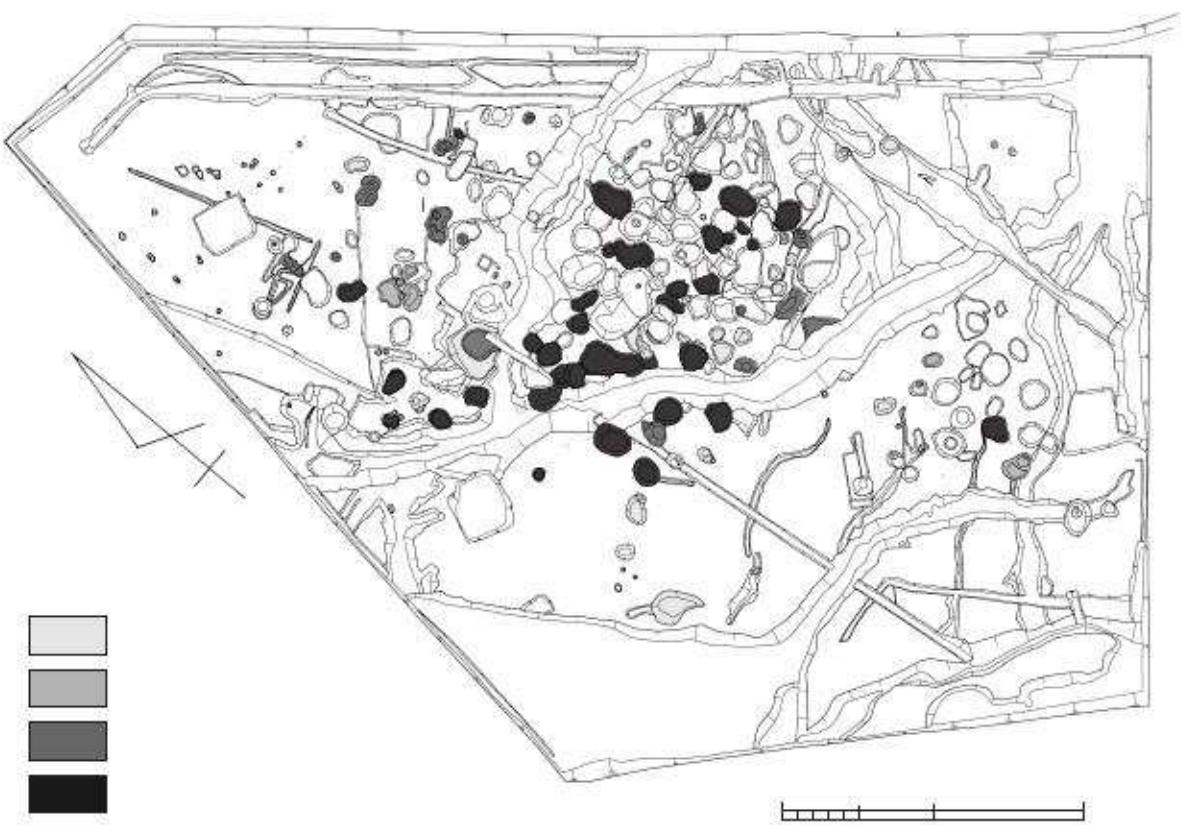
次に、粘土層を余すことなく掘り取ろうとすると、①～④の特徴をもつような土坑が生じることになる。個別に見ると①～③まではそれぞれ半数以上の土坑に確認できる。横掘りに関しては断面図だけで判断しているので、断面の位置以外で行われている場合はカウントされないことになる。40基で少ないよう感じられるが、実際にはもう少し多くなるであろう。

#### 【粘土探掘土坑の特徴から外れる土坑】

では、①～⑤の特徴に合致しない土坑はどうであろうか。粘土の探掘という目的からすると、掘削深度と粘土層との関係が最も重要と考えられるので、①について見てみよう。第34図には粘土層に達していない土坑、粘土層には達しているが掘り尽くされていない土坑、粘土層より深く掘削されている土坑を示している。こうした土坑が集中部の周縁に位置し、特に横掘りが認められる土坑が集中するような所には数少ないことがわかるであろう。

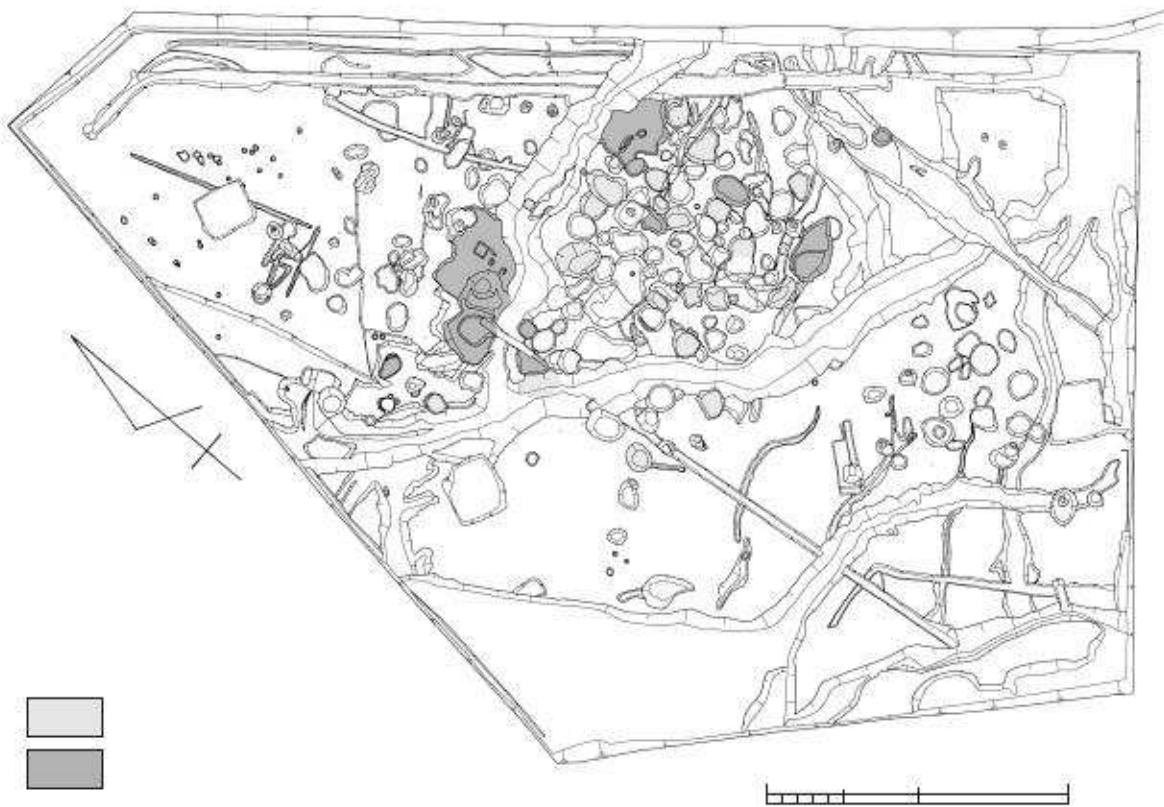
S D 002の右岸で黒色粘土を掘削対象とした浅めの土坑群では、粘土層を掘り尽くしていない土坑（事例A）や、小坑を掘って下層の状況を調べようとしたのではないかと思われるような土坑（事例B）が点在する。土坑の集中度からみても、この区域の黒色粘土はあまり良質でないと判断されていたのであるが、粘土を探求する行為の結果として粘土層より深く掘削された土坑が存在すると理解したい。

S D 003の左岸でも上流側（南側）の土坑群は類似した状況である。ただし、この区域の土坑群にはよ









		1	2	3	4	4	1	1			2
				1							
					1						
		1	1					2			
							1				
		1			1						
				1							
		1			1						1
						1					
							2				
		2			1						
			1	2	1		5	1			1
						1					
		1									
			1			1					
						1					
							2				
					1						
		2		1							
				1							
					1						
		1									
			1								
				1							
					2						
						1					
							1				
								1			
									1		
										1	
											1
		1	1	1							
				1							
						1					
							1				
		2									
									1		1
							1				
											1
		1	3	2	2	2		2			1
		1		23	22	14	12	9	8	1	4
			6					100			

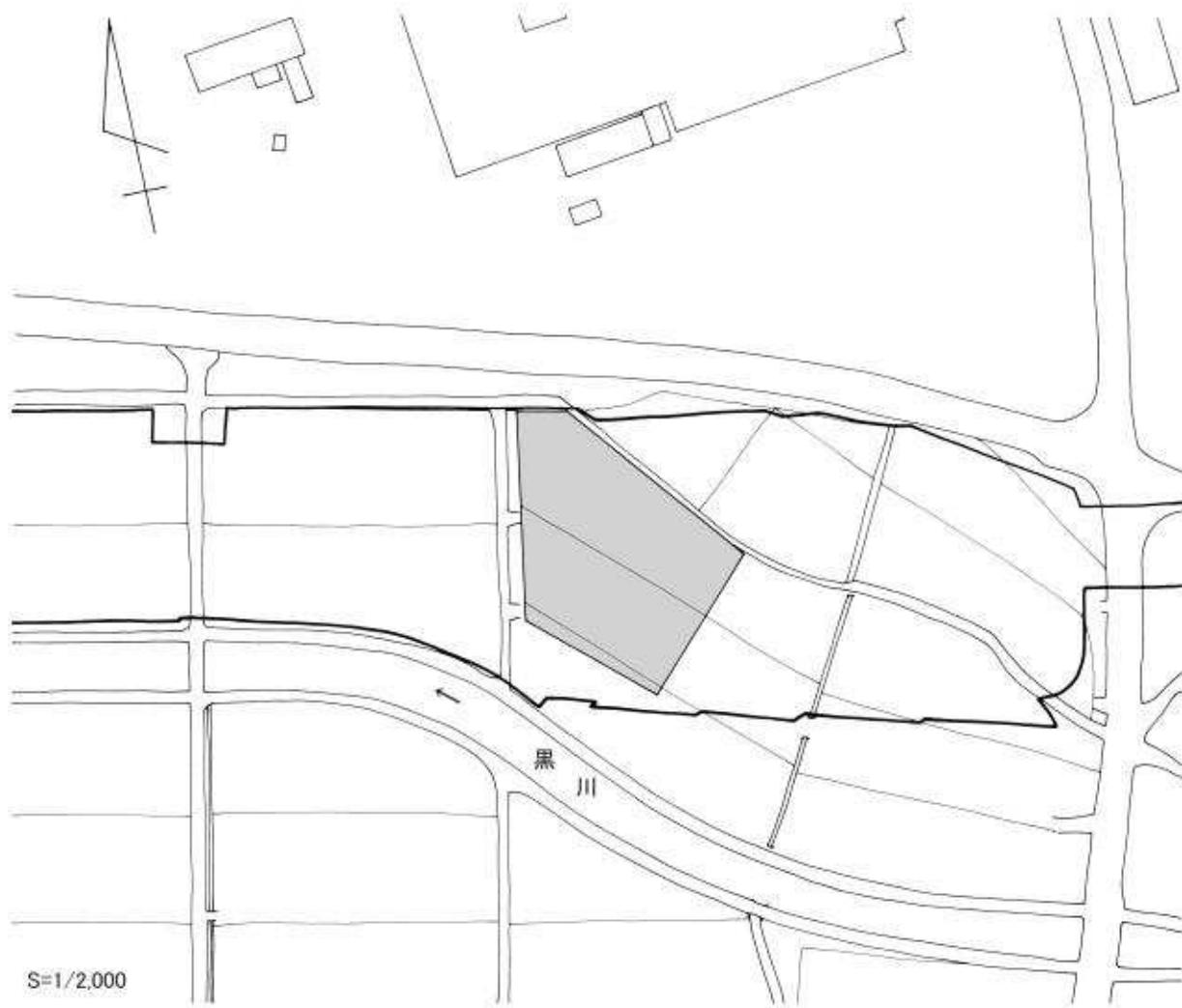
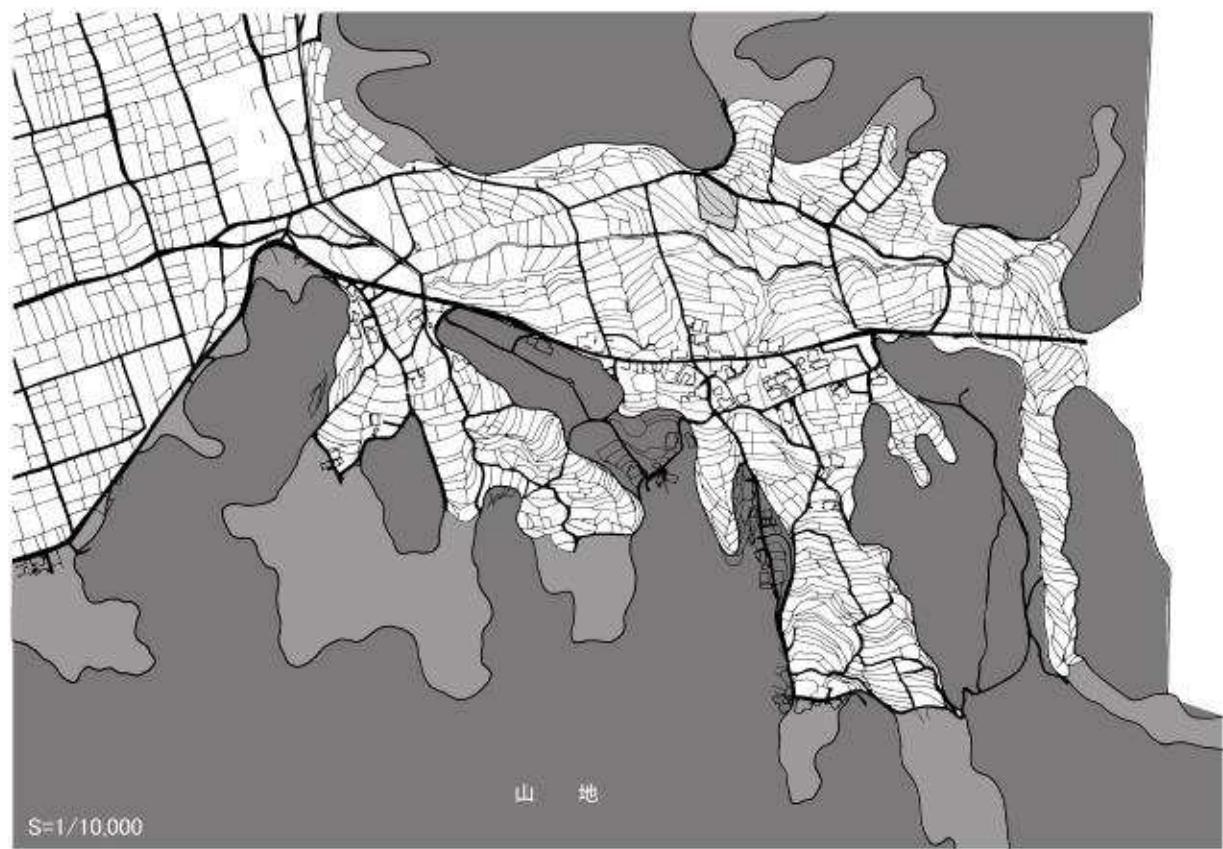






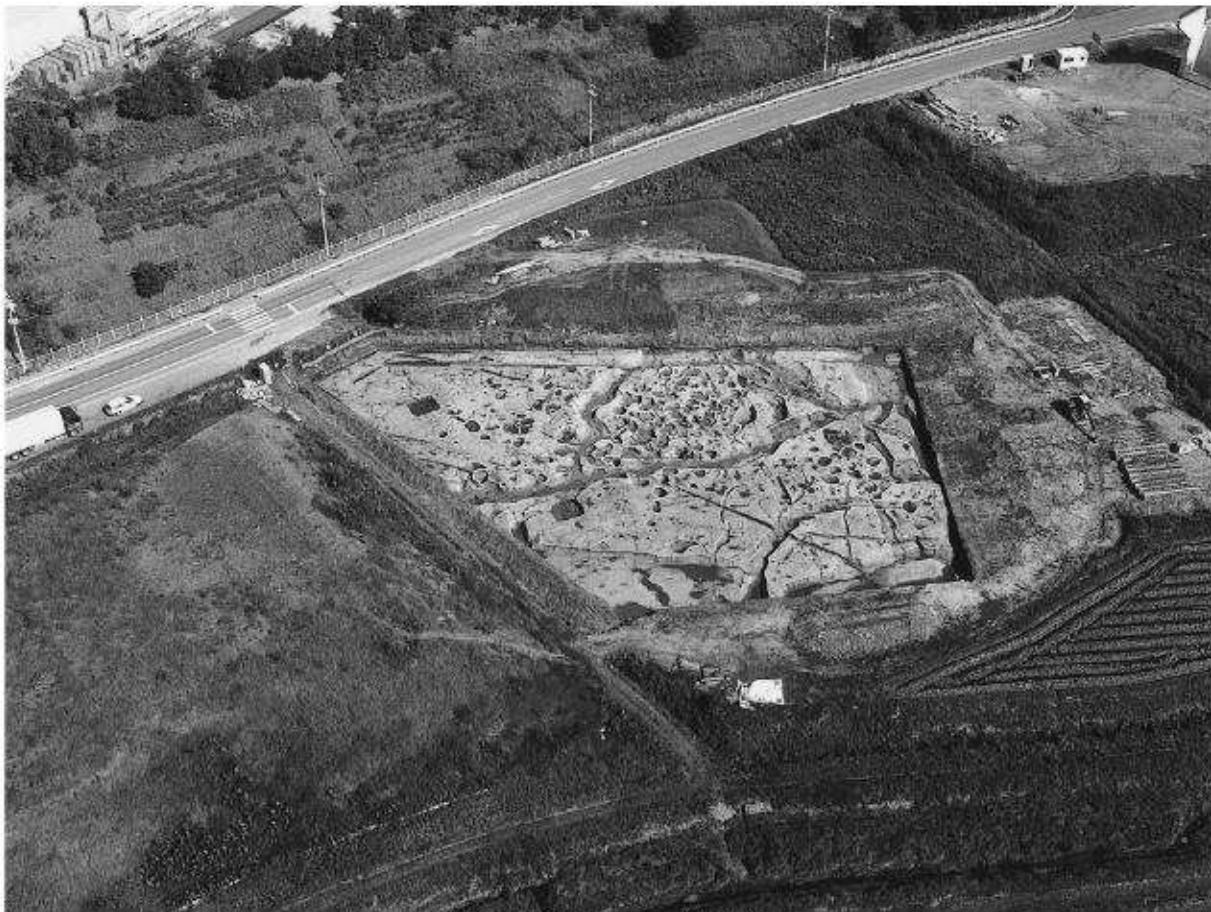


図版1 調査位置図





遺跡遠景(南からの航空写真)



遺跡遠景(南西からの航空写真)

図版2 遺構配置図

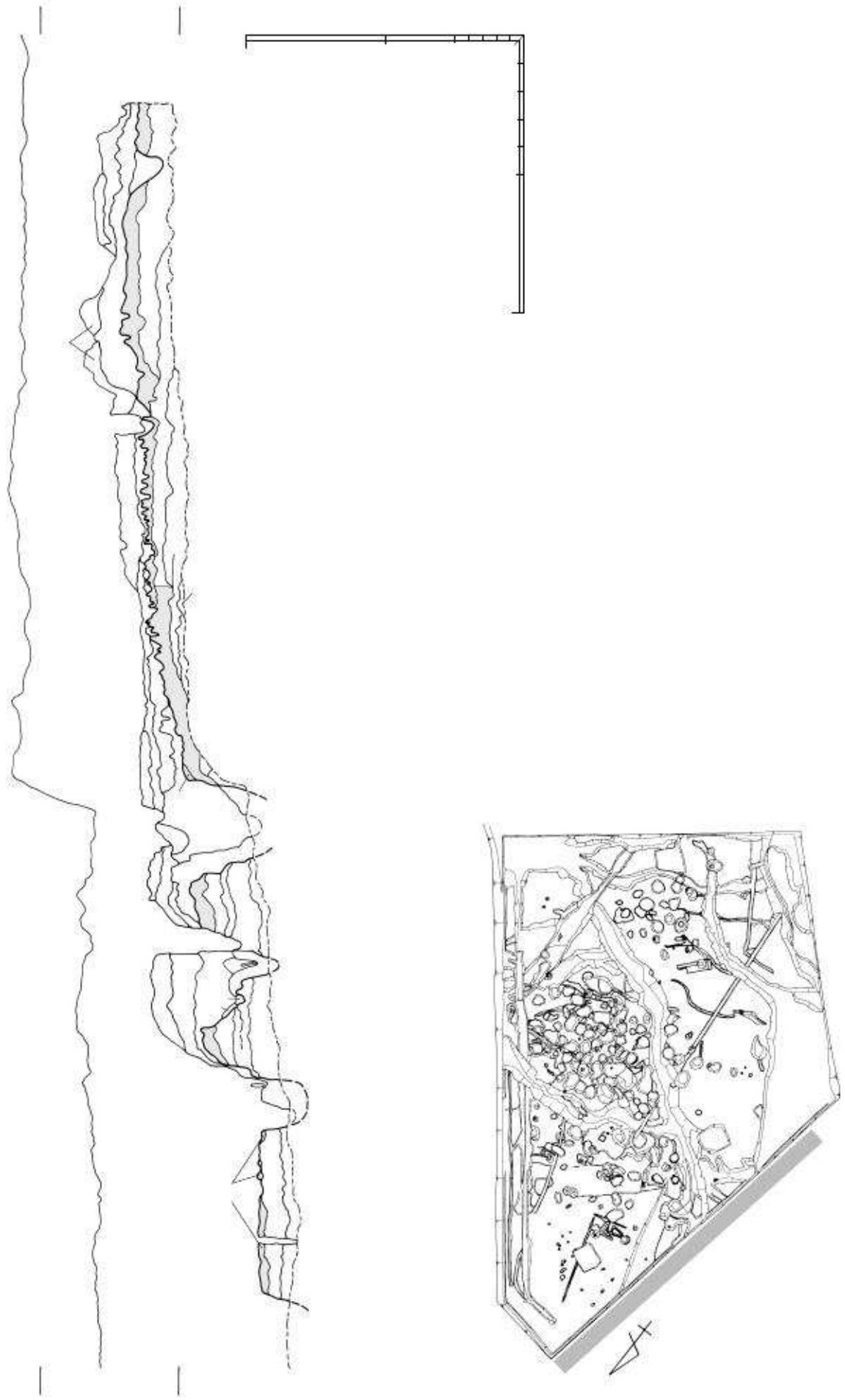




調査前(西から)



粘土採掘土坑群全景(西から)





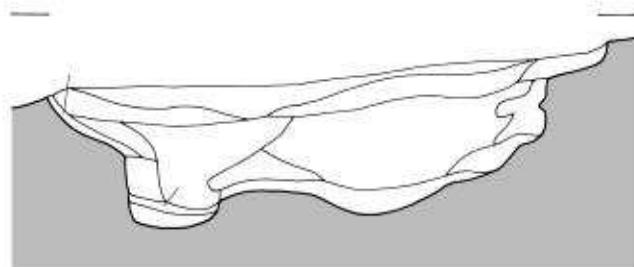
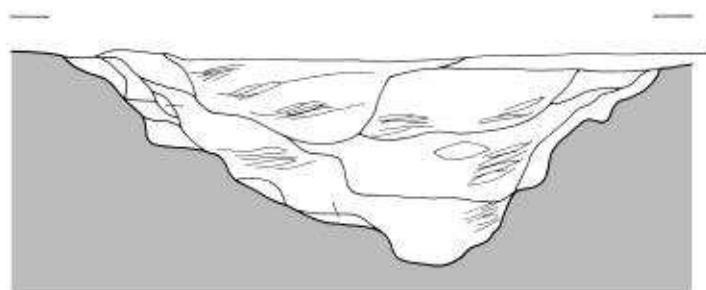
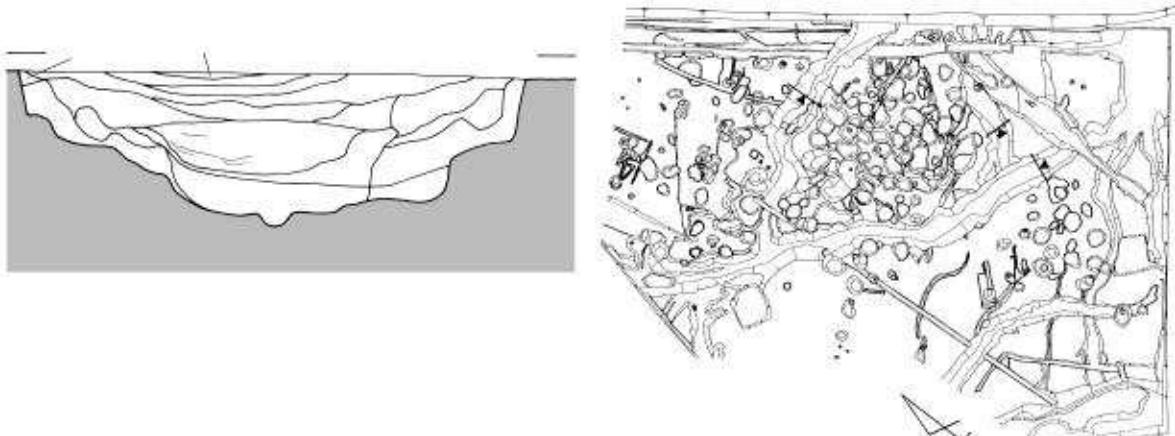
西壁中央付近(北東から)



西壁南半分(北東から)



西壁中央付近における12層上面の凸凹





SD002断面



SD002上層土器出土状況



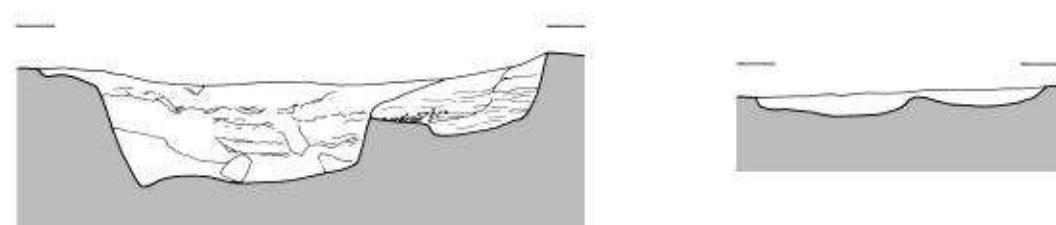
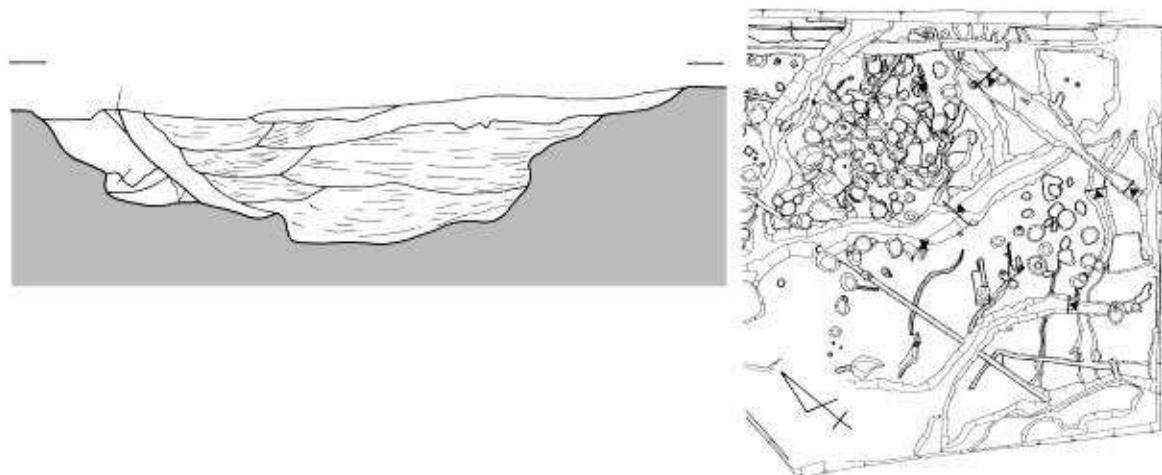
SD002上層の粗砂流路跡(南から)



SD002とSD003の合流部検出状況(南から)



SD002とSD003の合流部下流の土層断面(東から)





SD001・SD004・SD005・SD017(南から)



SD005断面



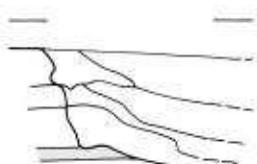
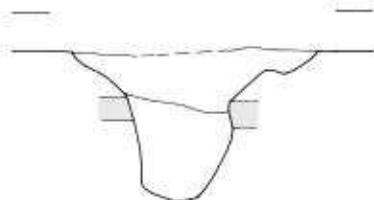
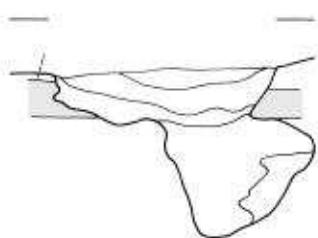
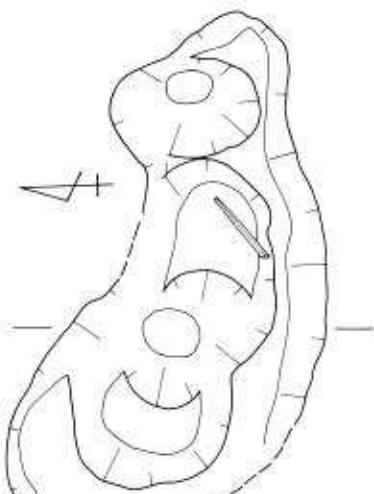
SD014断面



SD003がSK162を抉る状況(東から)



SD008断面



写真図版6 粘土採掘土坑(1)



SK001断面



SK002断面



SK003断面



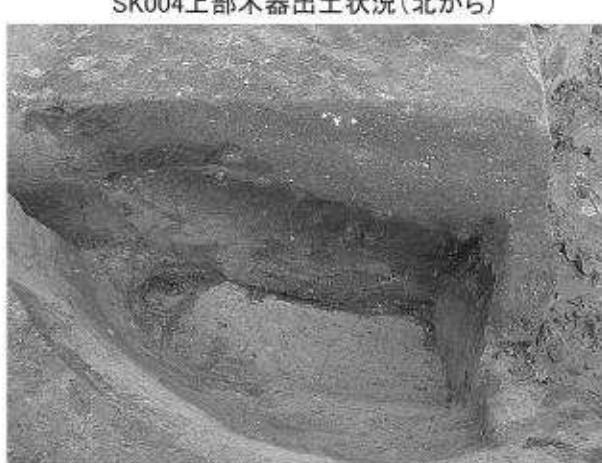
SK006断面



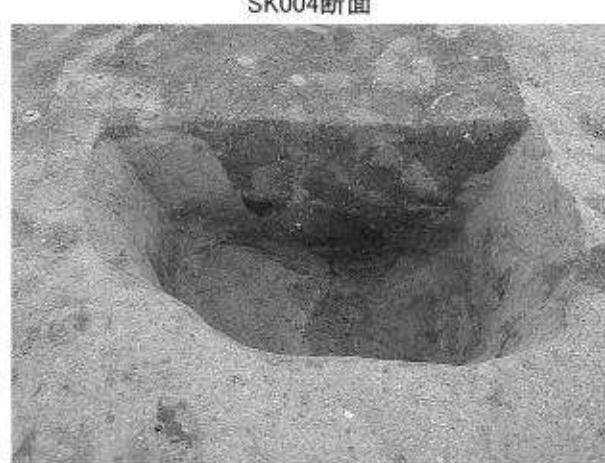
SK004上部木器出土状況(北から)



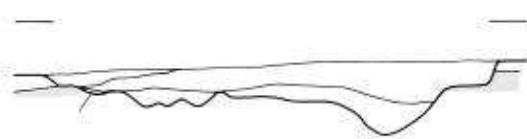
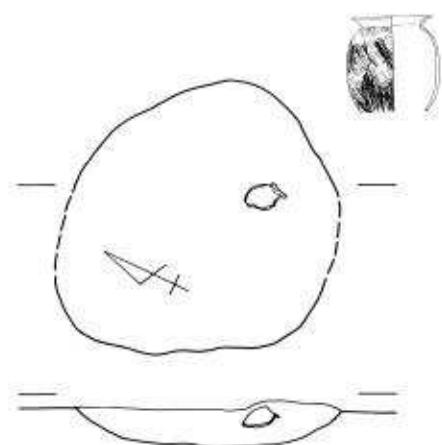
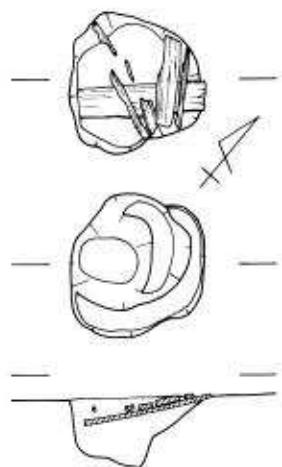
SK004断面



SK007断面



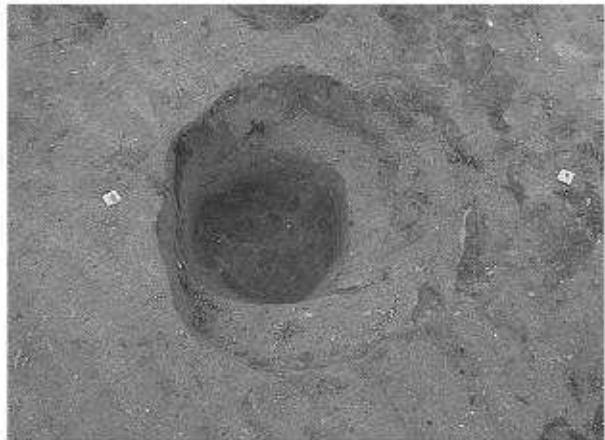
SK008断面



写真図版7 粘土採掘土坑(7)



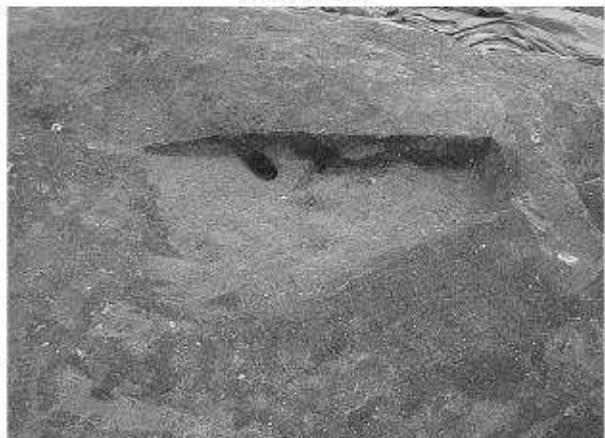
SK009断面



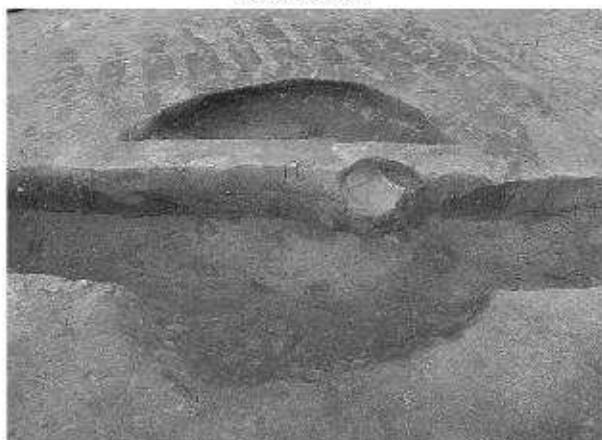
SK009完掘



SK010断面



SK011断面



SK012断面



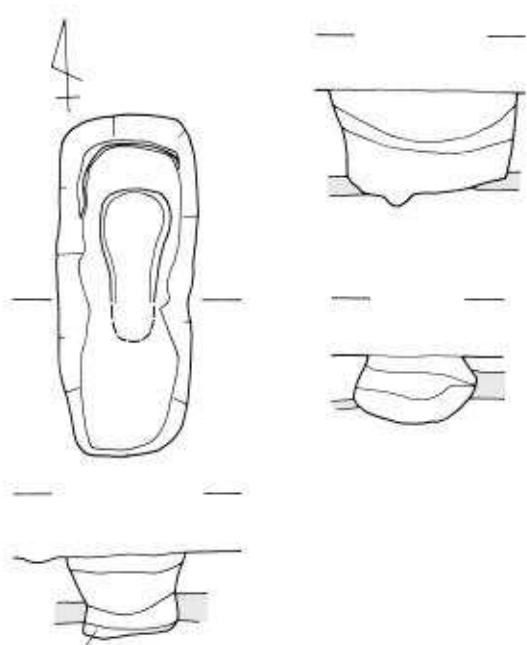
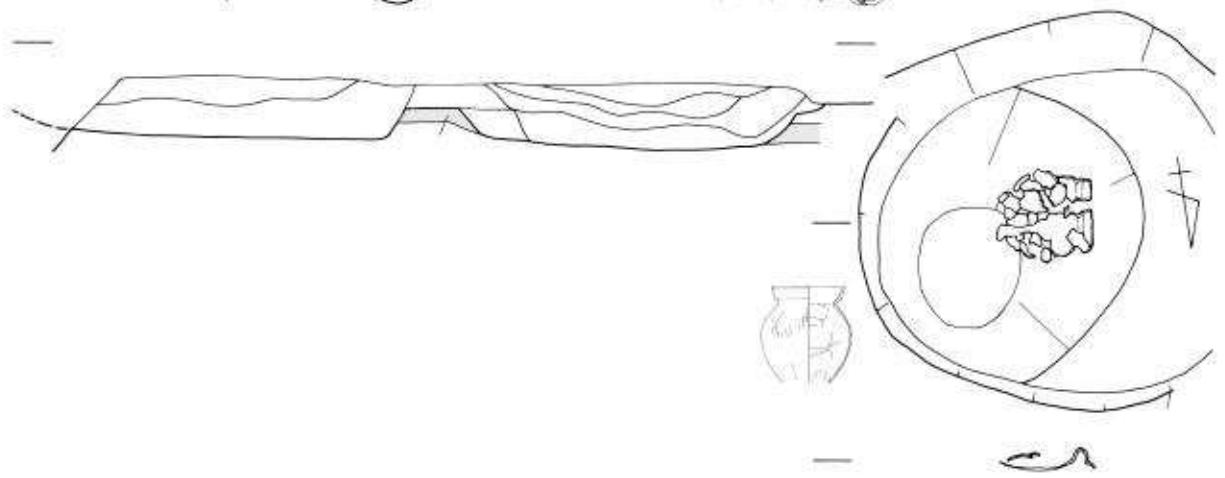
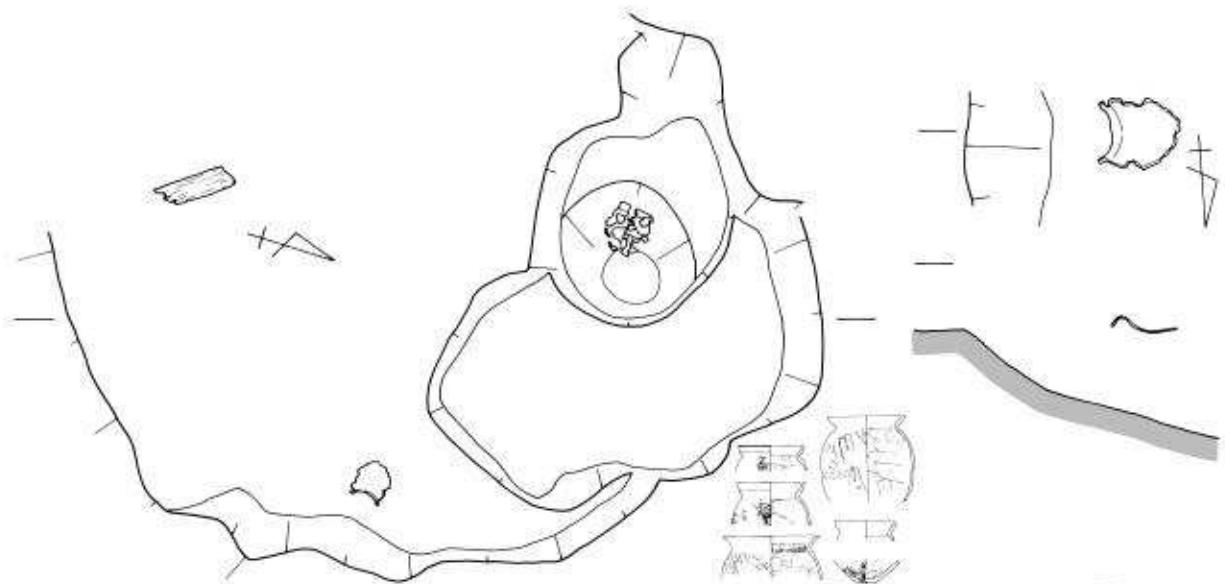
SK014断面



SK015断面



SK017断面



写真図版8 粘土採掘土坑(3)



SK019～SK021(東から)



SK019断面



SK021土器出土(北から)



SK021断面



SK022断面



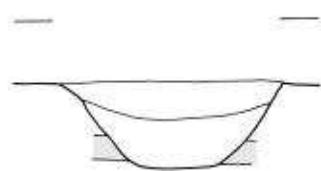
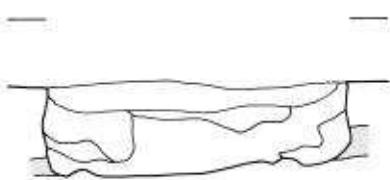
SK023断面



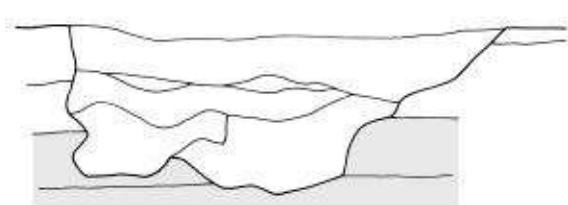
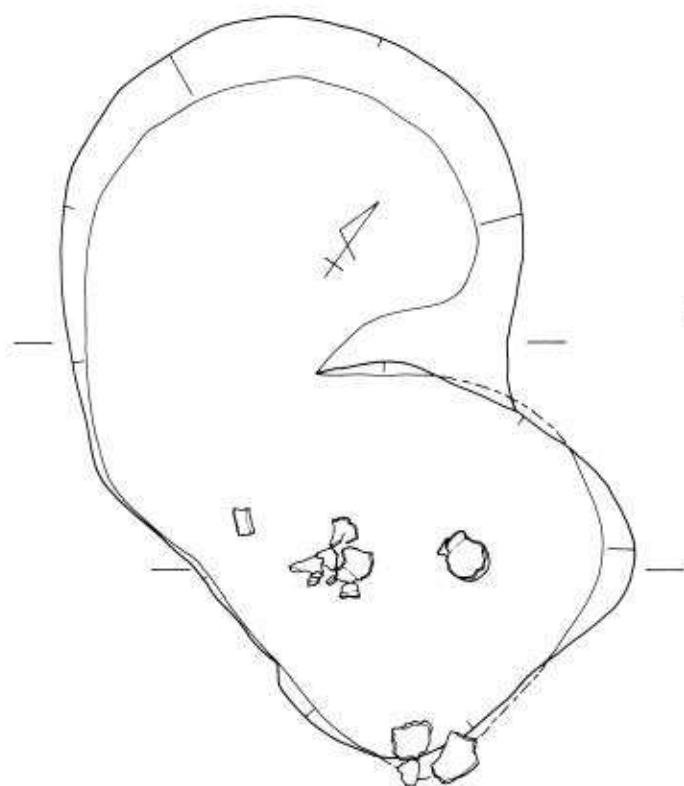
SK025断面



SK025最下層断面



-- --



写真図版9 粘土採掘土坑(4)



SK026断面



SK026断面



SK027断面



SK029断面



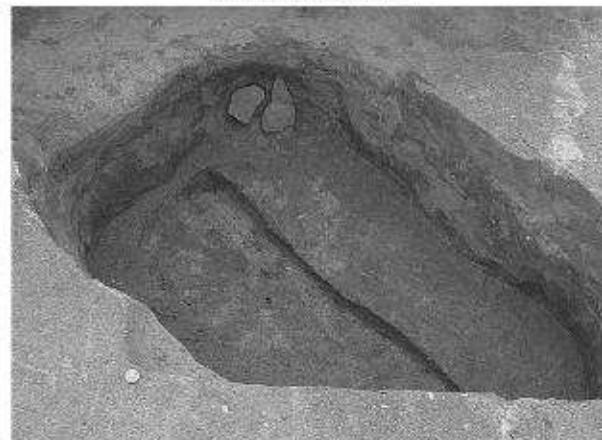
SK029横断面



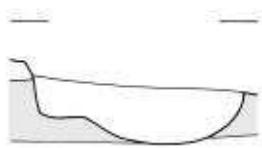
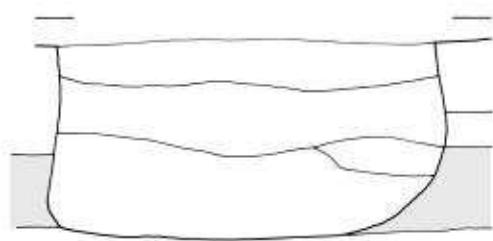
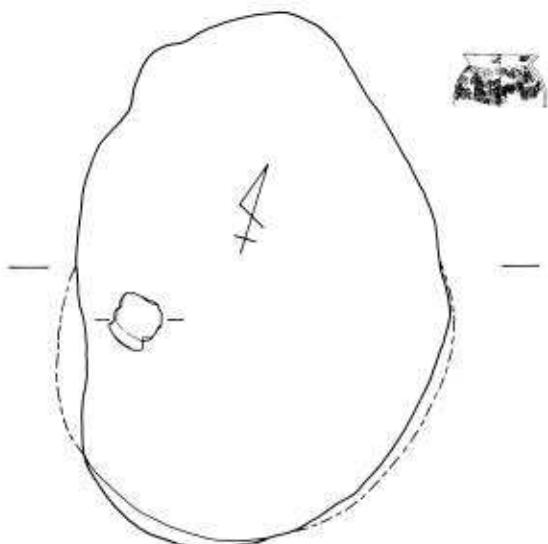
SK029土器出土



SK029土器出土(南東から)



SK029土器出土(北から)



写真図版10 粘土採掘土坑(5)



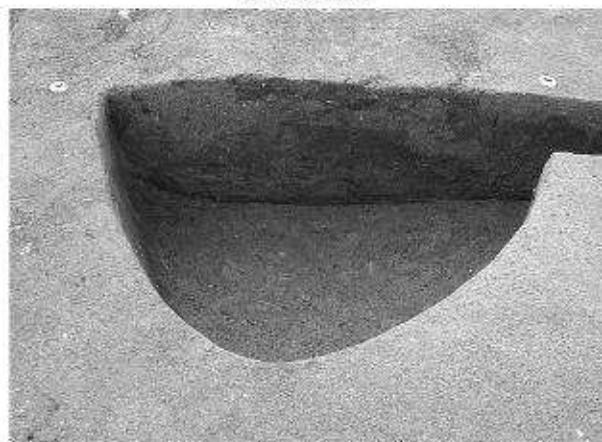
SK030断面



SK030断面



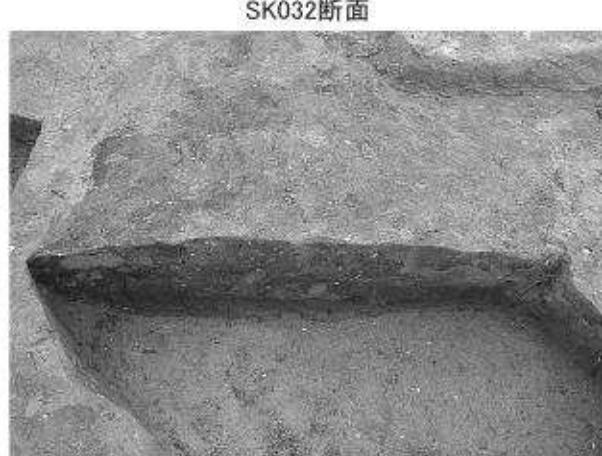
SK032～SK036周辺(東から)



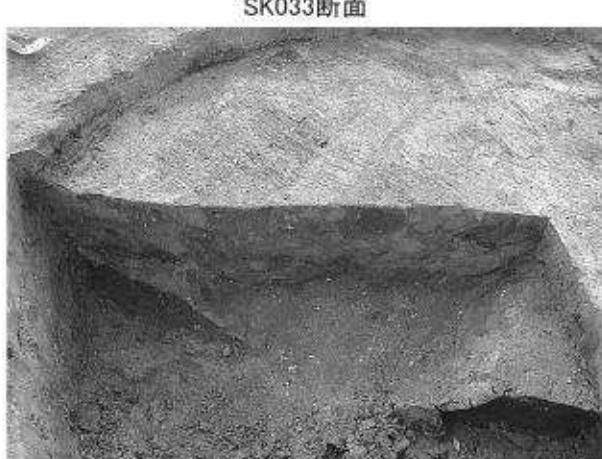
SK032断面



SK033断面



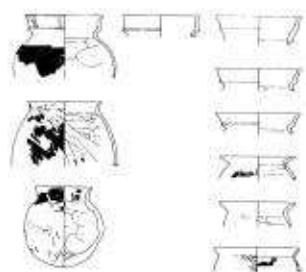
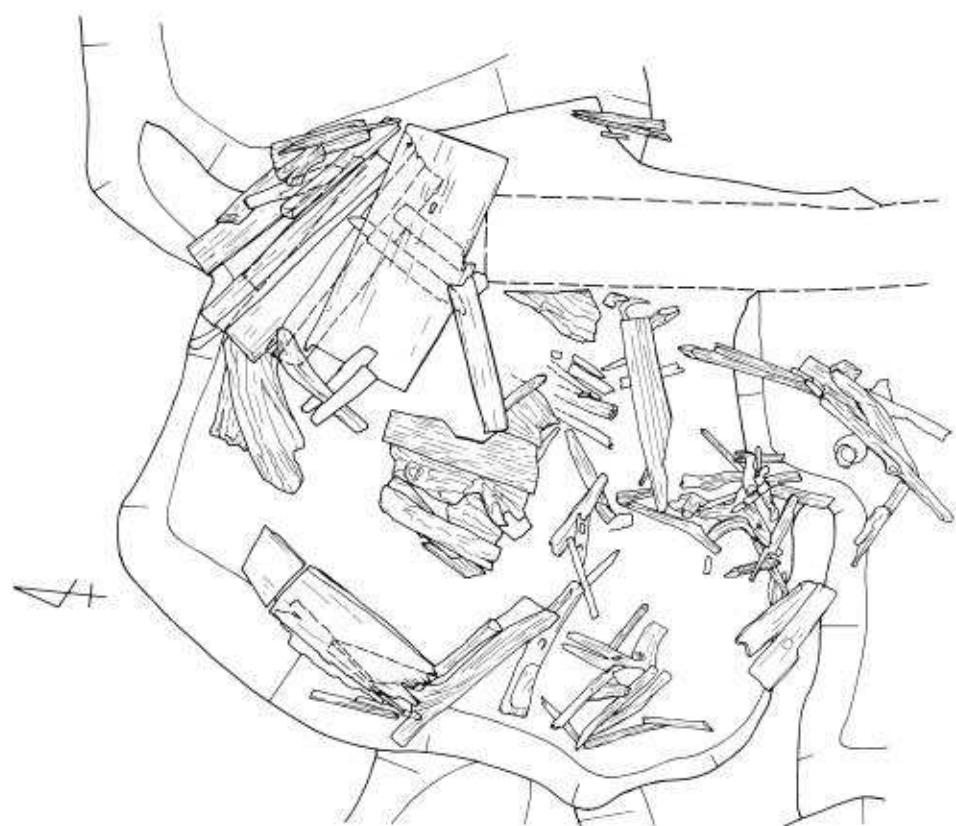
SK034断面



SK035断面



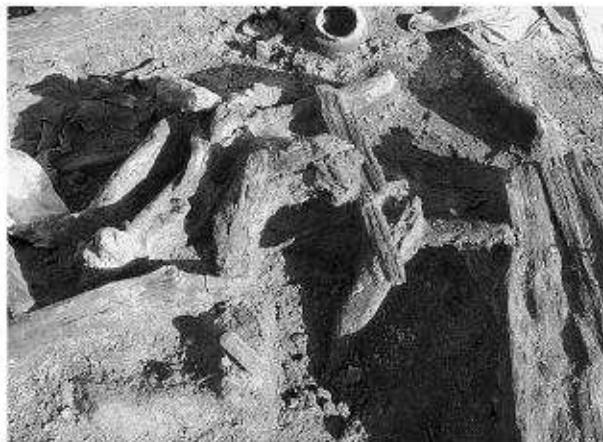
SK036断面



写真図版11 粘土採掘土坑(6)



SK042木器出土(北西から)



SK042木器出土(北西から)



SK042木器出土(北から)



SK042木器出土(北から)



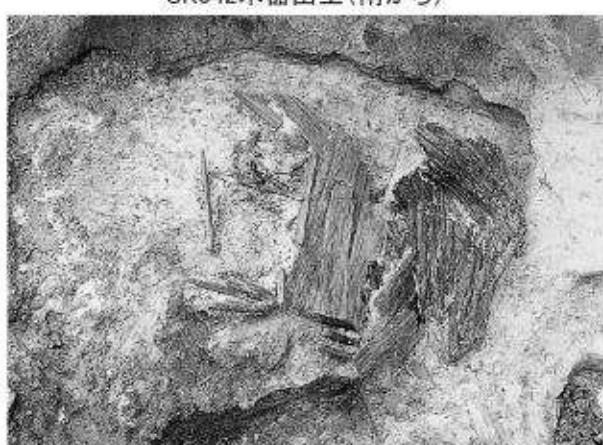
SK042木器出土(北から)



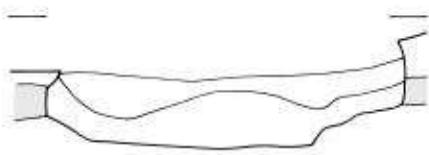
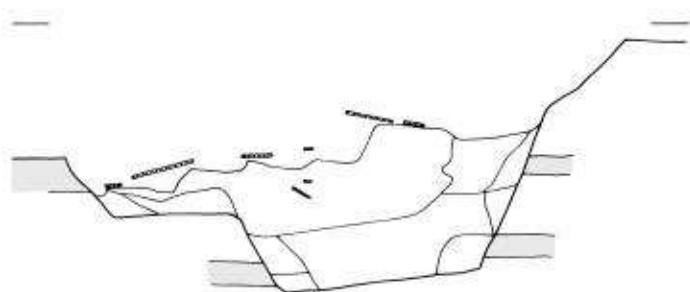
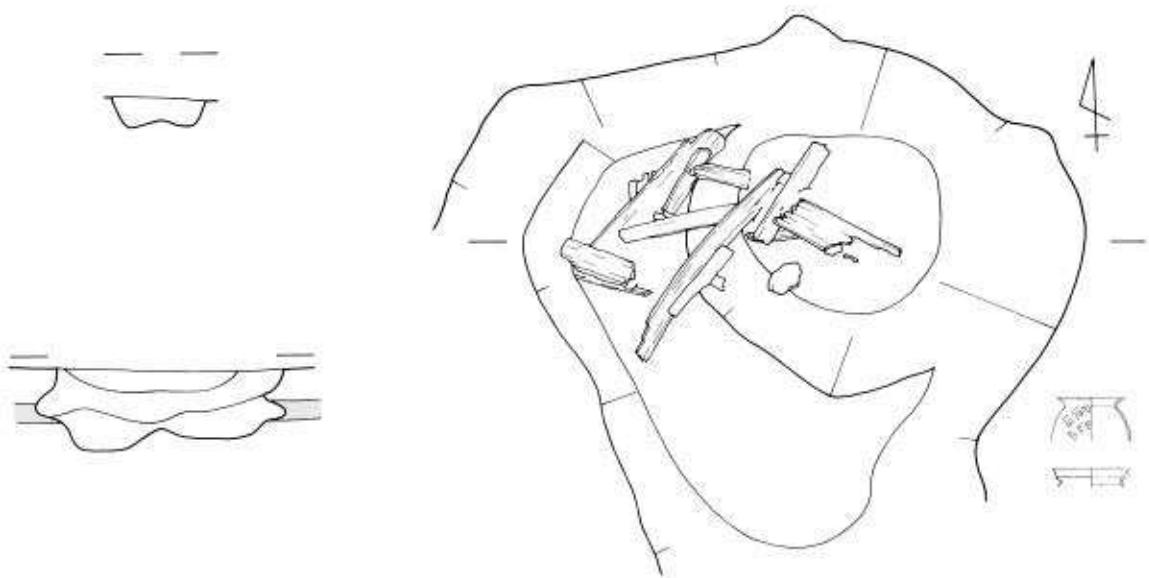
SK042木器出土(南から)



SK042下層木器出土(東から)



SK042下層木器出土(東から)



写真図版12 粘土採掘土坑(7)



SK038断面



SK039断面



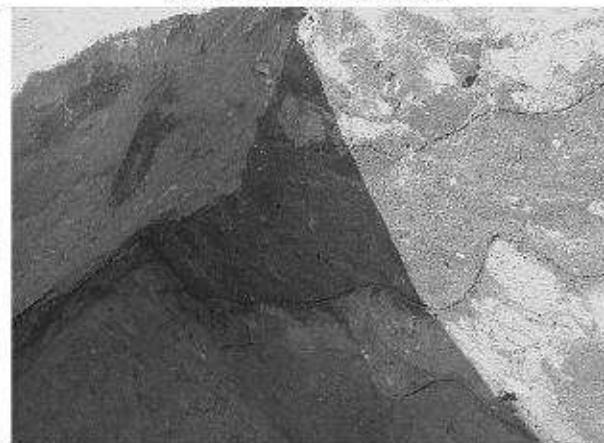
SK039断面



SK040木器出土(北から)



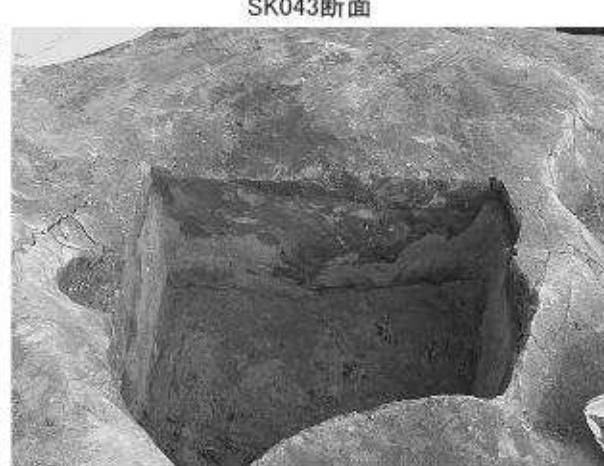
SK043断面



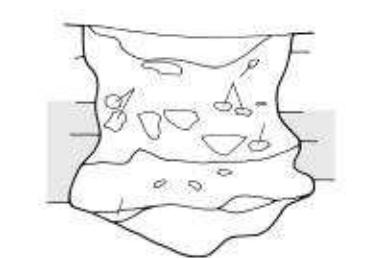
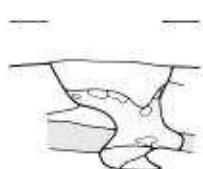
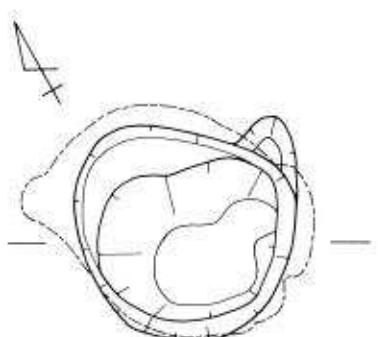
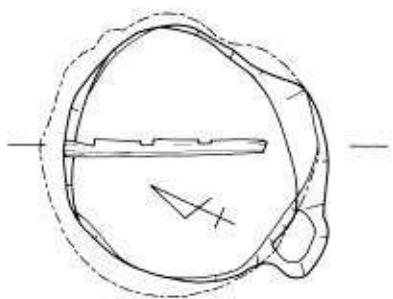
SK043断面



SK041断面



SK044断面



写真図版13 粘土採掘土坑(8)



SK045断面



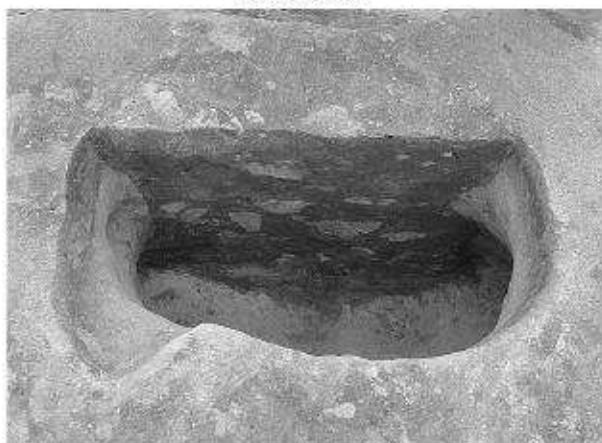
SK045断面



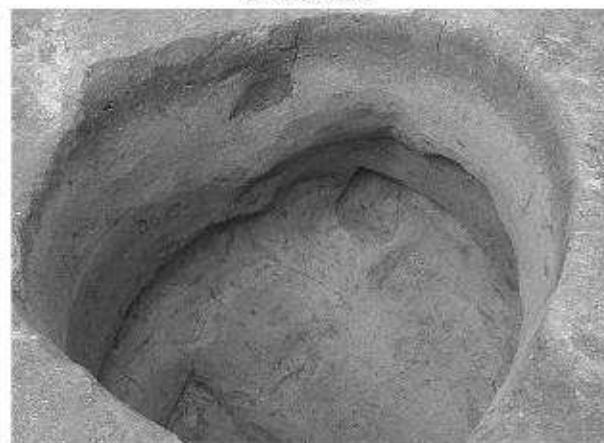
SK045断面



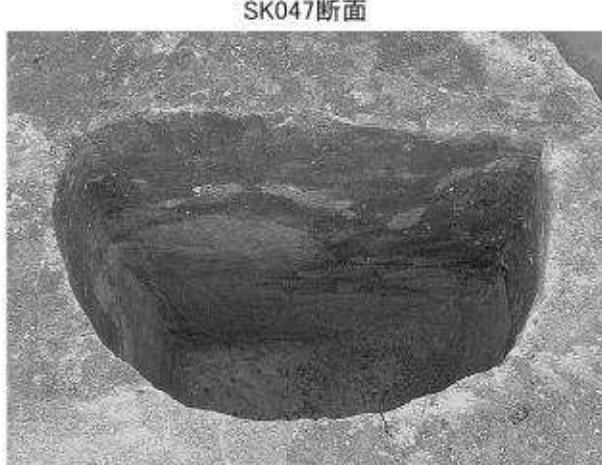
SK046断面



SK047断面



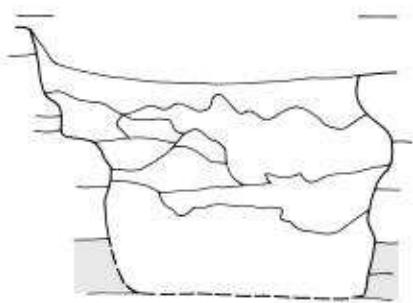
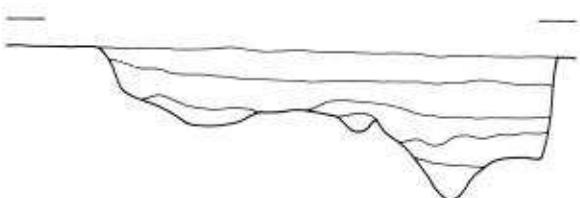
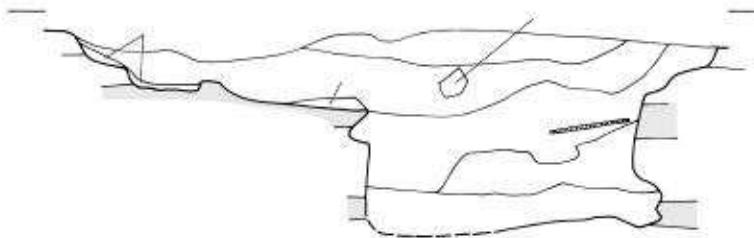
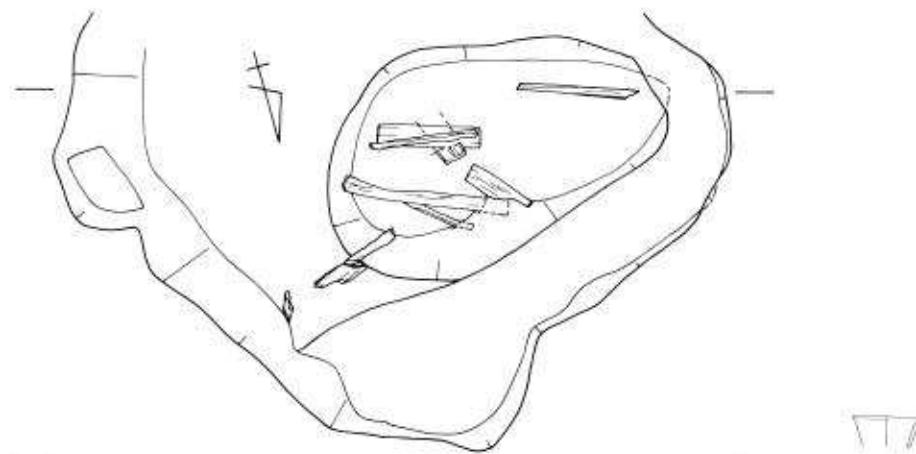
SK047完掘(東から)



SK048断面



SK050断面



写真図版14 粘土採掘土坑(9)



SK049(東から)



SK049断面



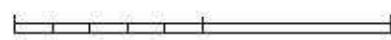
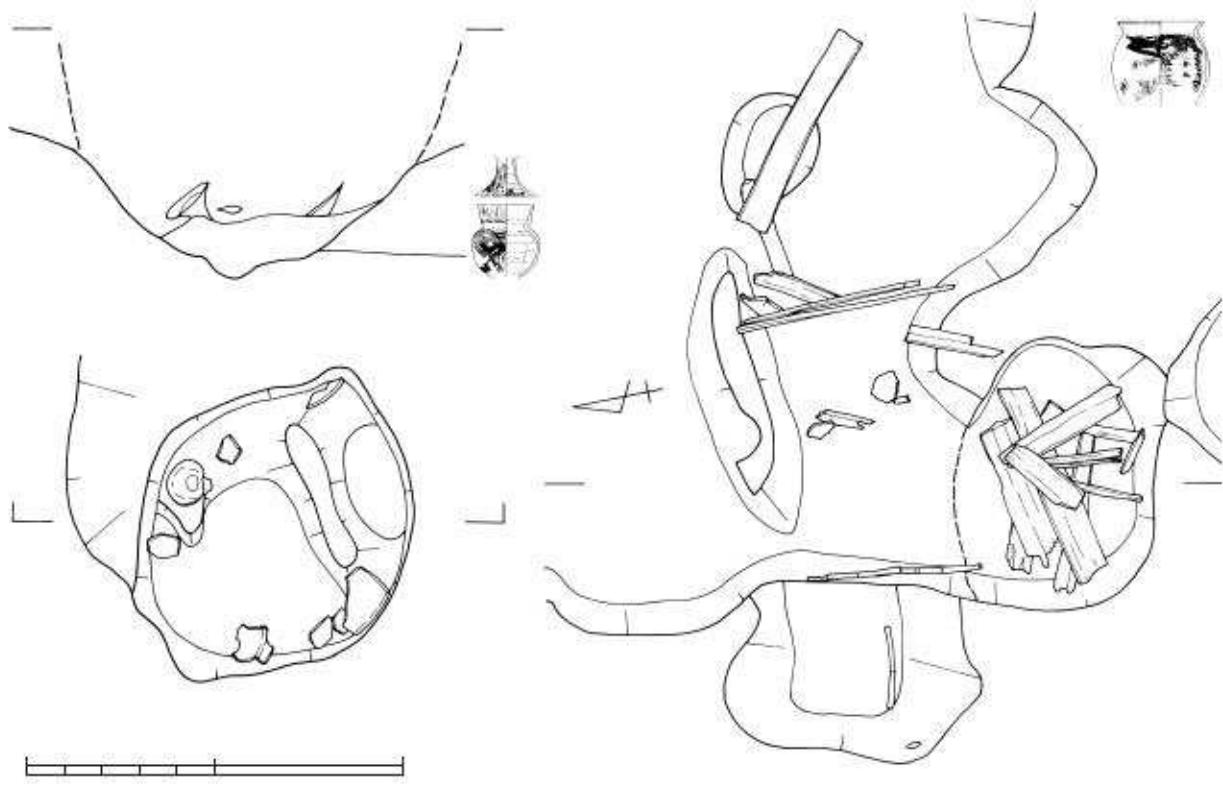
SK049断面



SK051断面



SK052断面



写真図版15 粘土採掘土坑(10)



SK053土器出土(西から)



SK054・SK062(北から)



SK054・SK062(東から)



SK062(東から)



SK055断面



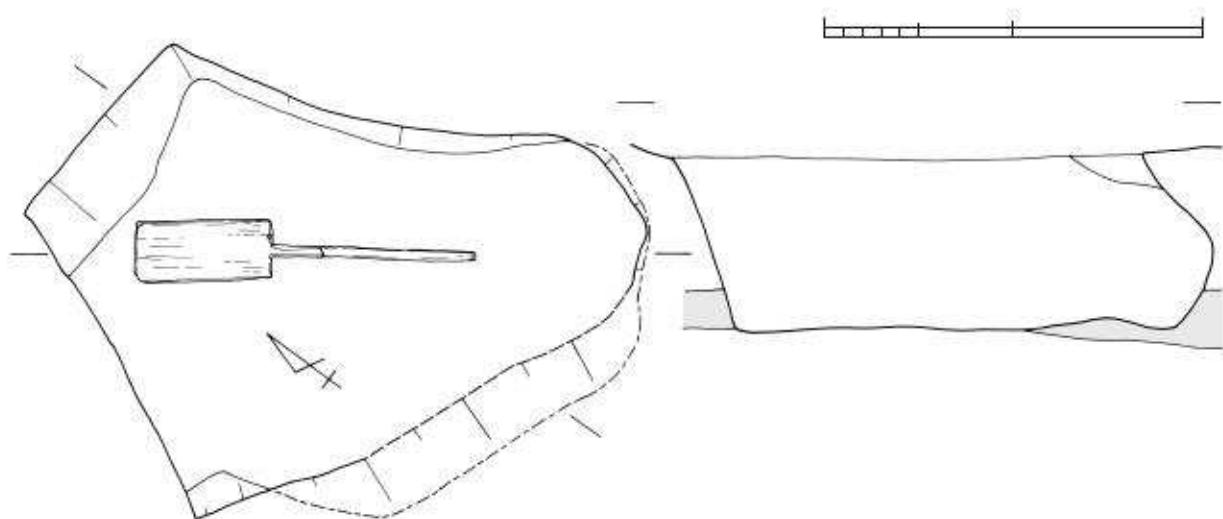
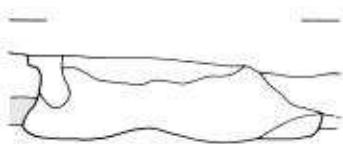
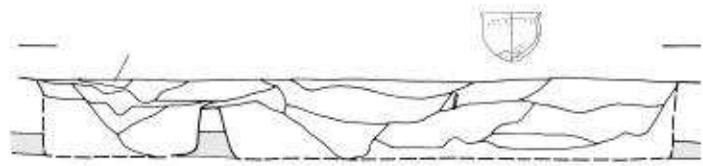
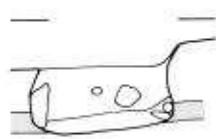
SK061断面



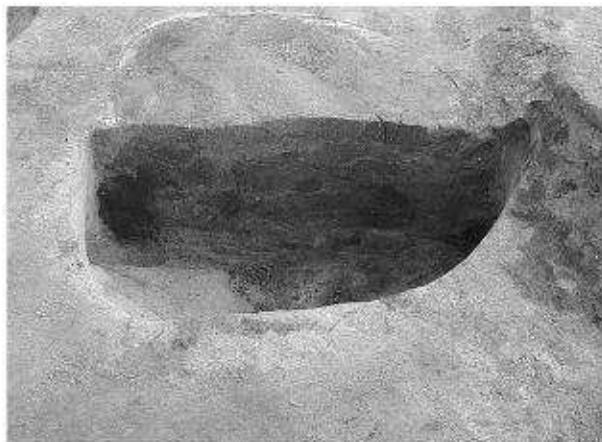
SK056土器出土(西から)



SK056断面



写真図版16 粘土採掘土坑(11)



SK059断面



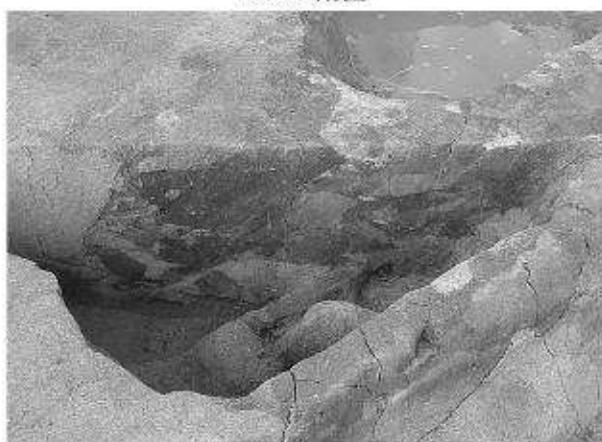
SK063断面



SK064断面



SK064断面



SK065断面



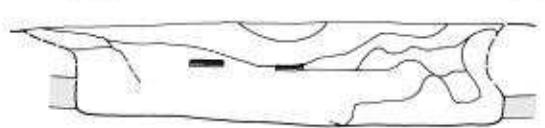
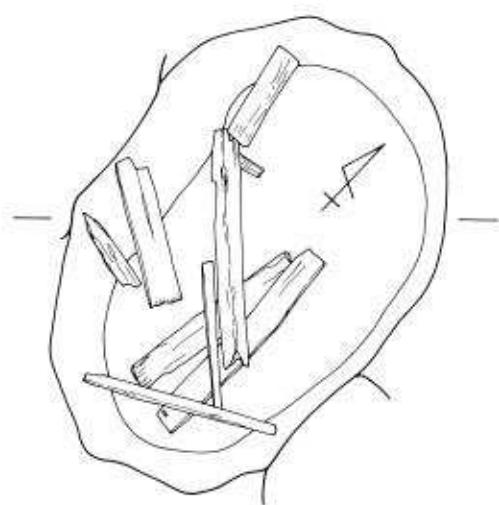
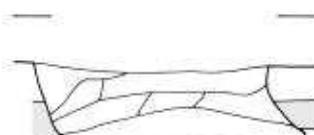
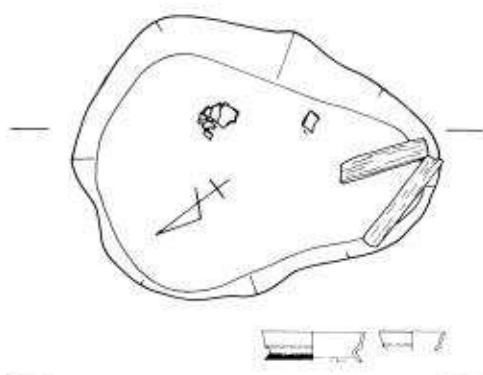
SK065鉤出土(南から)



SK065(北から)



SK066完掘(南から)



写真図版17 粘土採掘土坑(12)



SK069断面



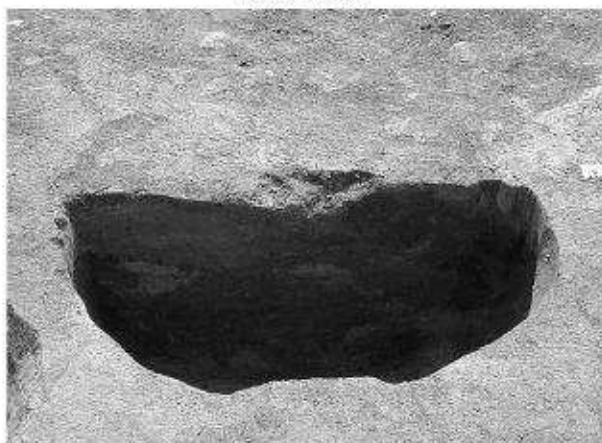
SK072断面



SK071断面



SK071土器出土(北西から)



SK073断面



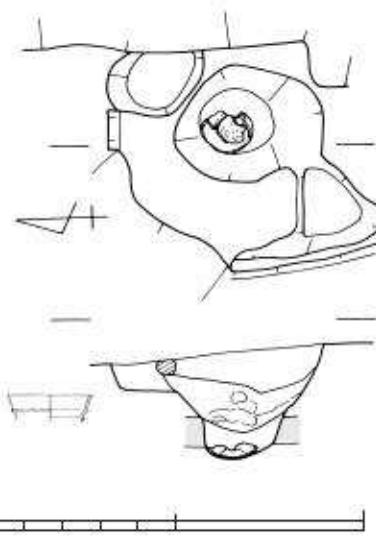
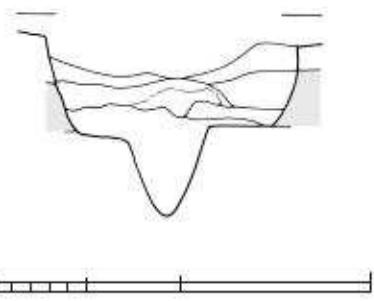
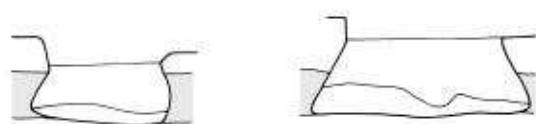
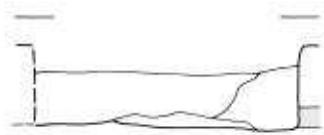
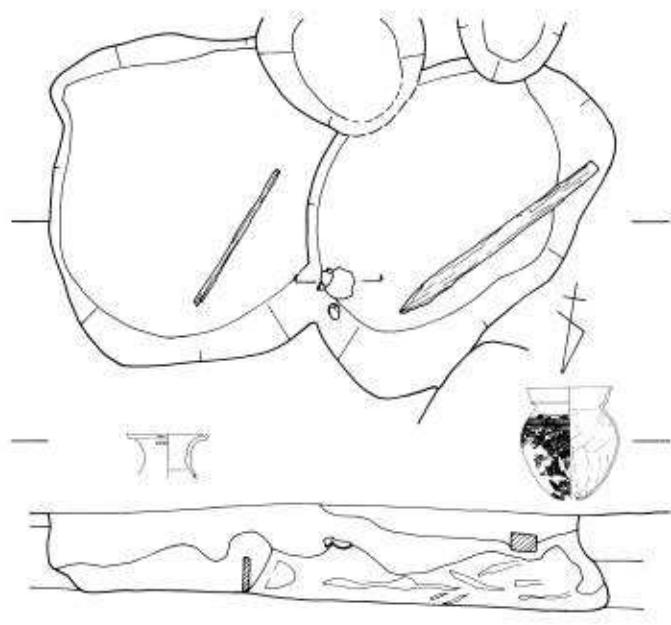
SK074(南から)



SK075断面



SK075完掘(西から)



写真図版18 粘土採掘土坑(13)



SK077断面



SK078断面



SK096断面(南東から)



SK096土器出土(南西から)



SK079断面



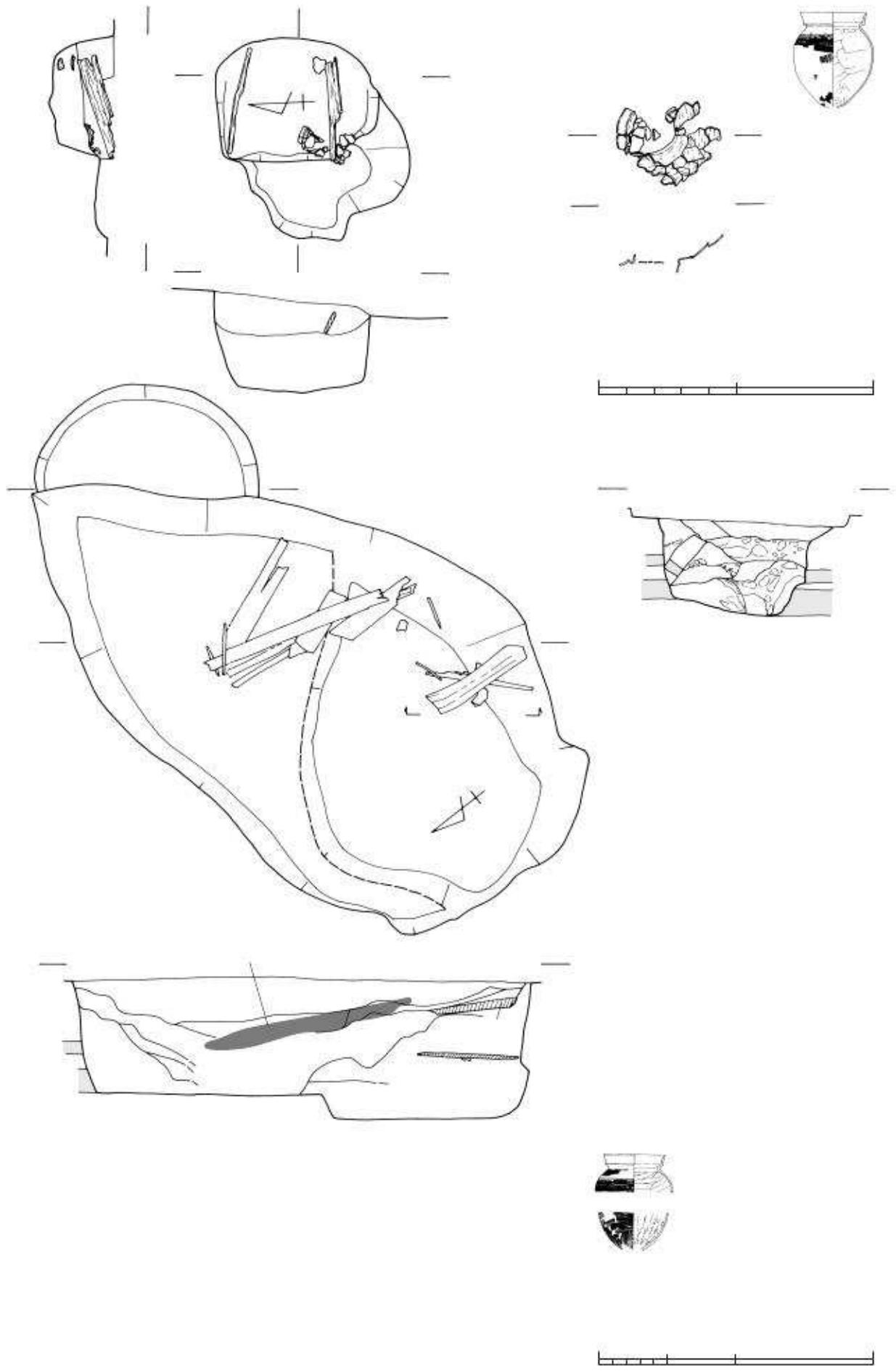
SK079上層剖物片口出土(北から)



SK081断面



SK082断面



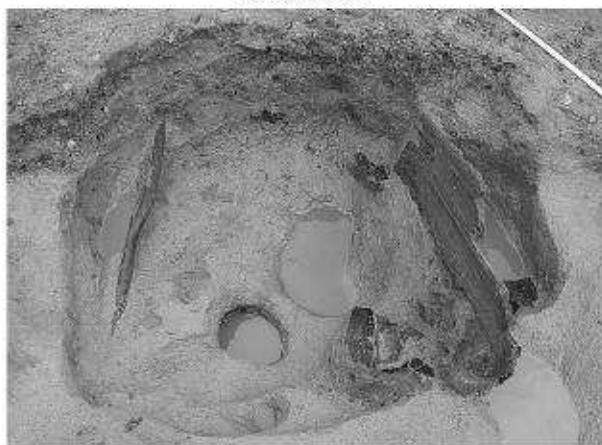
写真図版19 粘土採掘土坑(14)



SK083断面



SK083遺物出土(北から)



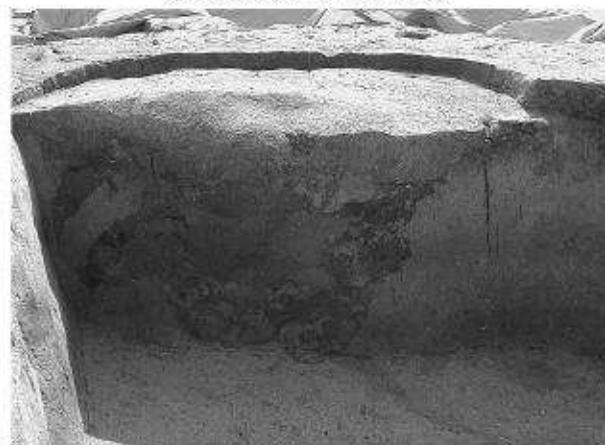
SK083遺物出土(西から)



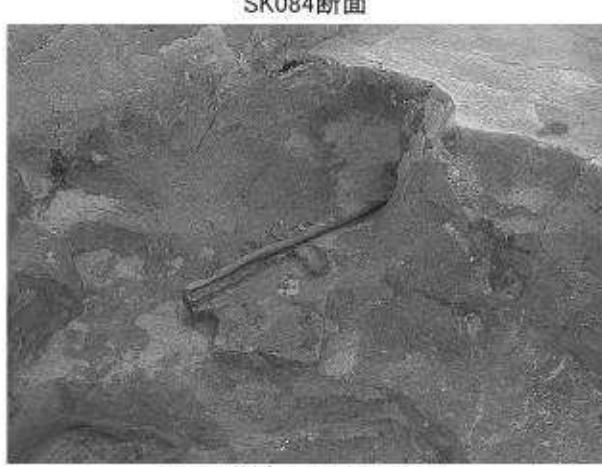
SK083遺物出土(北から)



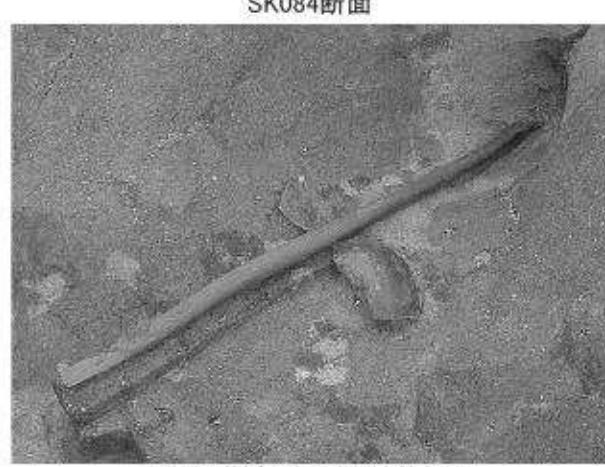
SK084断面



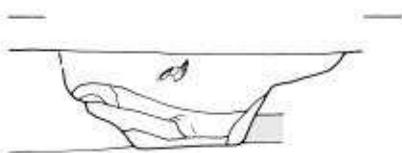
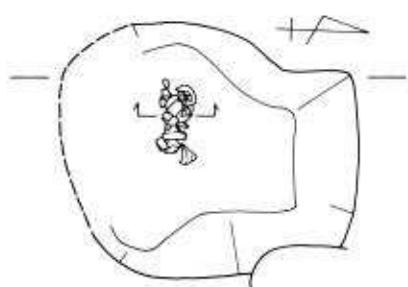
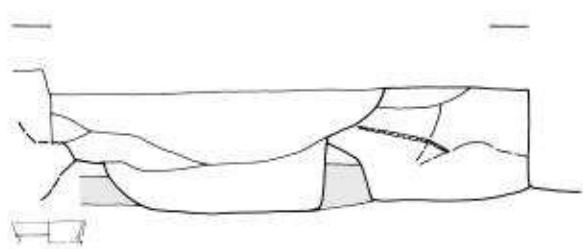
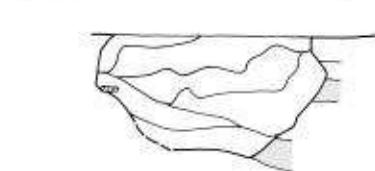
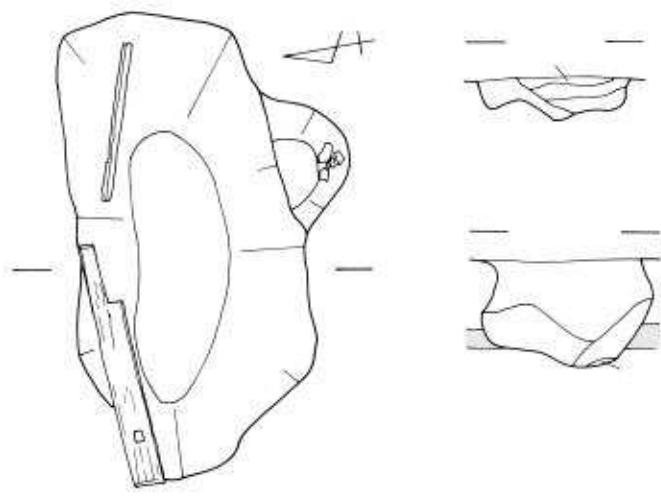
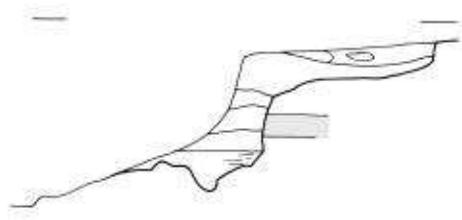
SK084断面



SK085鋤柄出土(北から)



SK085鋤柄出土(北西から)



写真図版20 粘土採掘土坑(15)



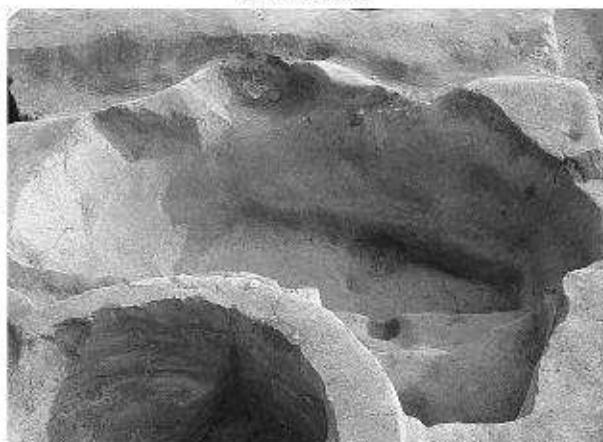
SK086断面



SK088断面



SK087断面



SK087土器出土(北から)



SK089断面



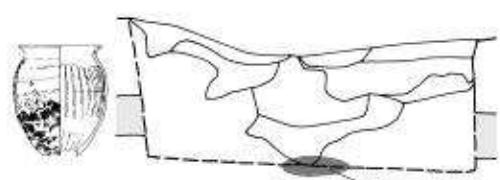
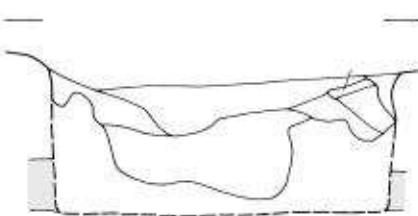
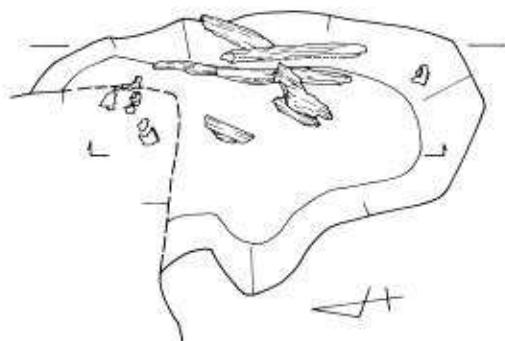
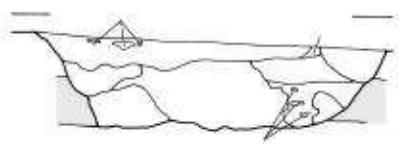
SK090・091断面



SK092断面



SK093土器出土(北から)



写真図版21 粘土採掘土坑(16)



SK099完掘(南西から)



SK101断面



SK100遺物出土(西から)



SK100土器出土(南西から)



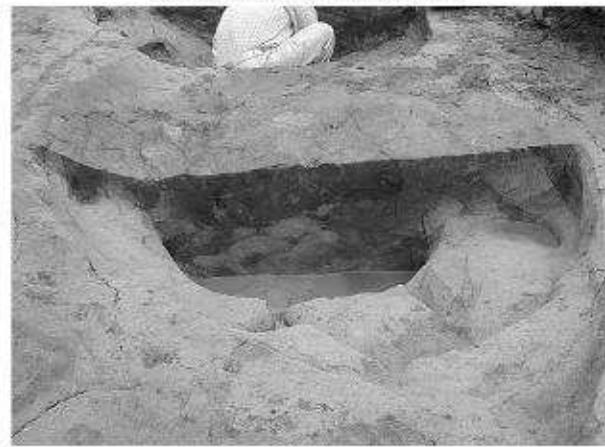
SK105断面(掘削途中)



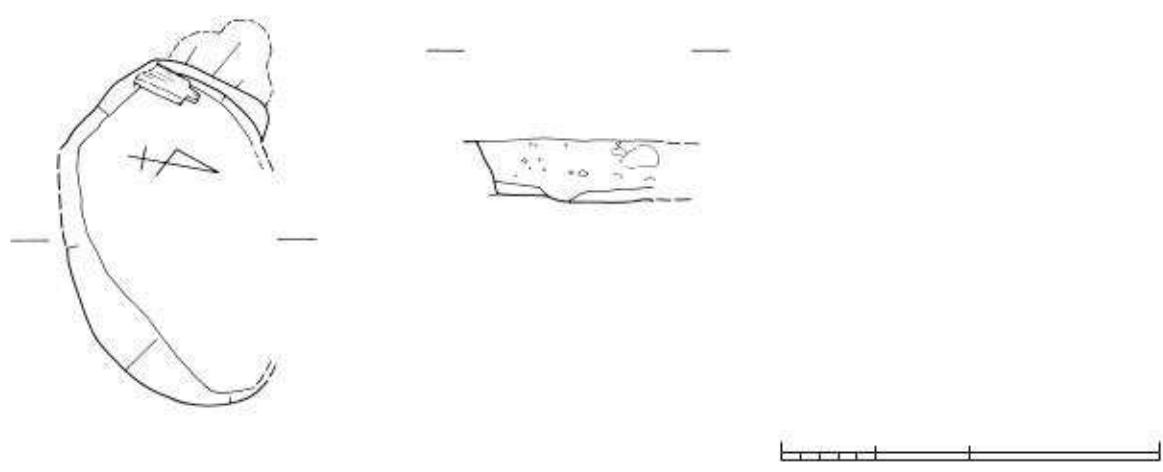
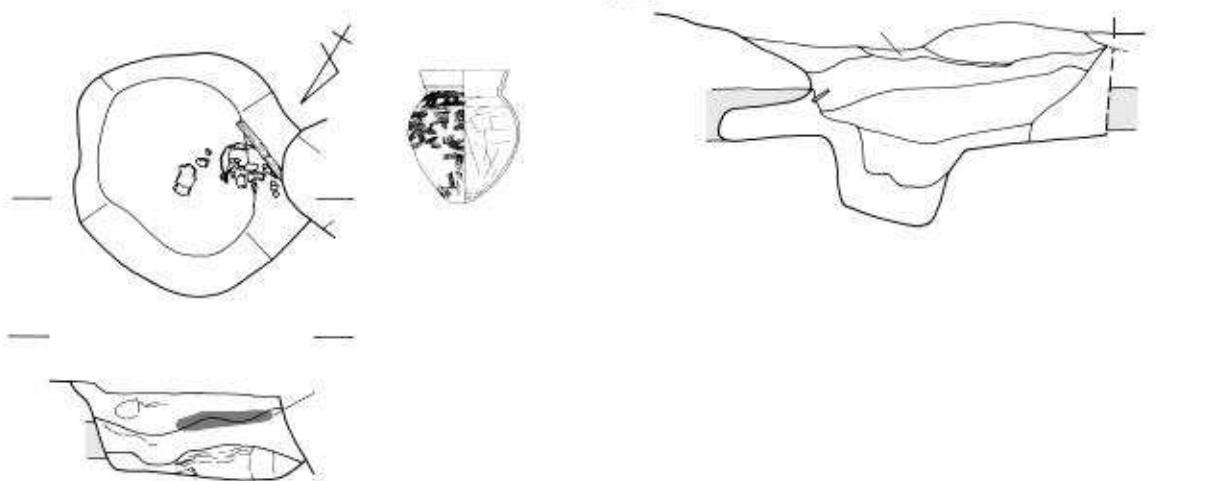
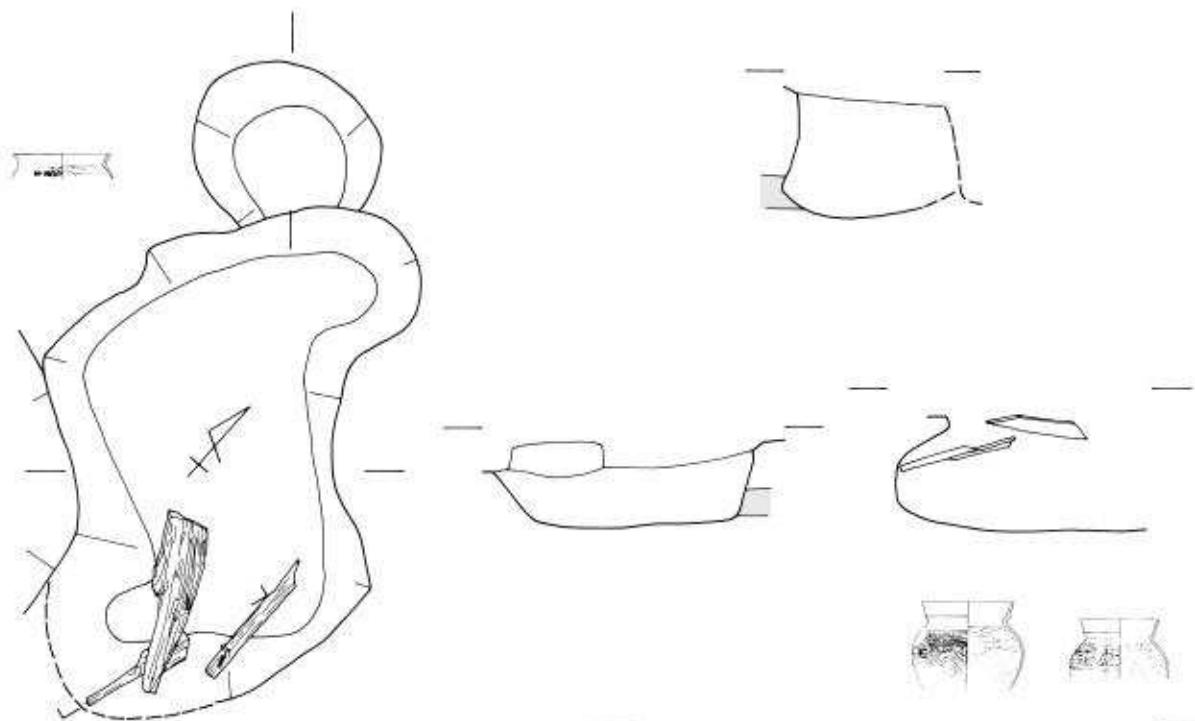
SK105遺物出土(北西から)



SK103断面



SK106断面(掘削途中)





SK108断面



SK108鋤出土(北から)



SK109上面土器出土(北から)



SK109断面



SK110断面



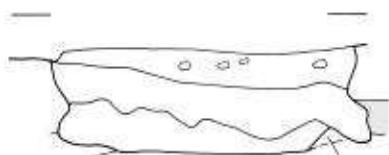
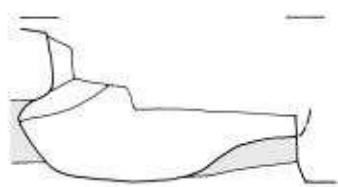
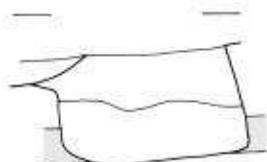
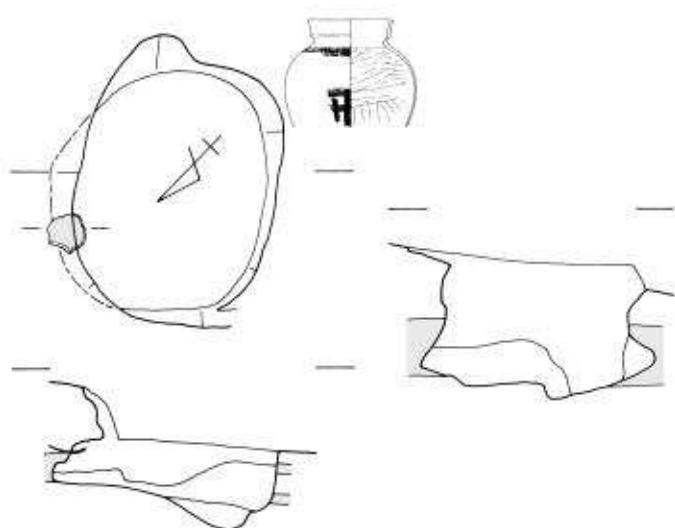
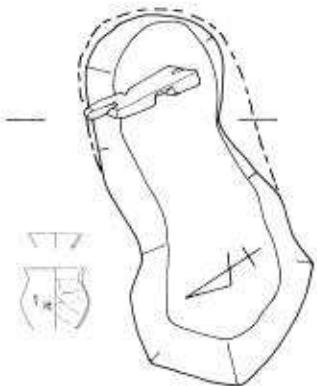
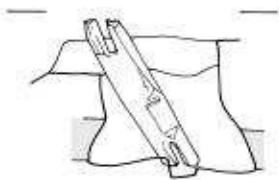
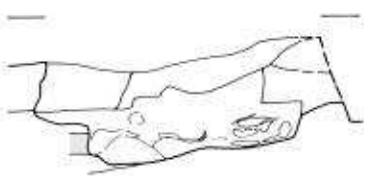
SK110断面



SK111断面



SK111腰掛けの脚出土(東から)



写真図版23-1 粘土採掘土坑(18)



SK114断面



SK114断面



SK115断面



SK105木器出土(西から)



SK118断面



SK121断面



SK122木器出土(北から)



SK122断面



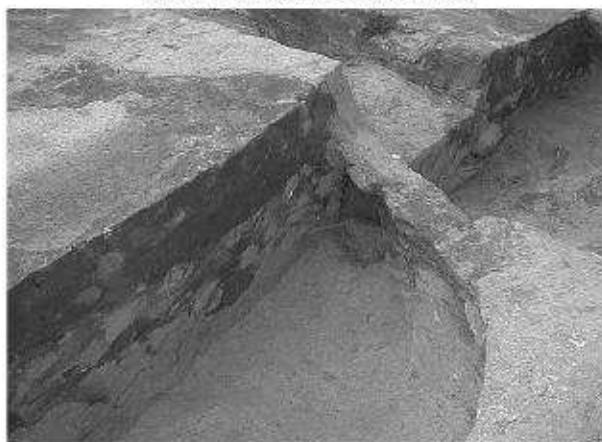
写真図版23-2 粘土採掘土坑(18)



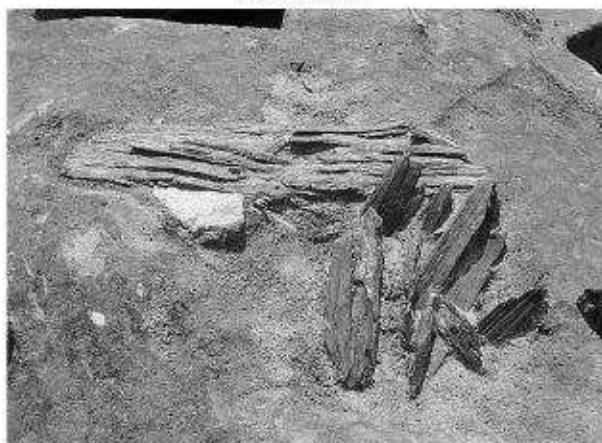
SK123上面木器出土(西から)



SK123断面



SK123断面



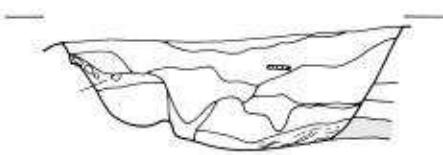
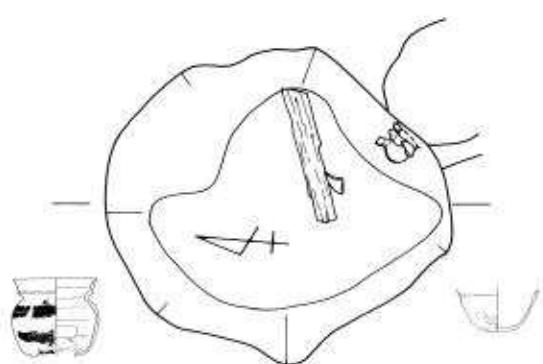
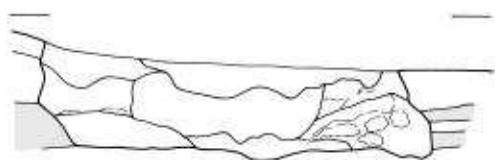
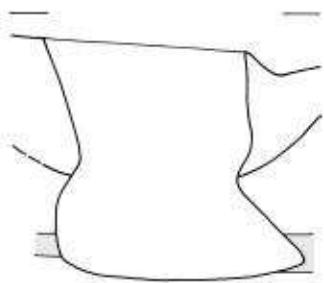
SK124上面木器出土(北から)



SK124上面木器出土(西から)



SK124断面



写真図版24 粘土採掘土坑(19)



SK125断面(北東から)



SK125完掘(南東から)



SK126断面



SK127断面



SK131断面



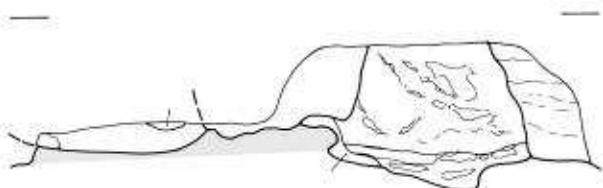
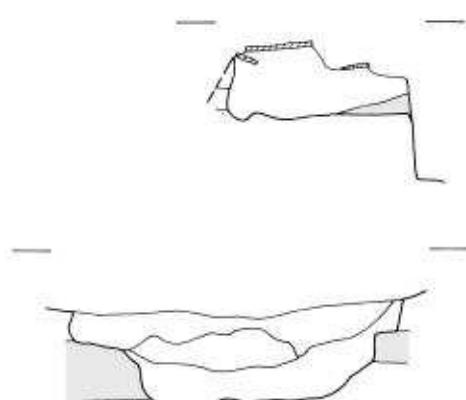
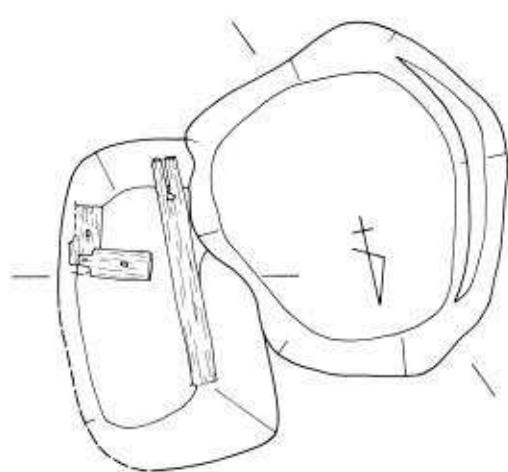
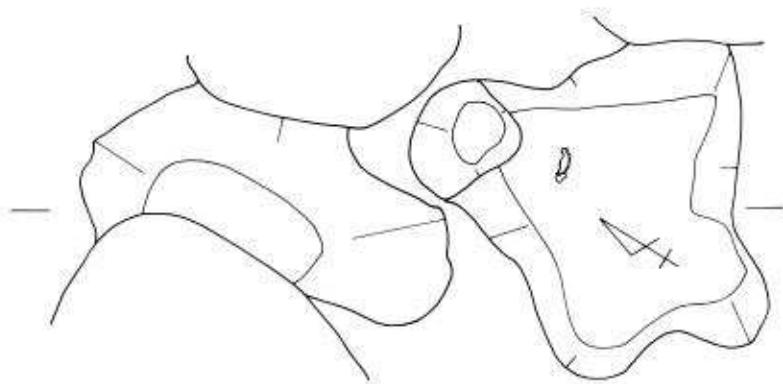
SK131遺物出土(北西から)



SK131土器出土(南西から)



SK133断面



写真図版25 粘土採掘土坑(20)



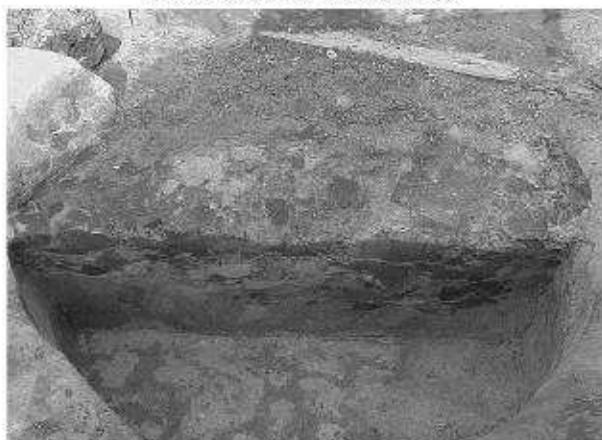
SK135断面



SK136木器出土(北東から)



SK136木器出土(北から)



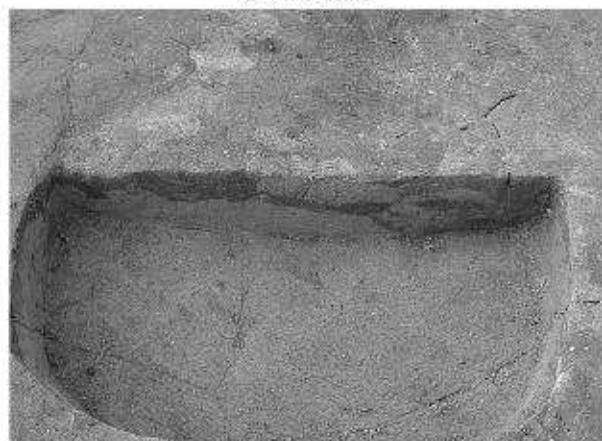
SK137断面



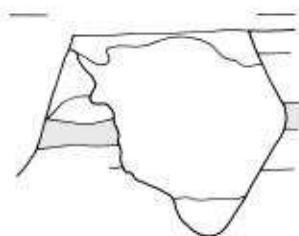
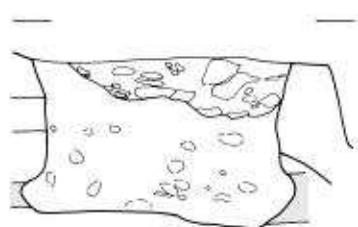
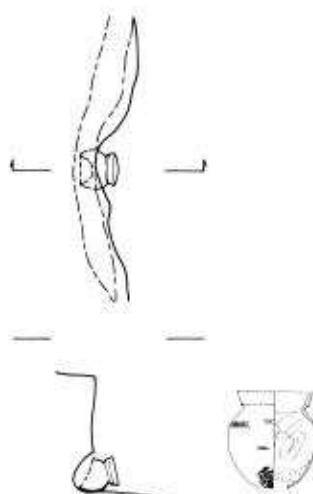
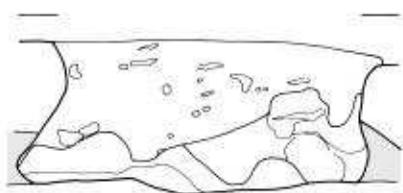
SK138断面



SK139・140断面



SK145断面



写真図版26 粘土採掘土坑(21)



SK141断面



SK142断面



SK142断面



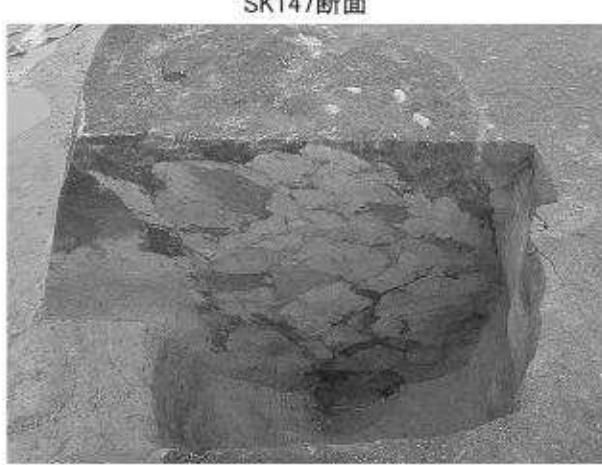
SK143土器出土



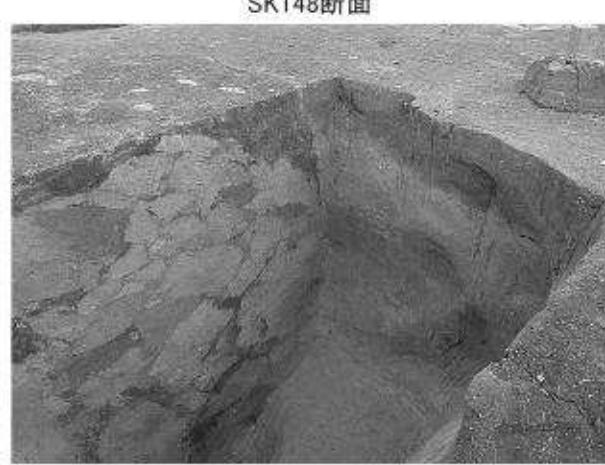
SK147断面



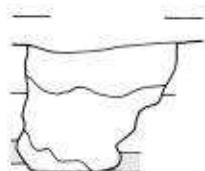
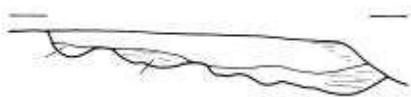
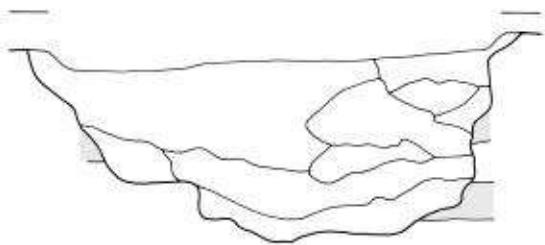
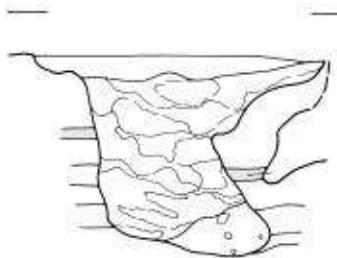
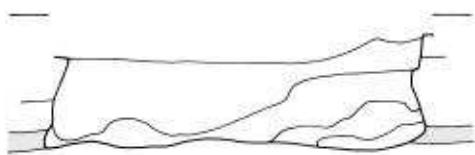
SK148断面



SK149断面



SK149断面



写真図版27 粘土採掘土坑(22)



SK150断面



SK153断面



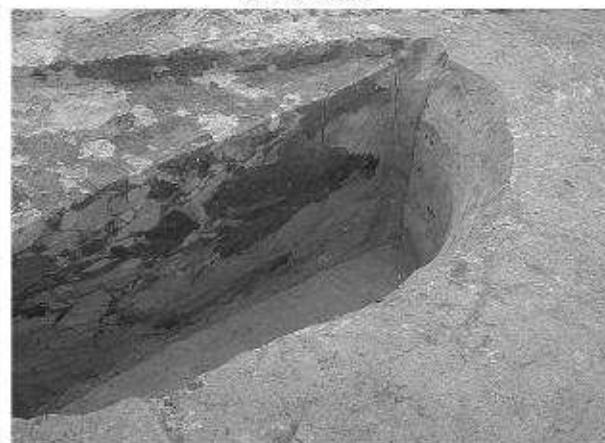
SK151断面



SK151断面



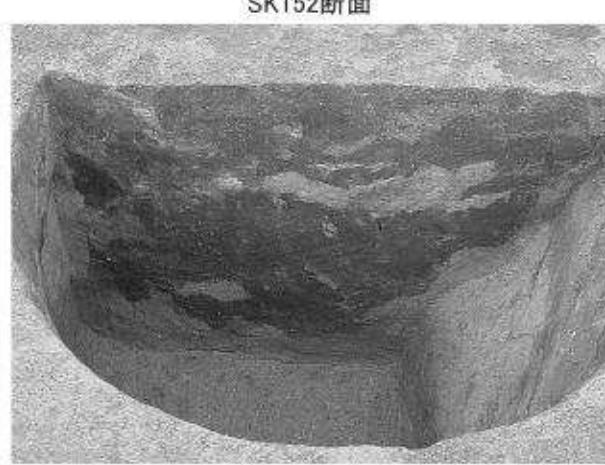
SK152断面



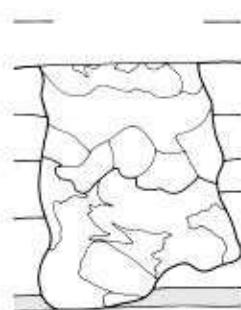
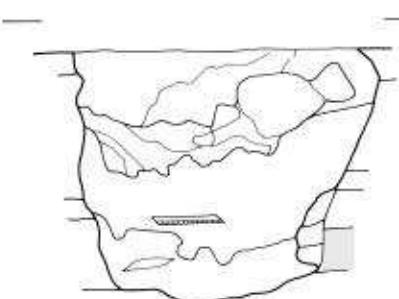
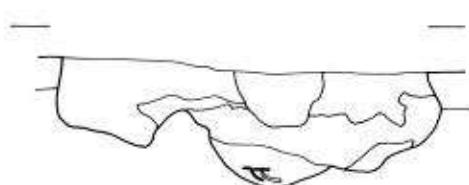
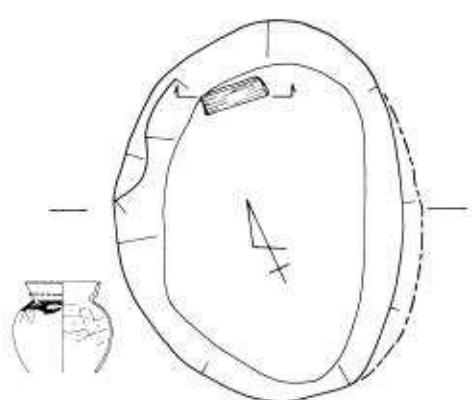
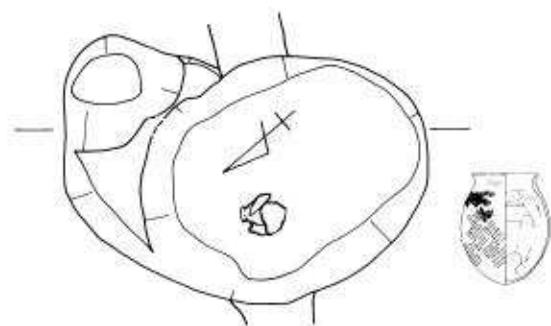
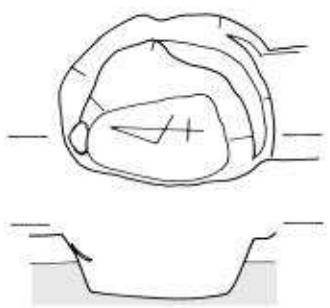
SK152断面



SK154断面



SK155断面



—

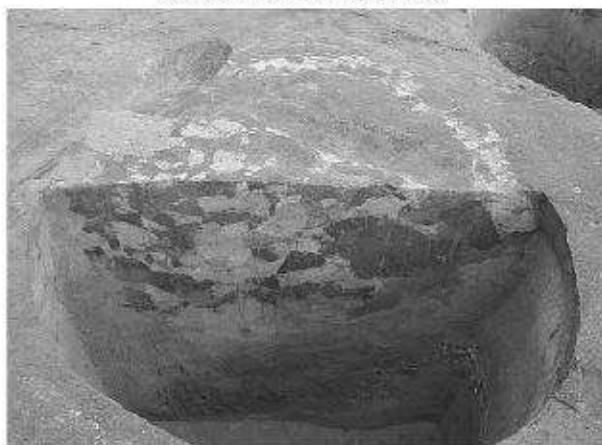
写真図版28 粘土採掘土坑(23)



SK156土器出土(南から)



SK156土器出土(東から)



SK157断面



SK157木器出土(南から)



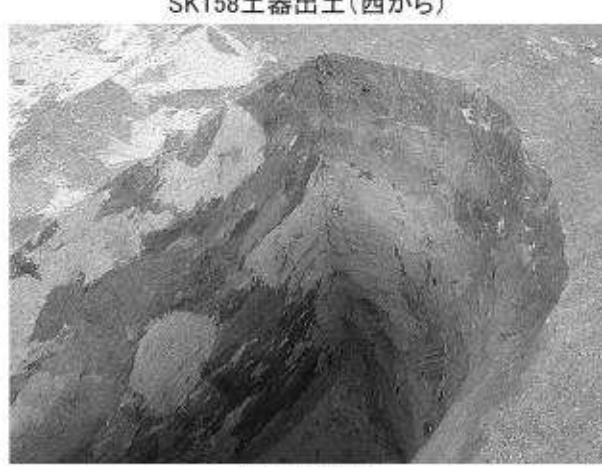
SK158土器出土(南から)



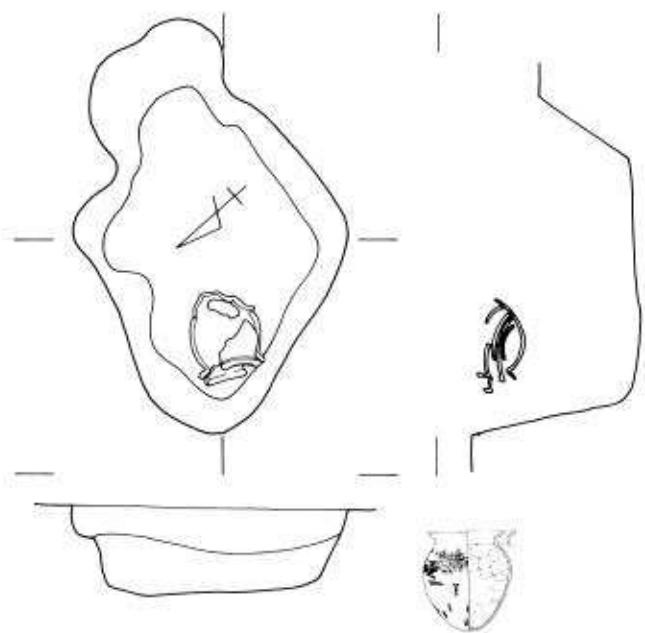
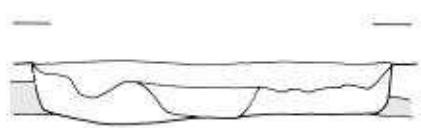
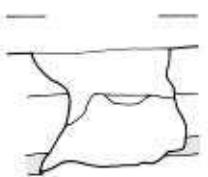
SK158土器出土(西から)



SK159断面



SK159断面



写真図版29 粘土採掘土坑(24)



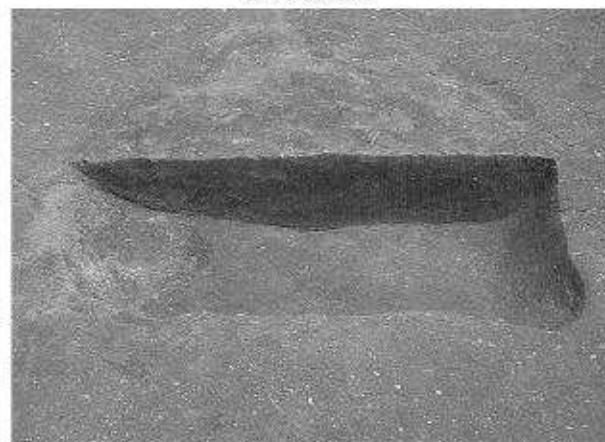
SK160断面



SK162断面



SK164断面



SK166断面



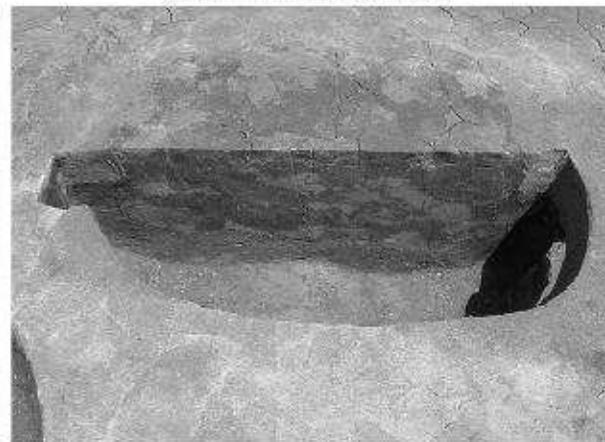
SK167断面



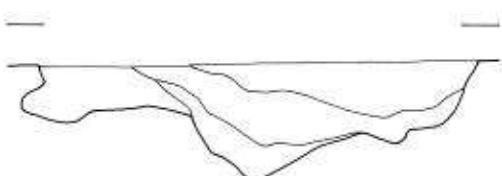
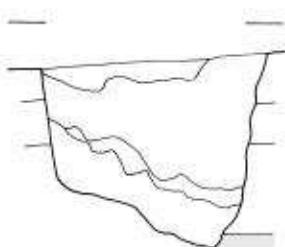
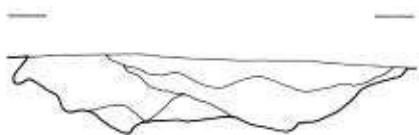
SK167土器出土(南から)



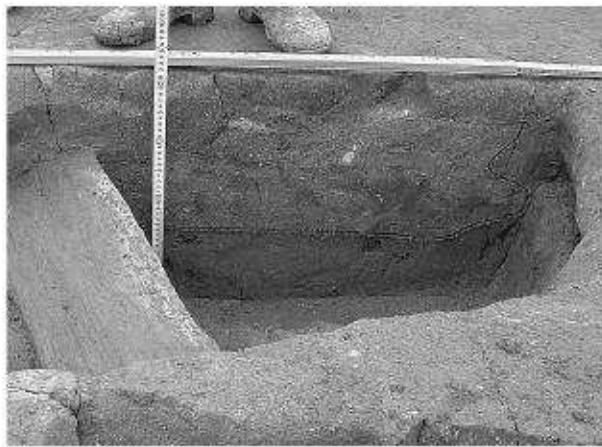
SK168断面



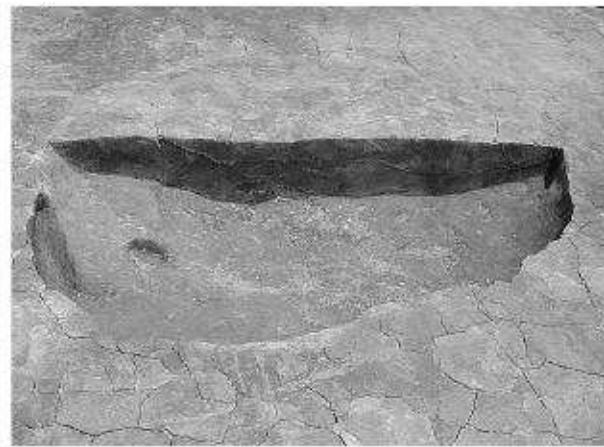
SK171断面



写真図版30 粘土採掘土坑(25)



SK172断面



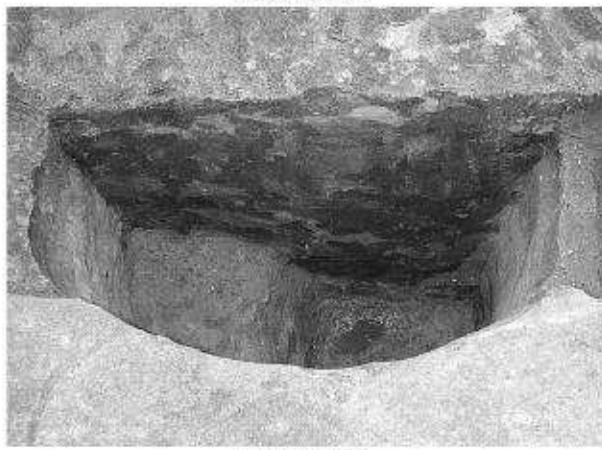
SK173断面



SK174断面



SK174断面



SK175断面



SK176完掘(西から)



SK177断面



SK178断面



写真図版31 粘土採掘土坑(26)



SK179断面



SK180断面(南から)



SK181断面



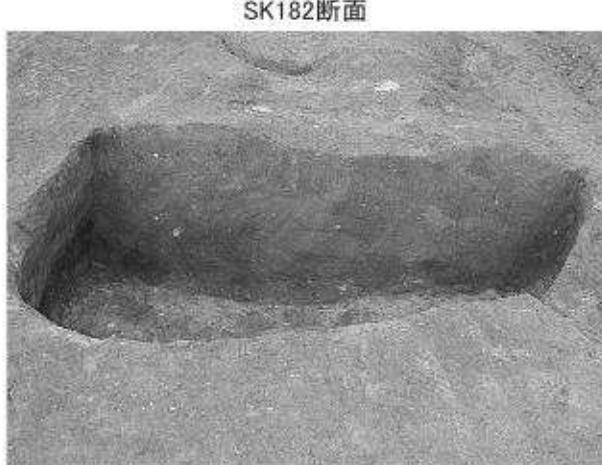
SK181断面



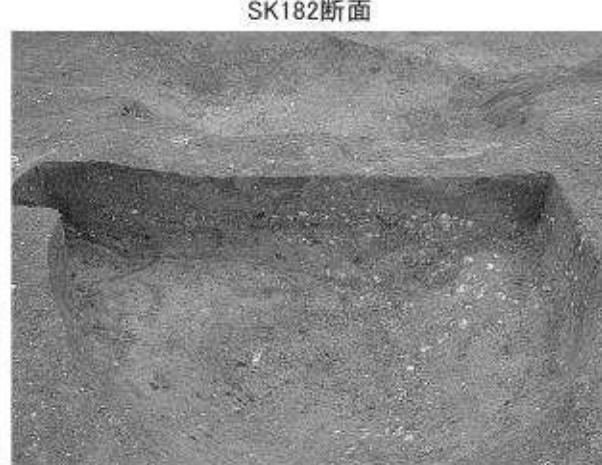
SK182断面



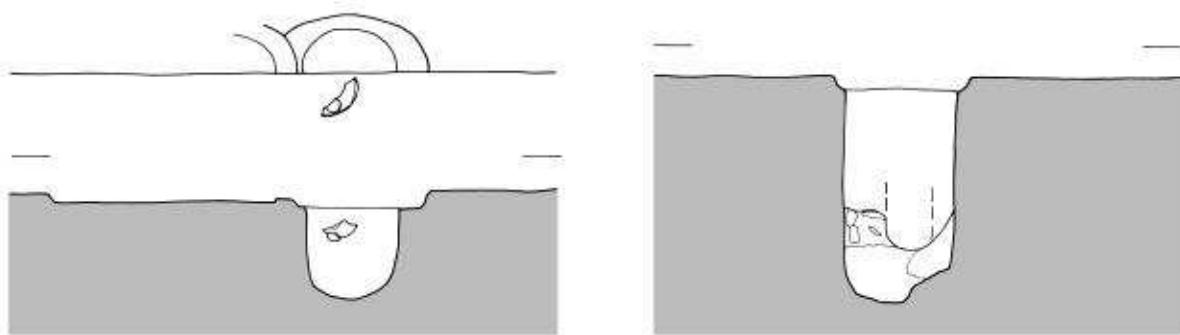
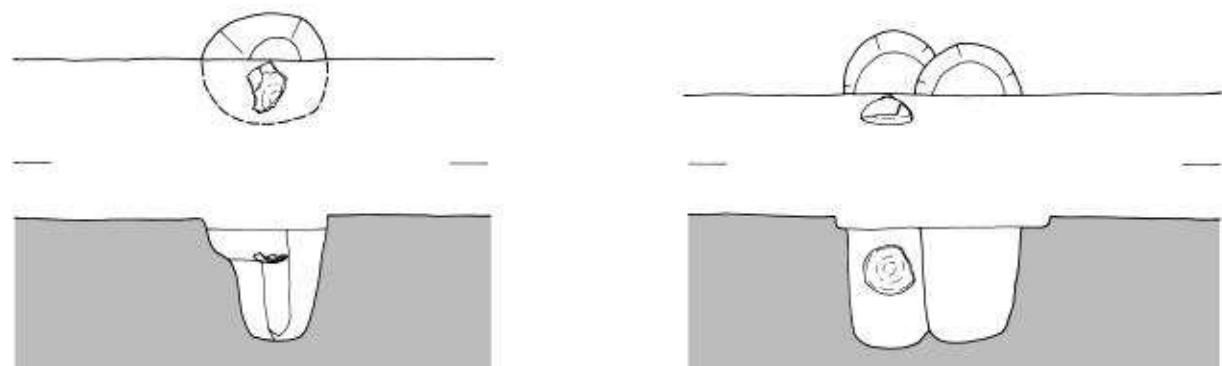
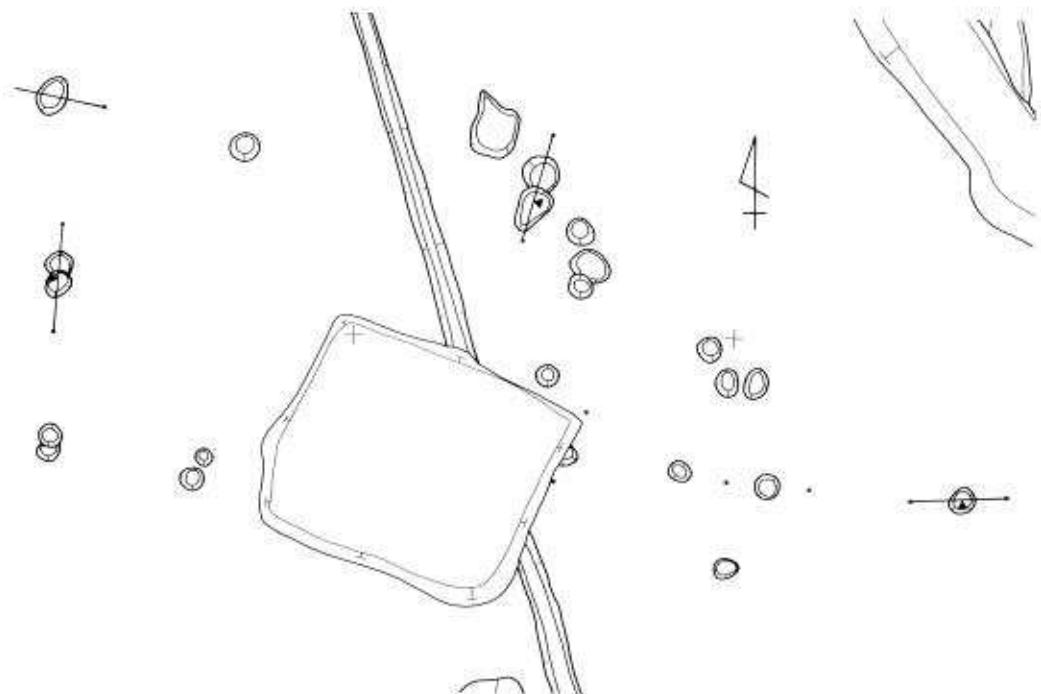
SK182断面



SK183断面



SK184断面

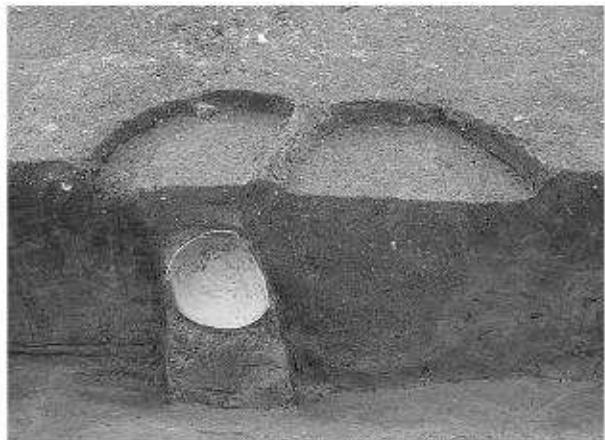




中央ピット群全景(東から)



P002断面(南から)



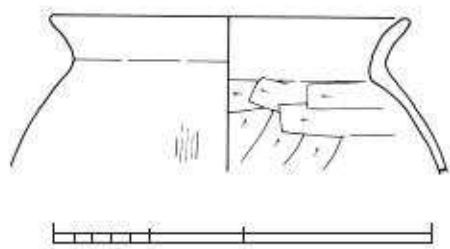
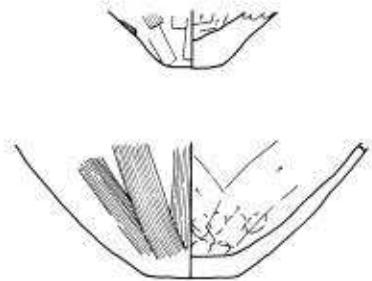
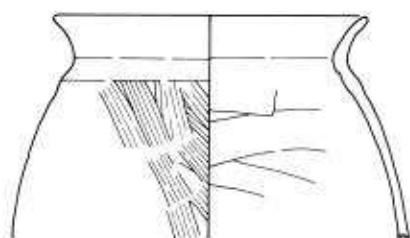
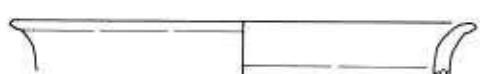
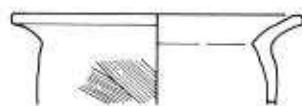
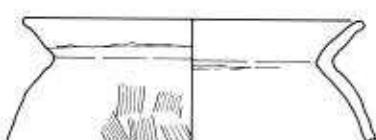
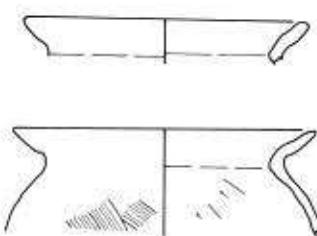
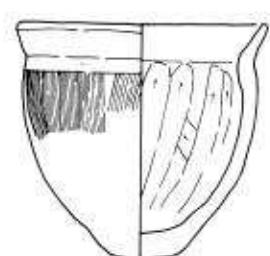
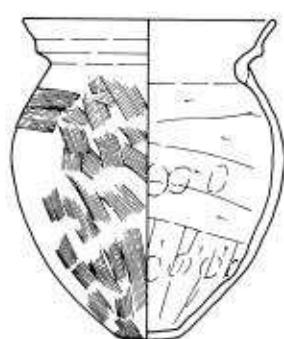
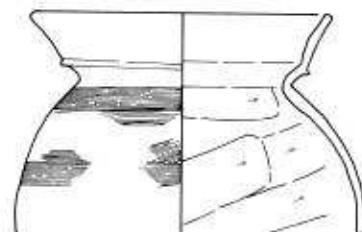
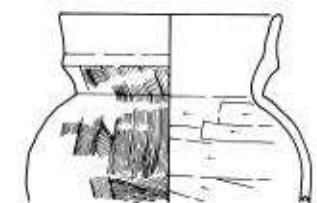
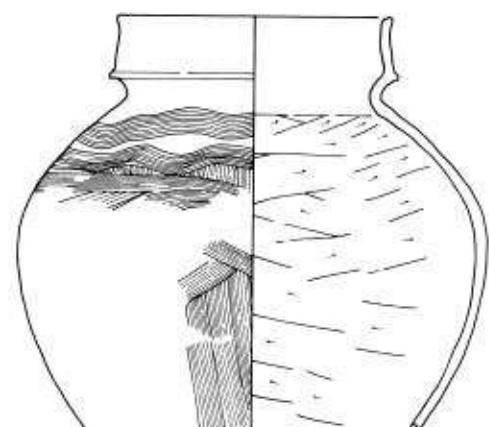
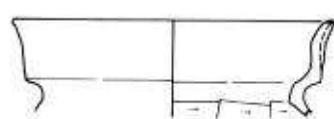
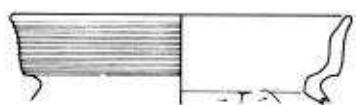
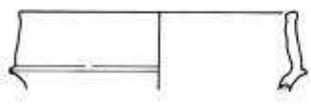
P004断面(西から)

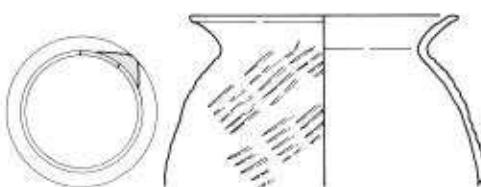
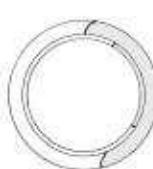
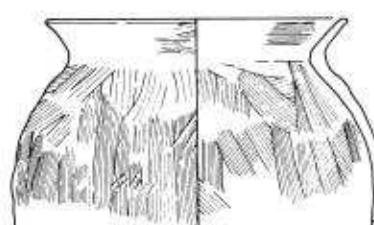
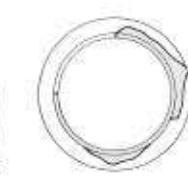
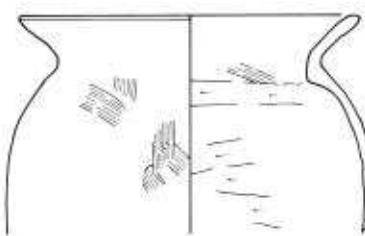
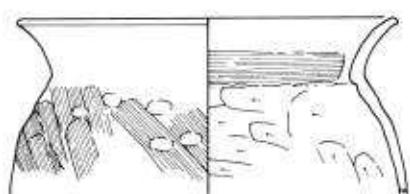
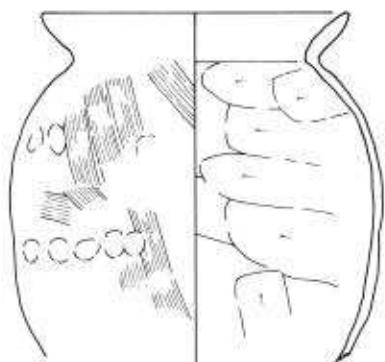
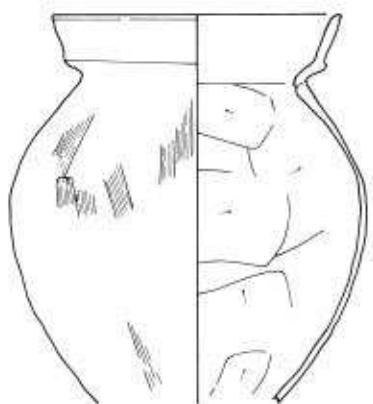
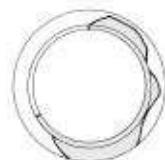
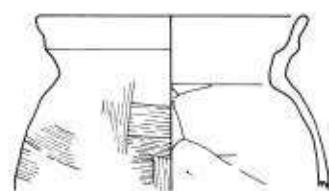
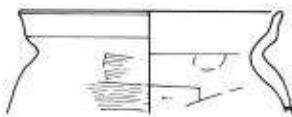
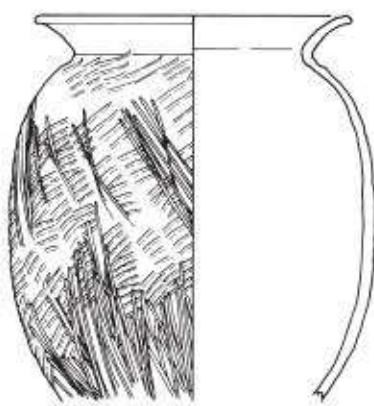


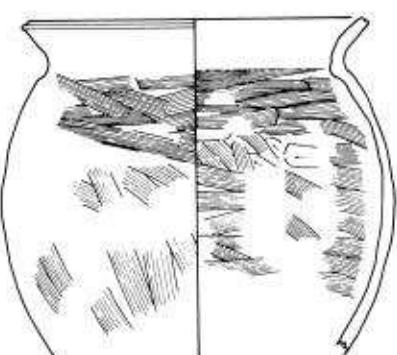
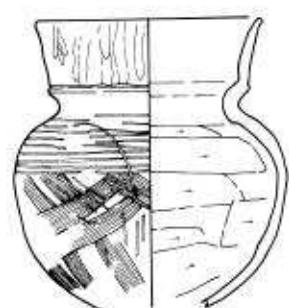
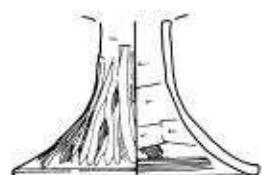
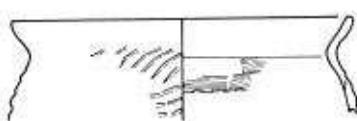
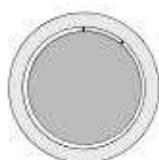
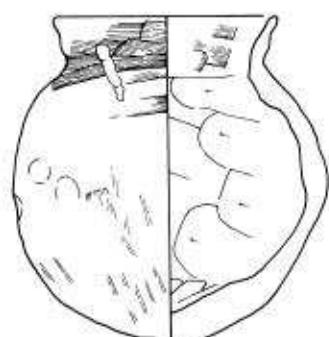
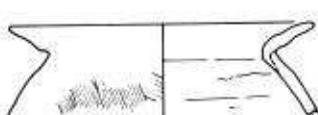
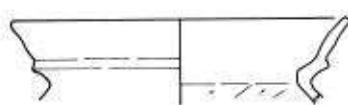
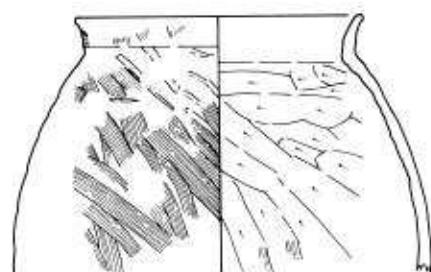
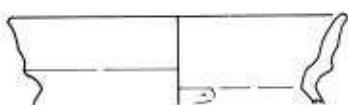
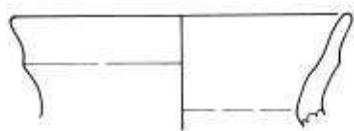
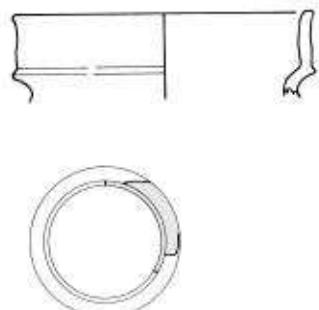
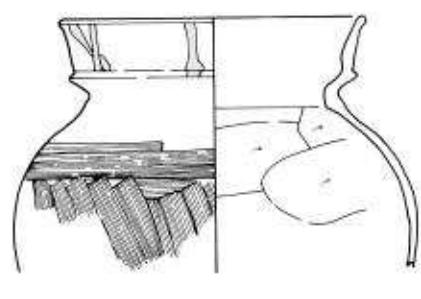
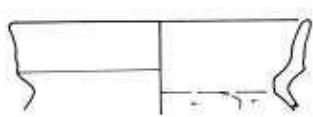
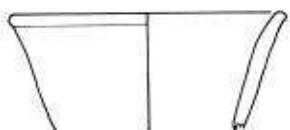
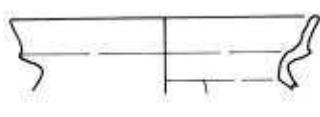
P005断面(東から)

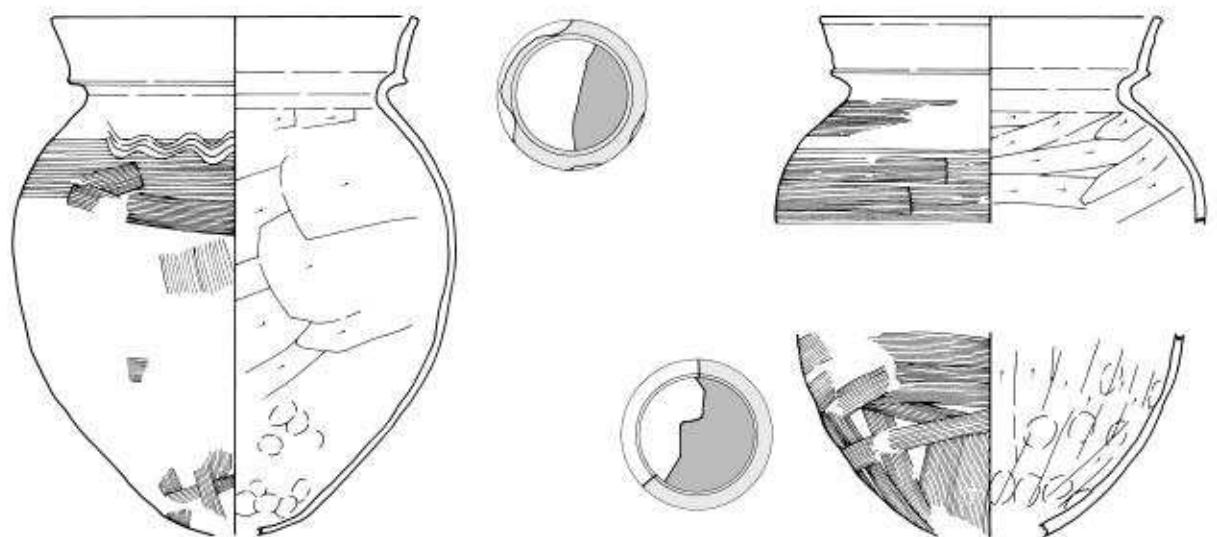
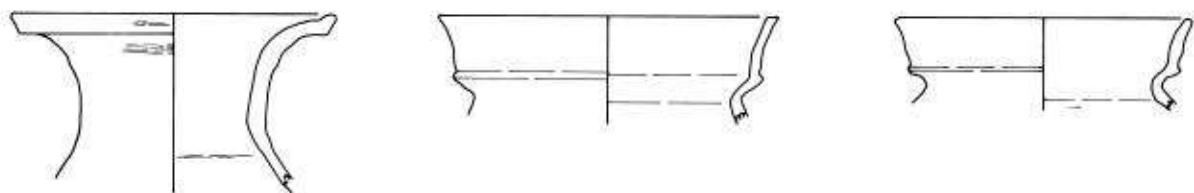
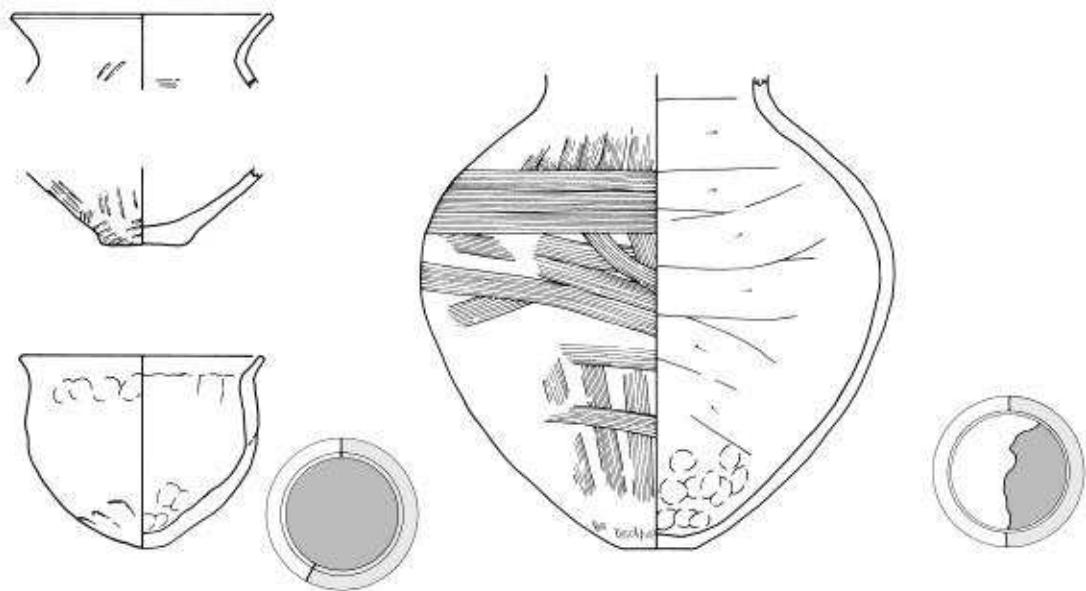


P006断面(南から)

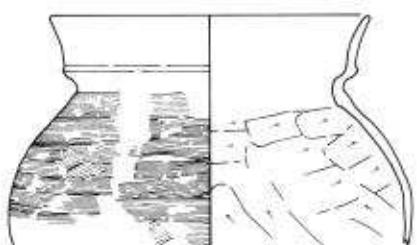
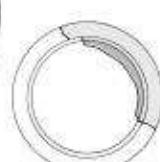
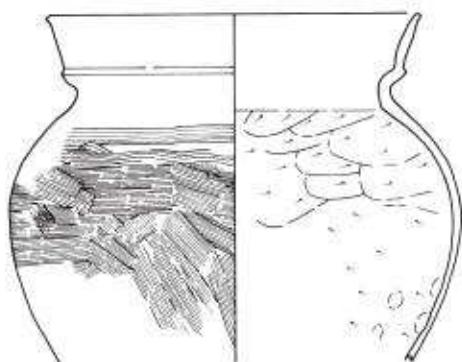
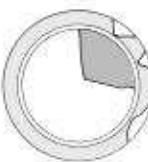
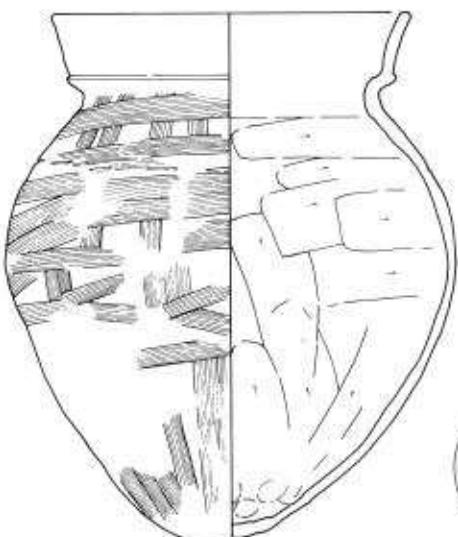
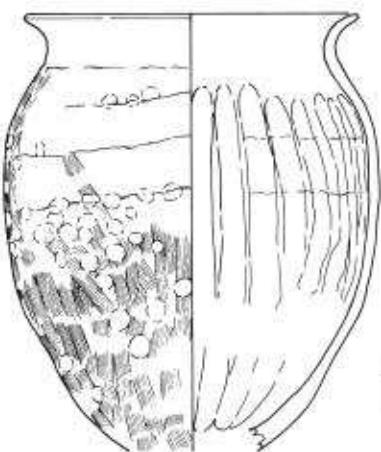
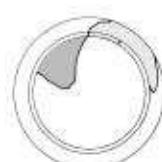
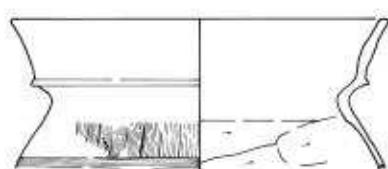
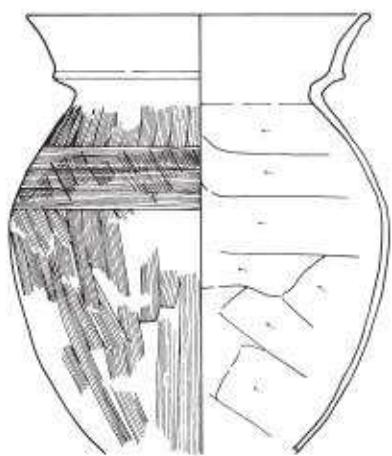
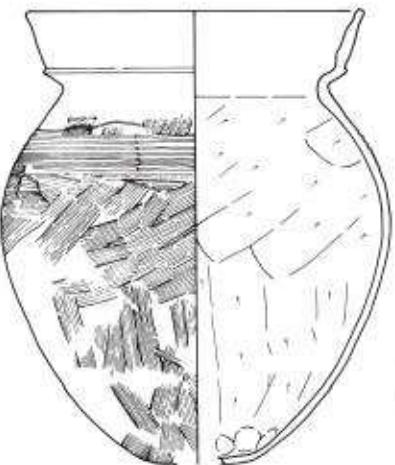
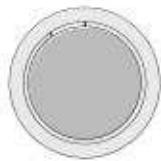
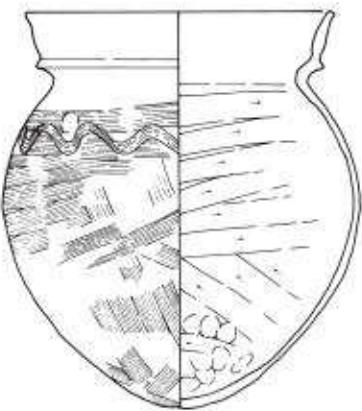


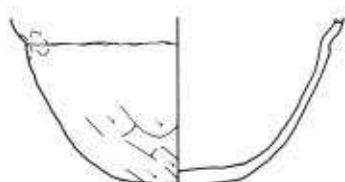
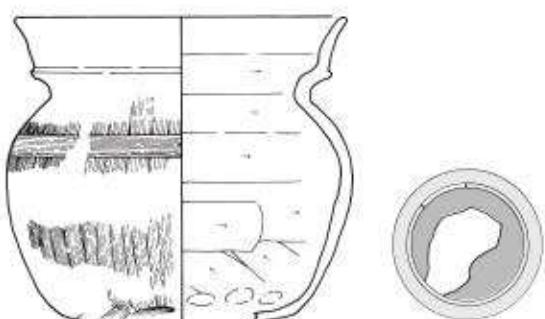
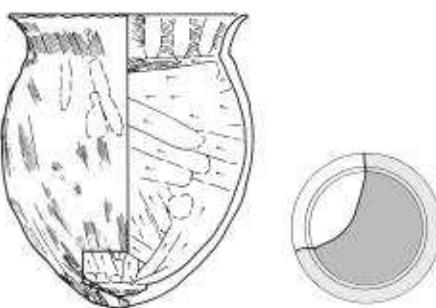
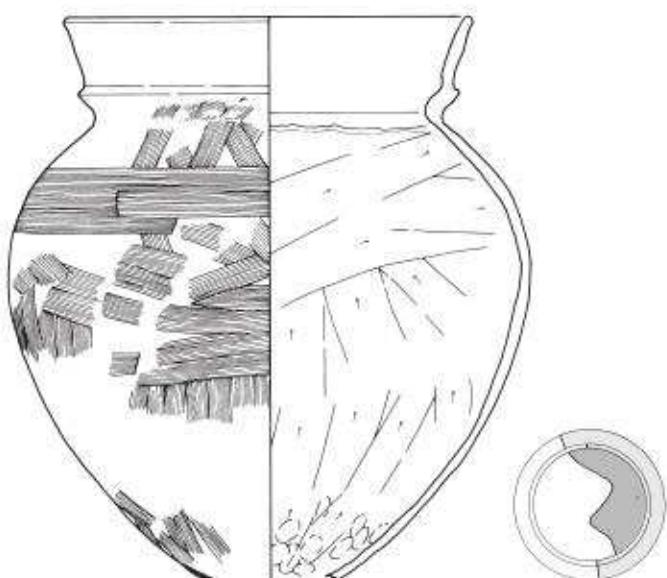
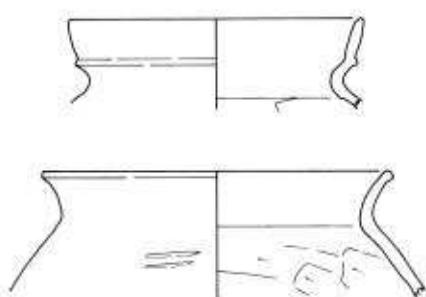
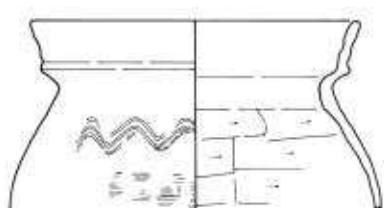
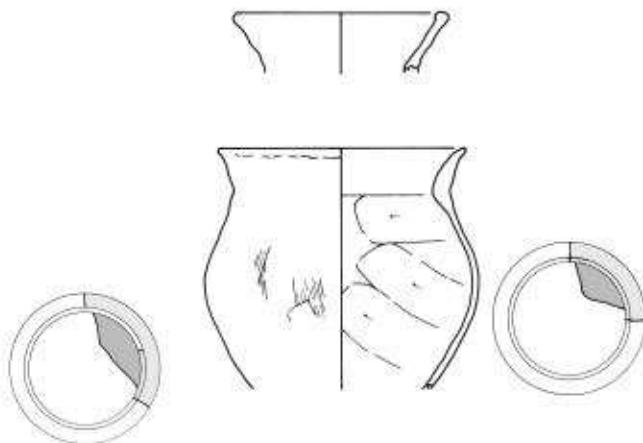
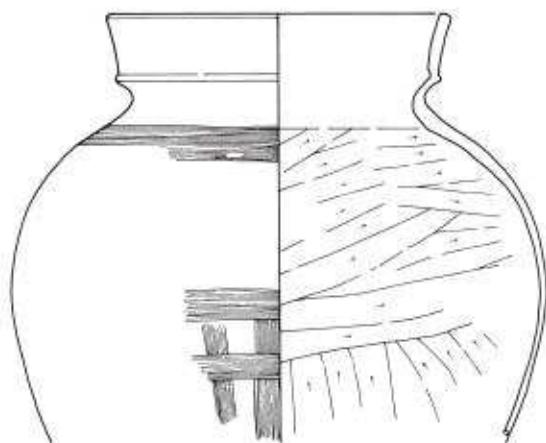


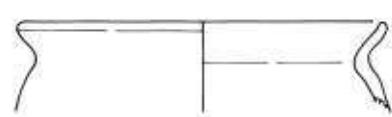
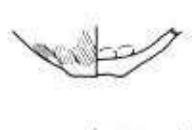
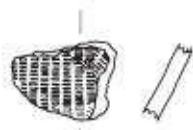
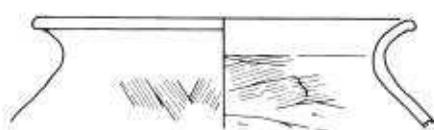
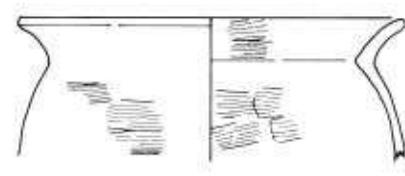
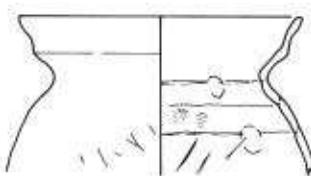
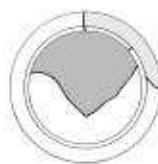
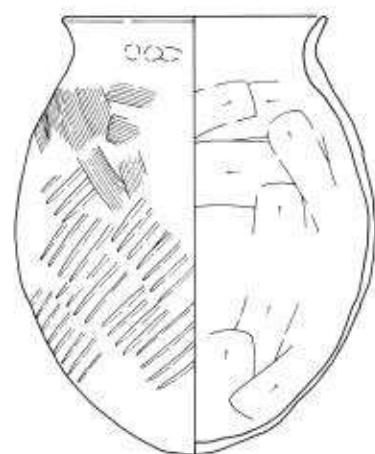
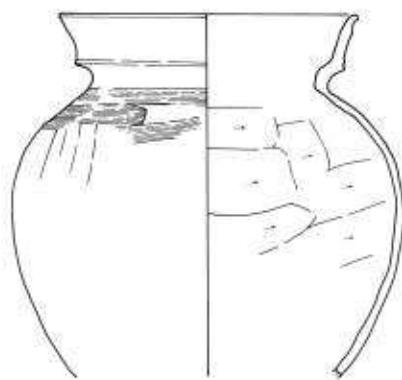
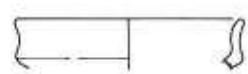
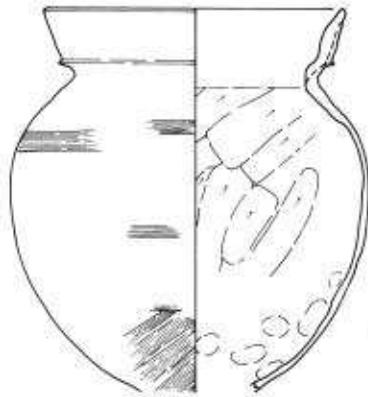
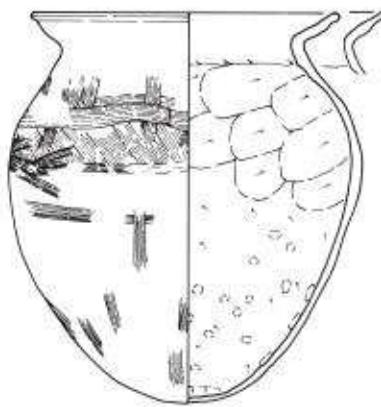


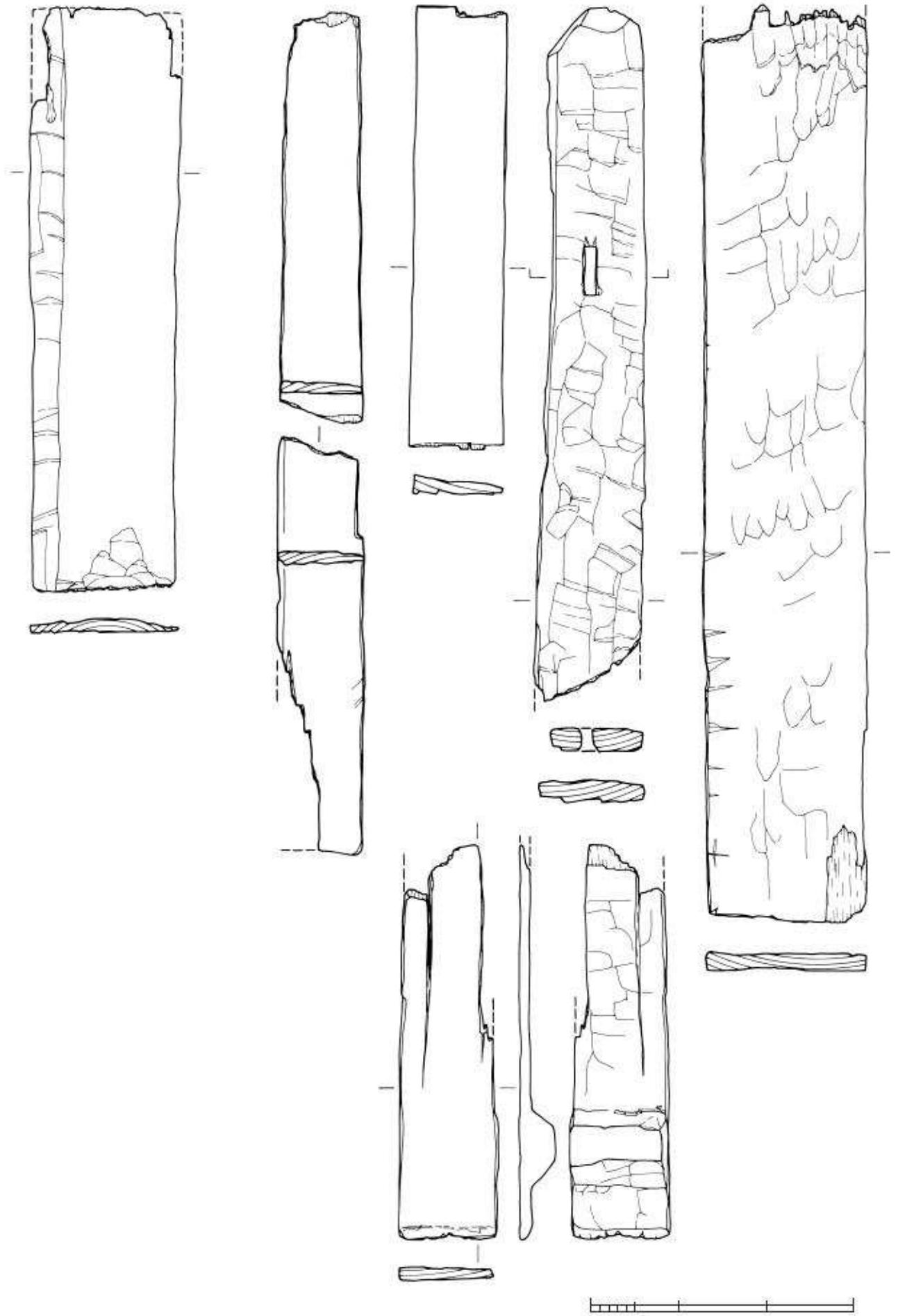


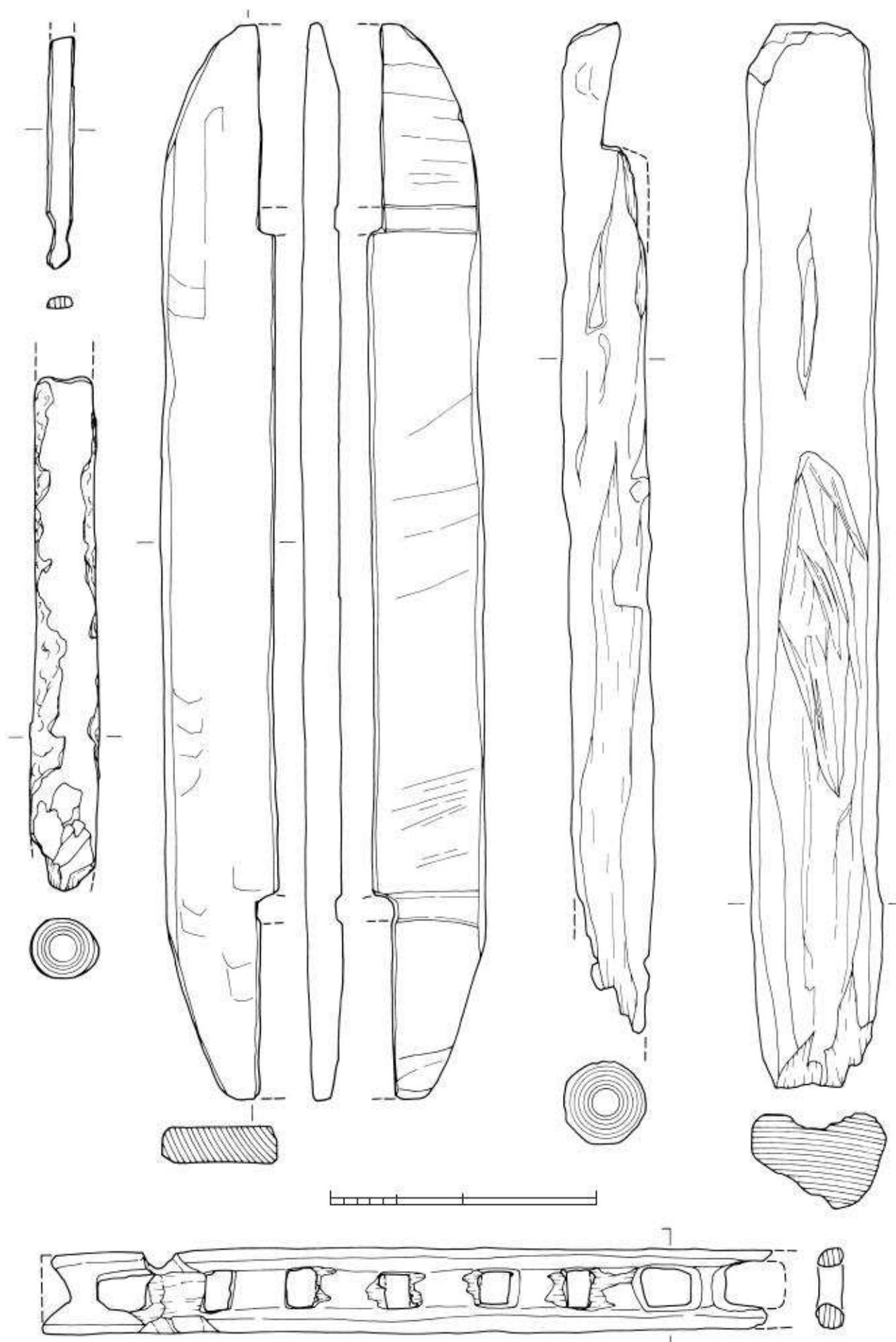
—



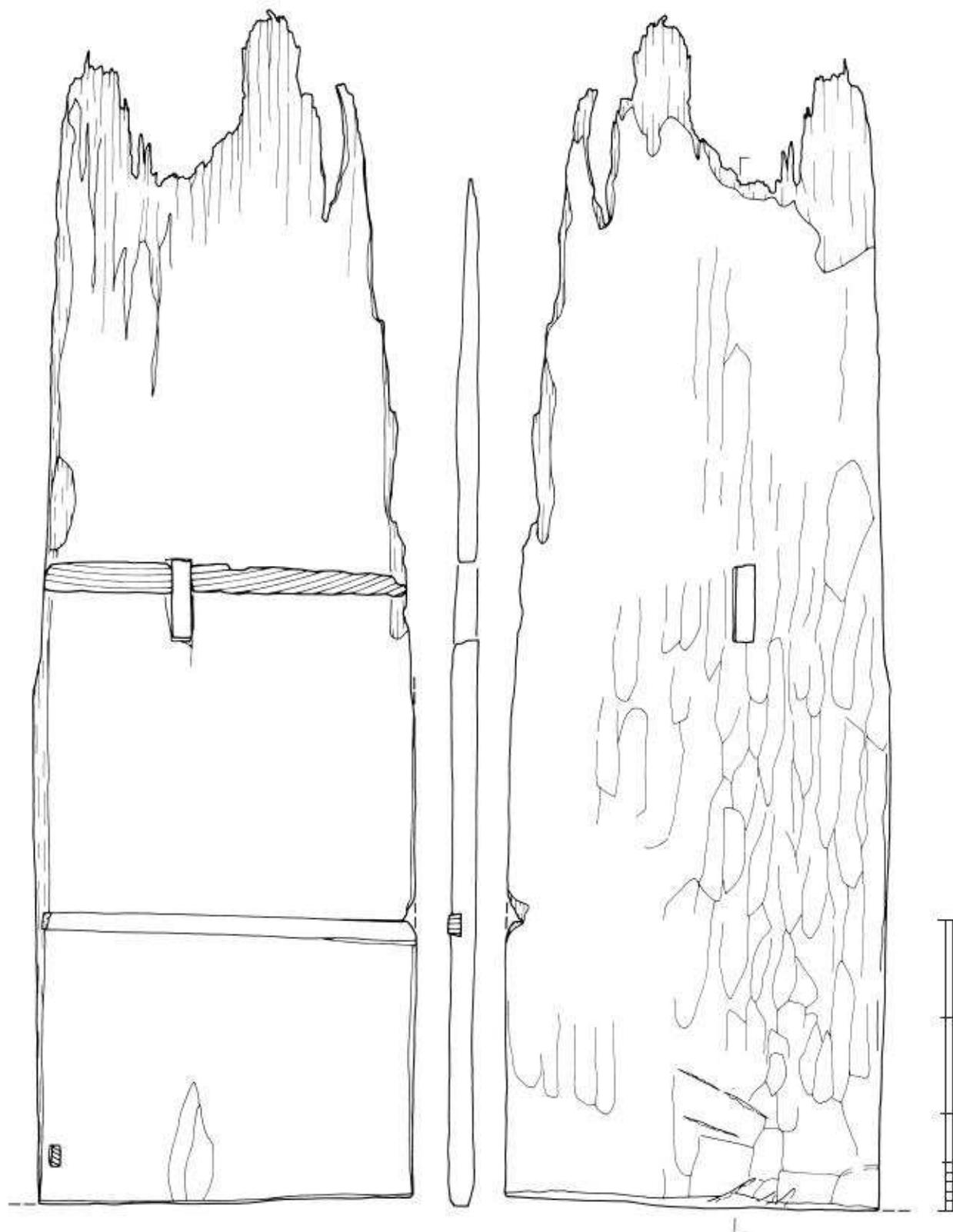




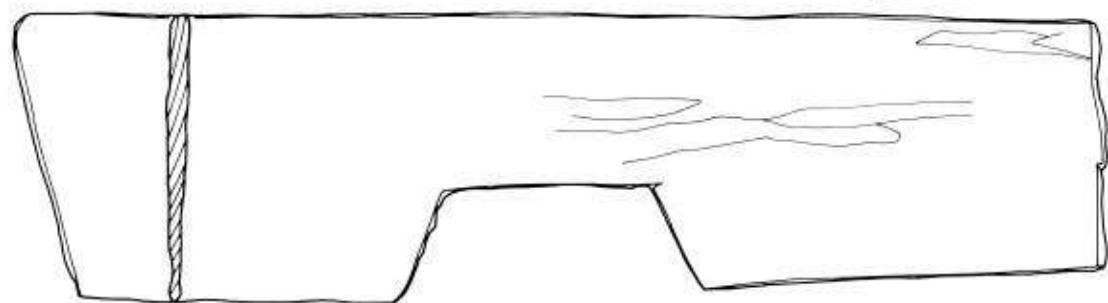


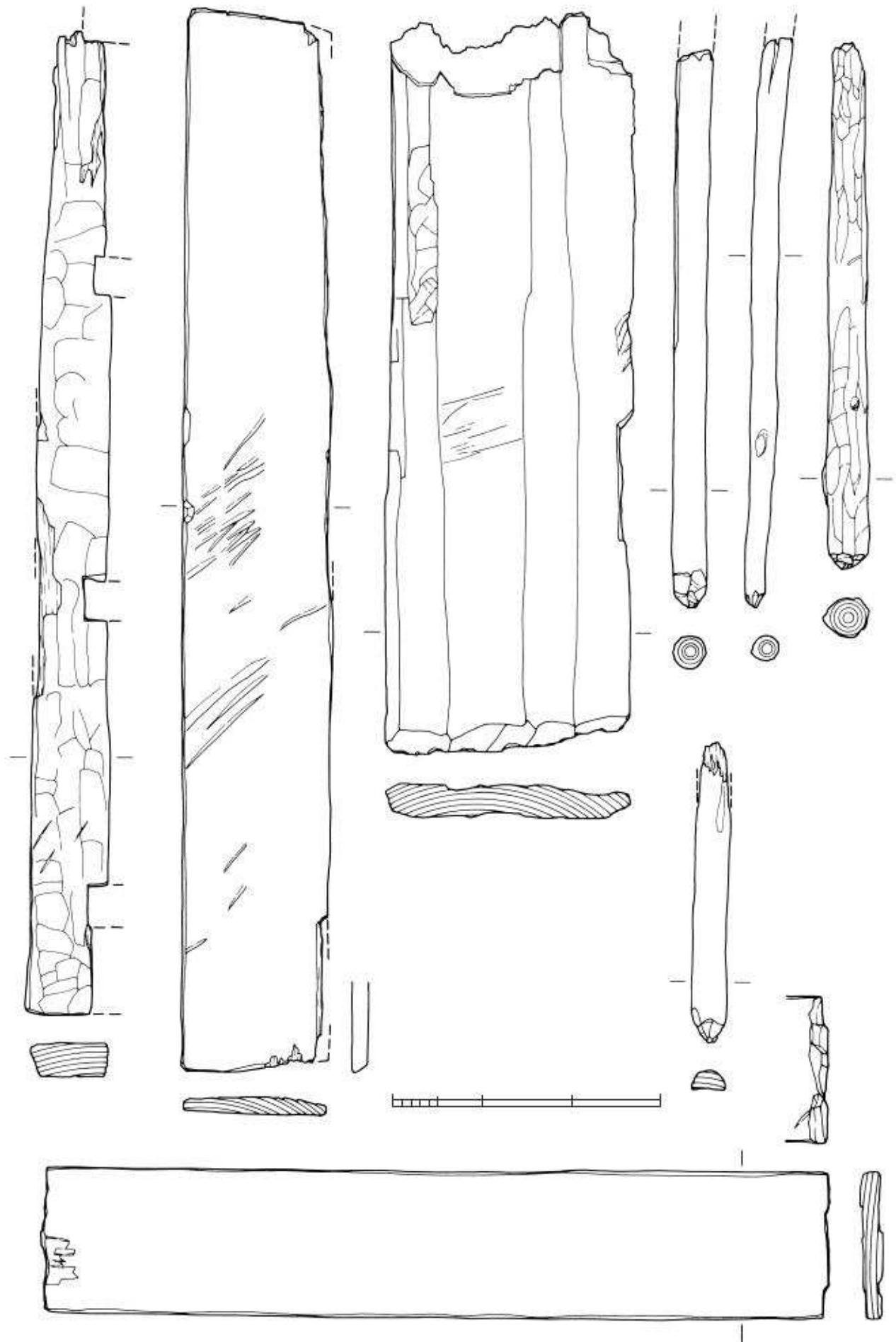


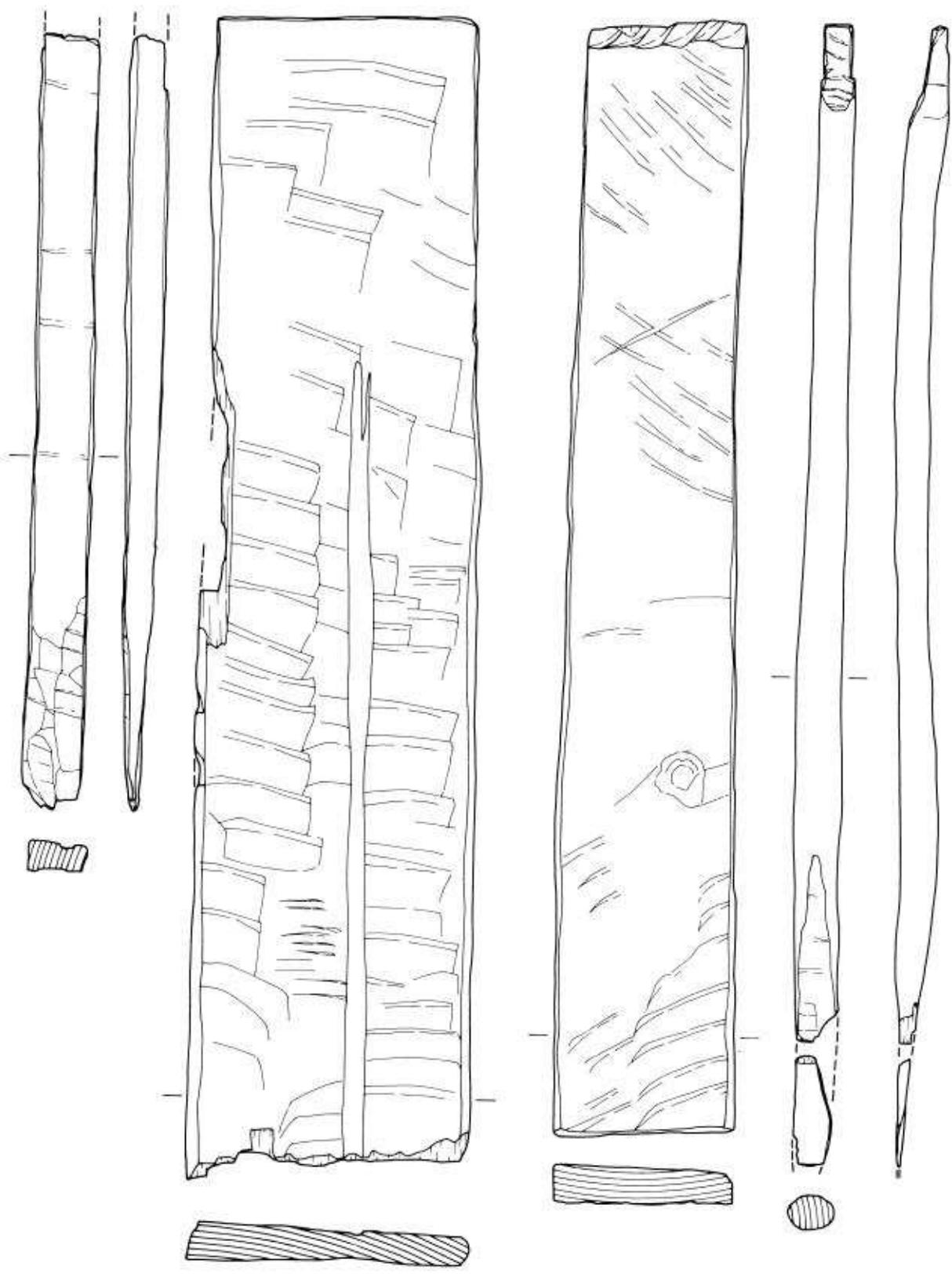


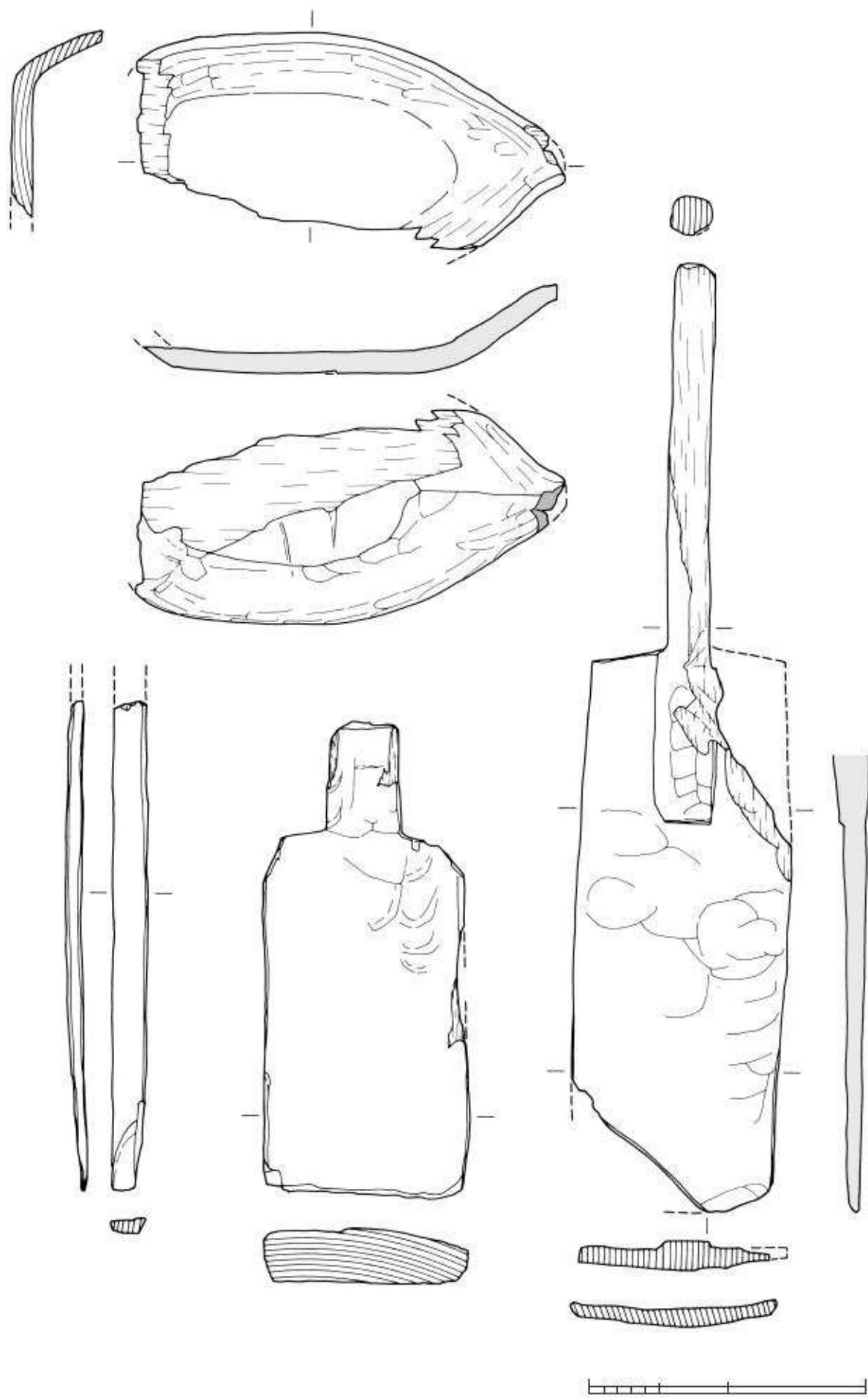


L

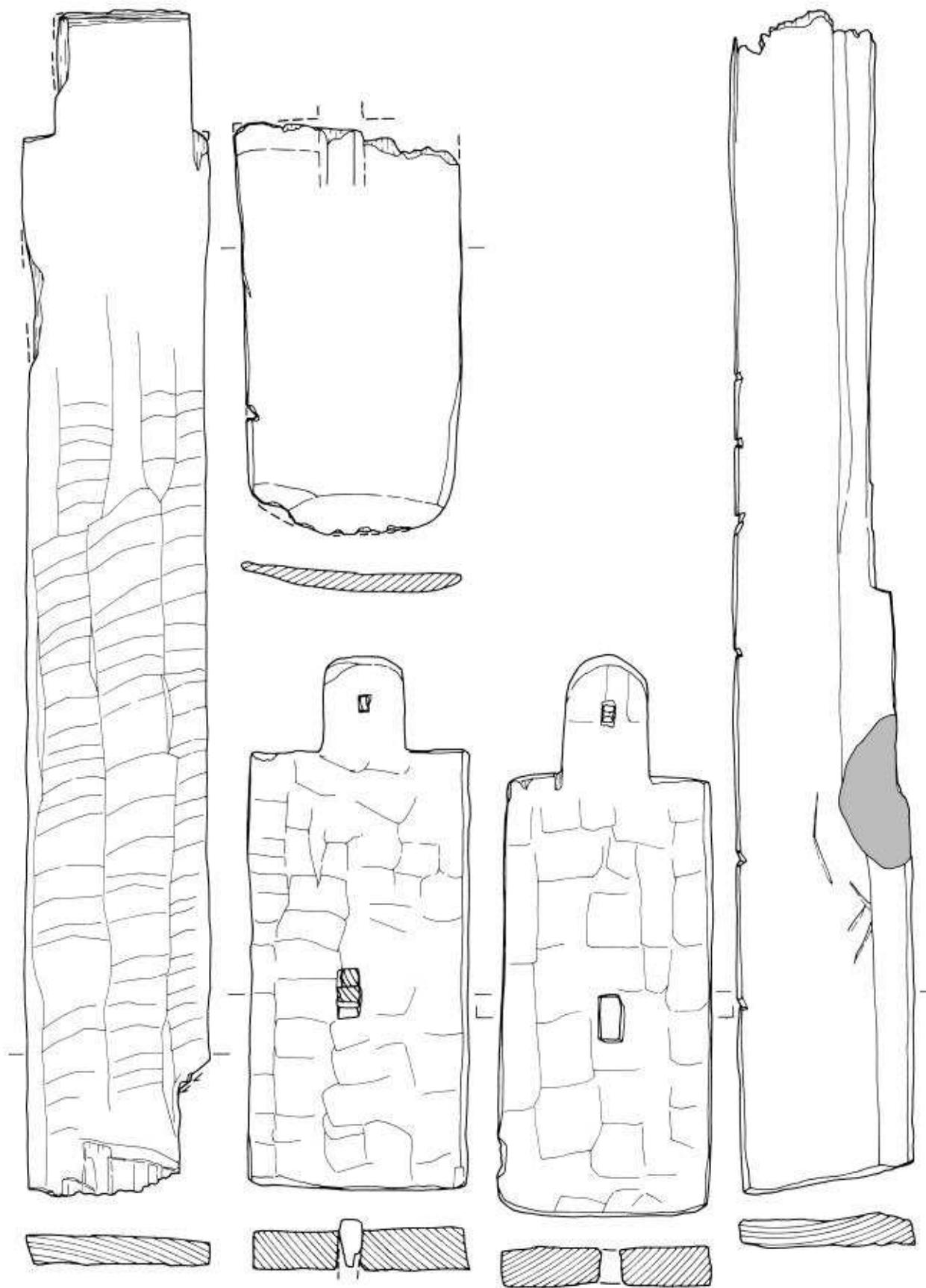






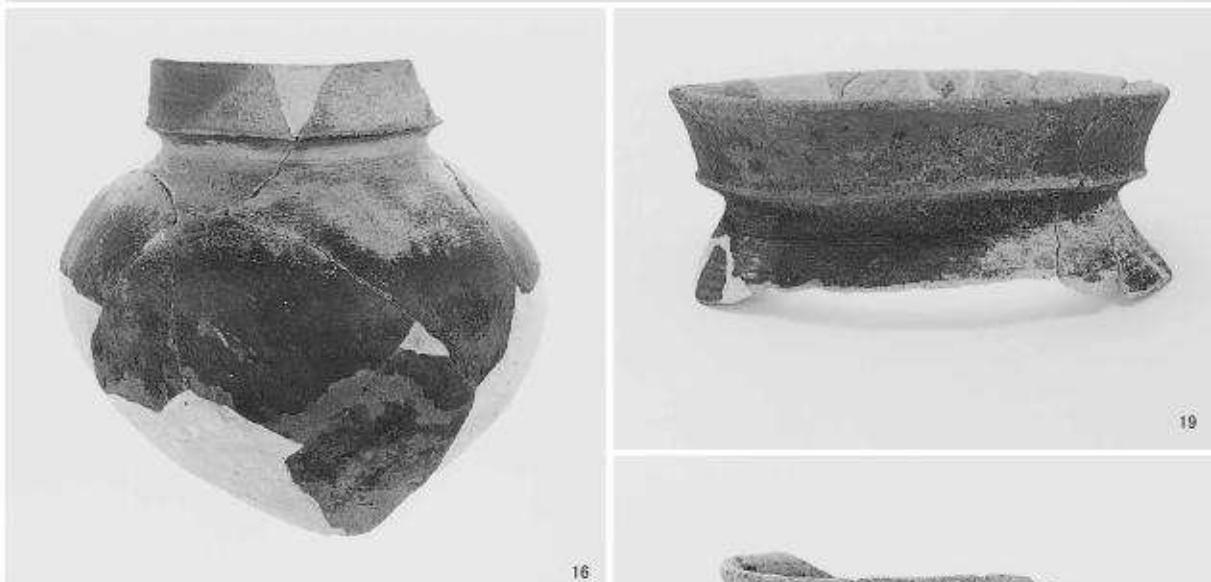






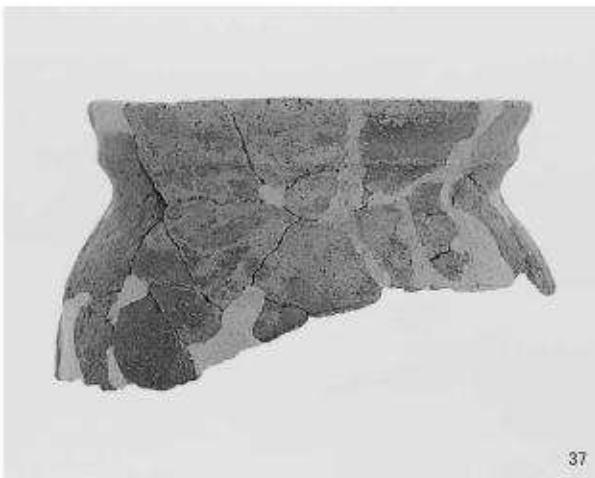
—

写真図版33 出土土器(1)





23



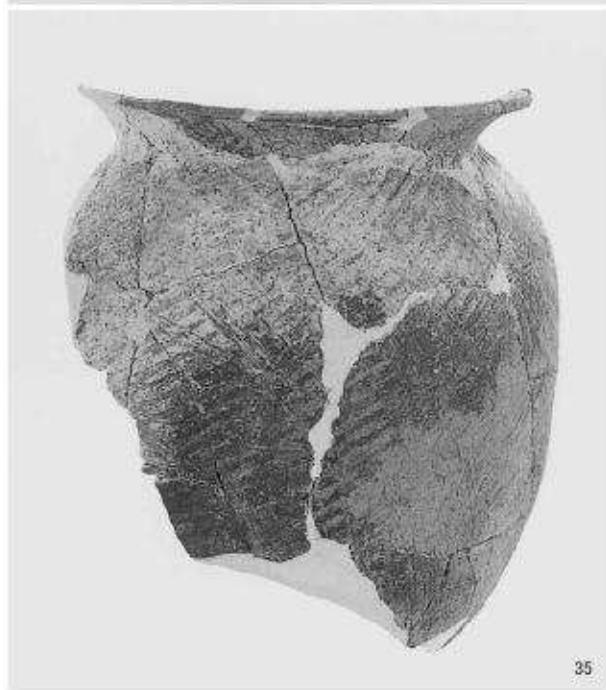
37



24



38

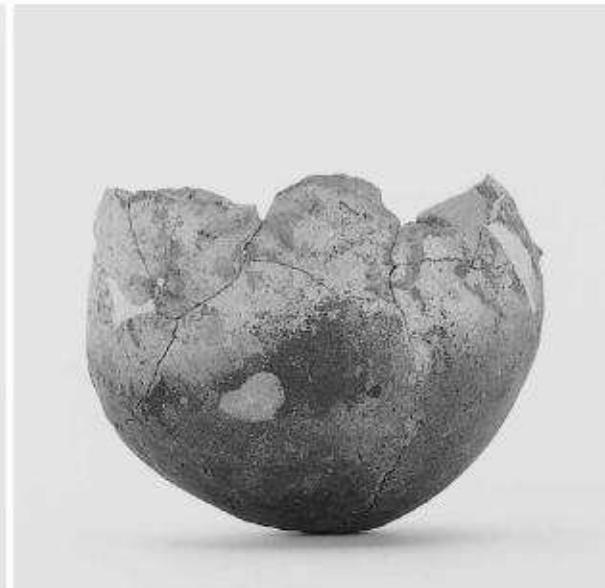


35



40

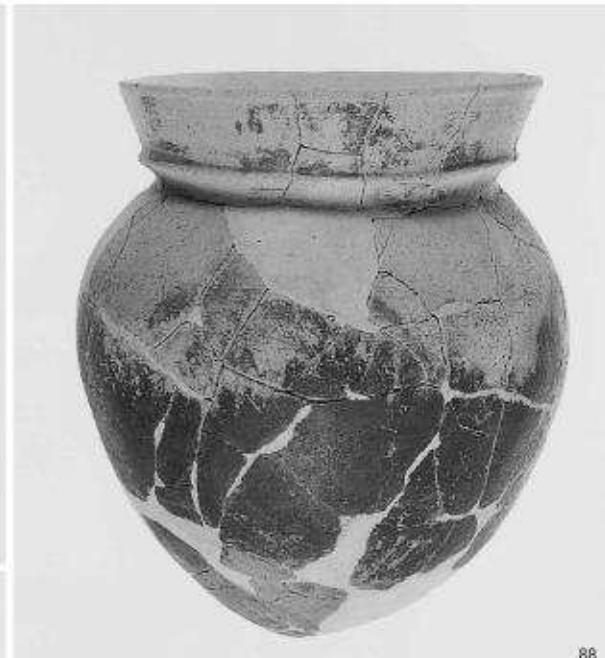
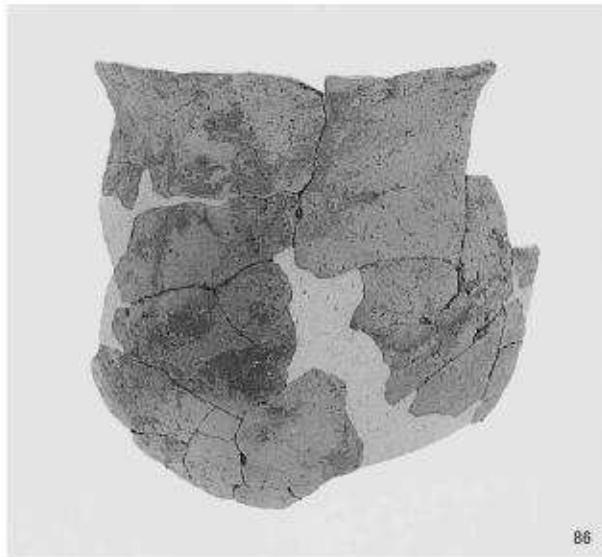
写真図版35 出土土器(3)



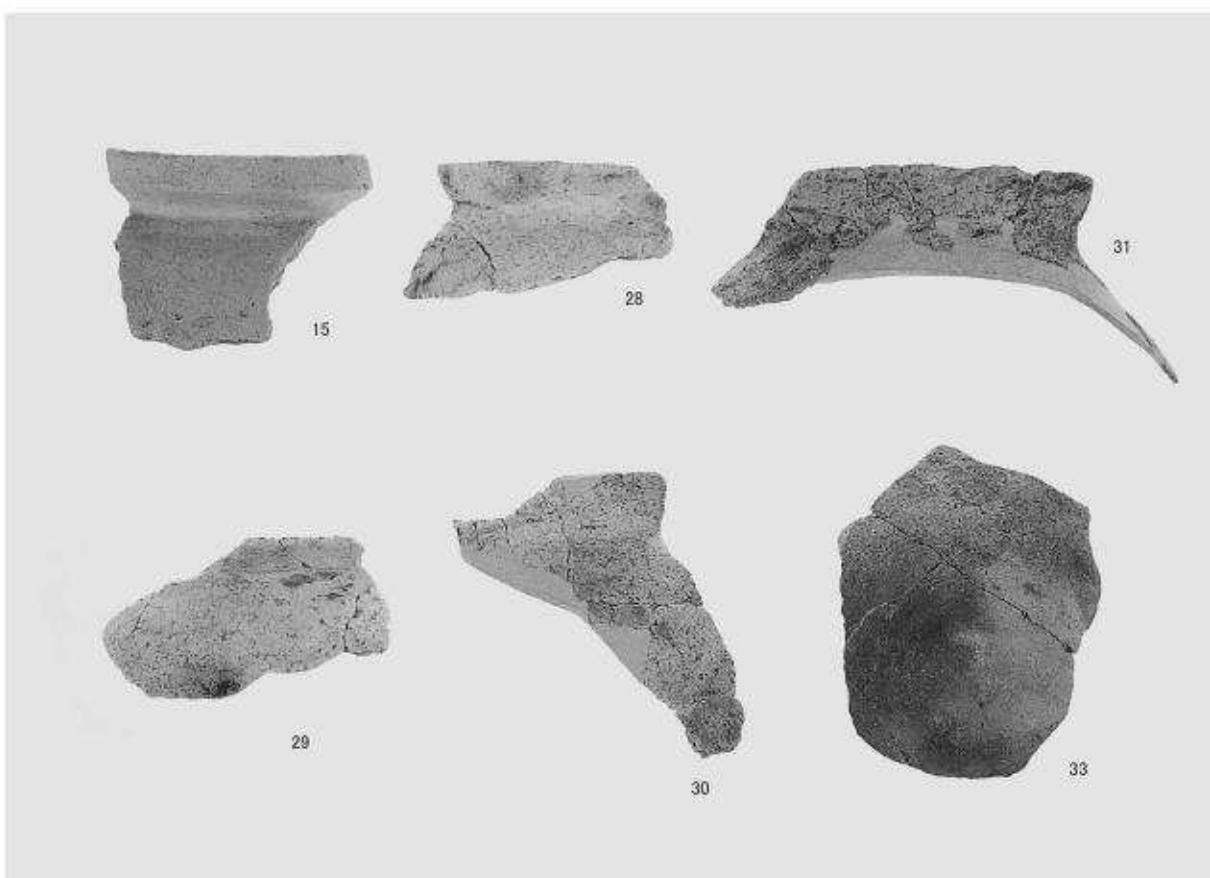
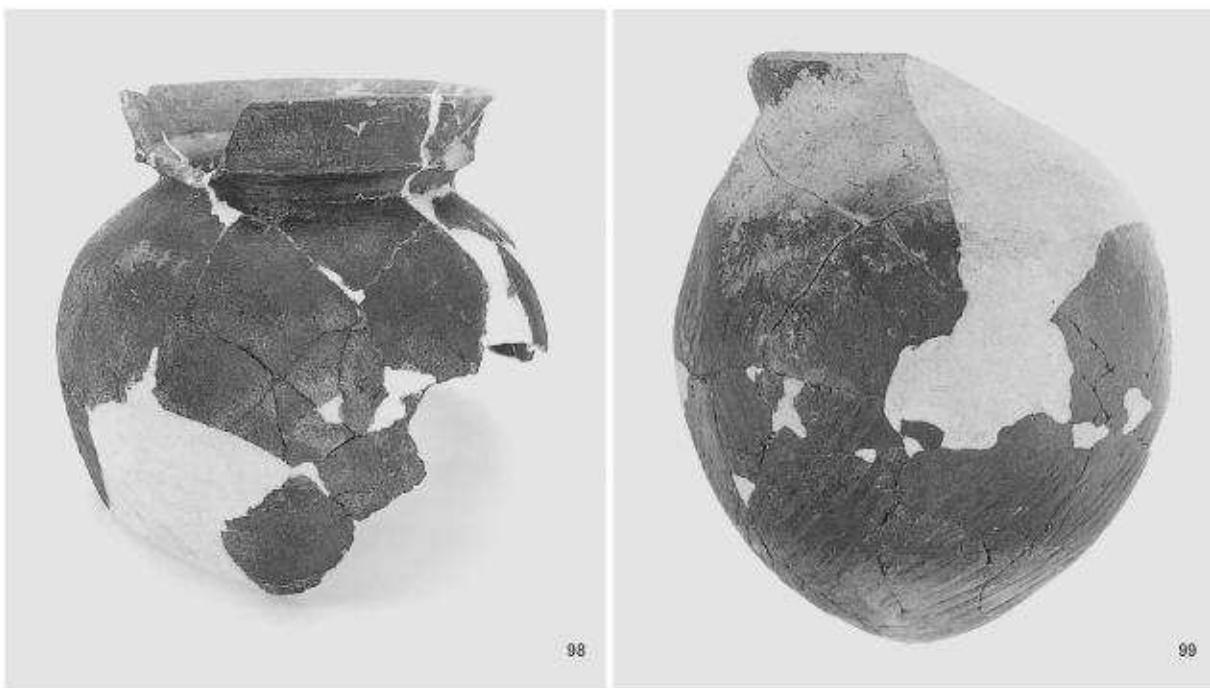


写真図版37 出土土器(5)

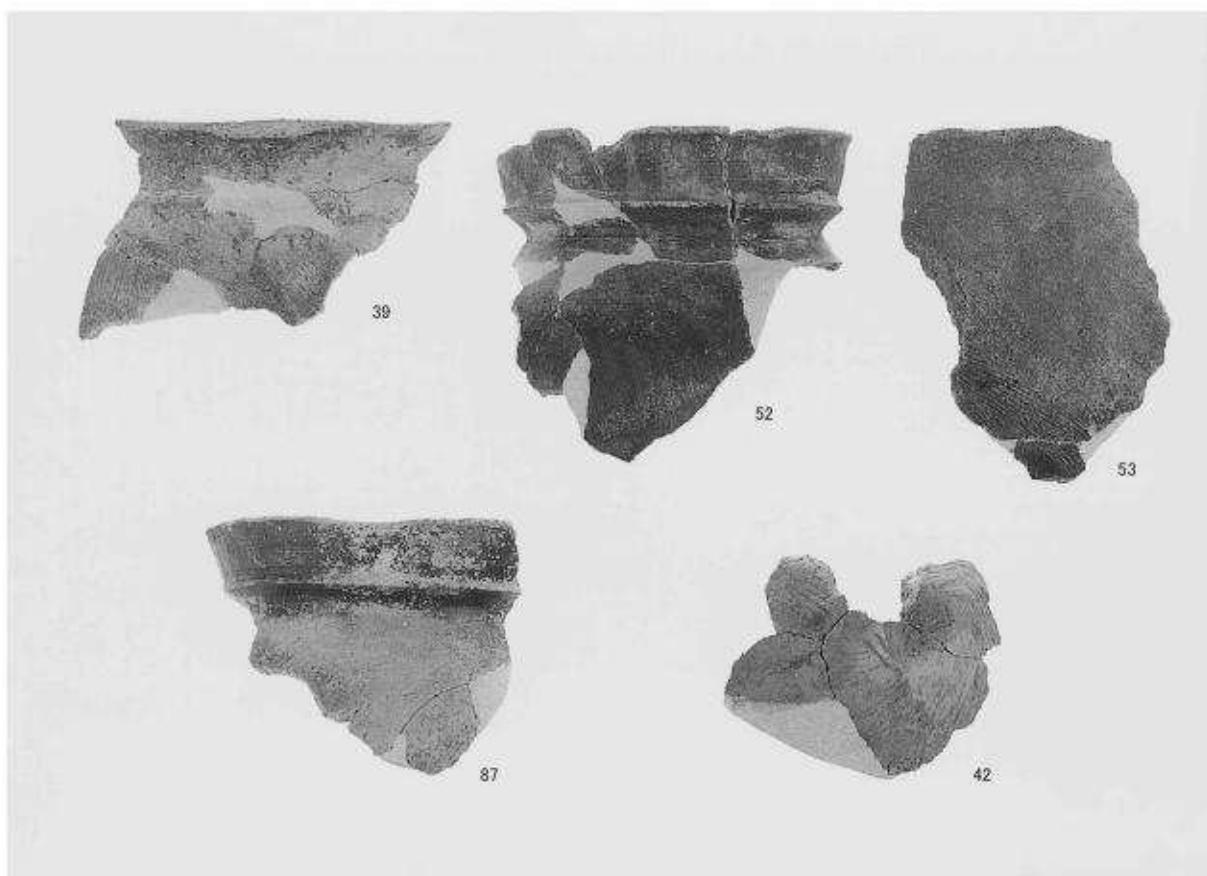
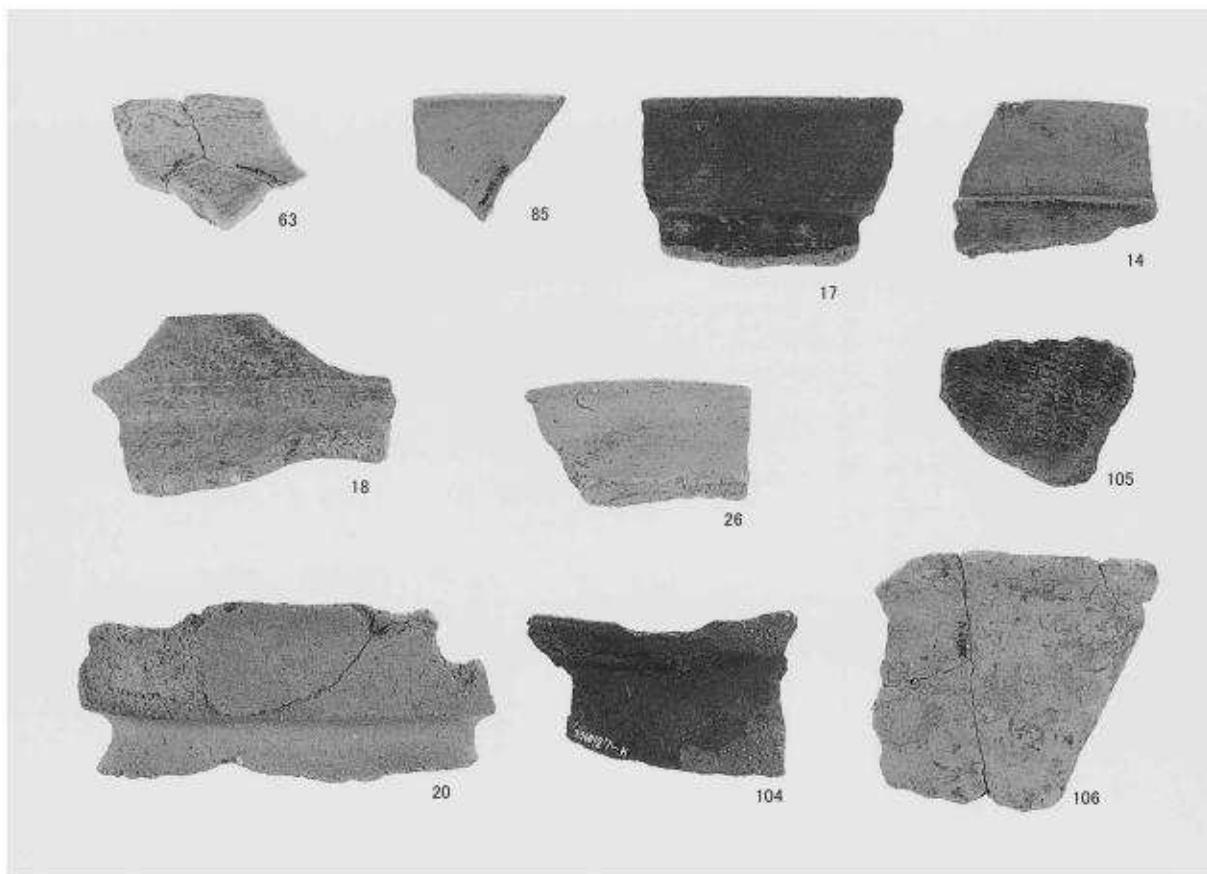




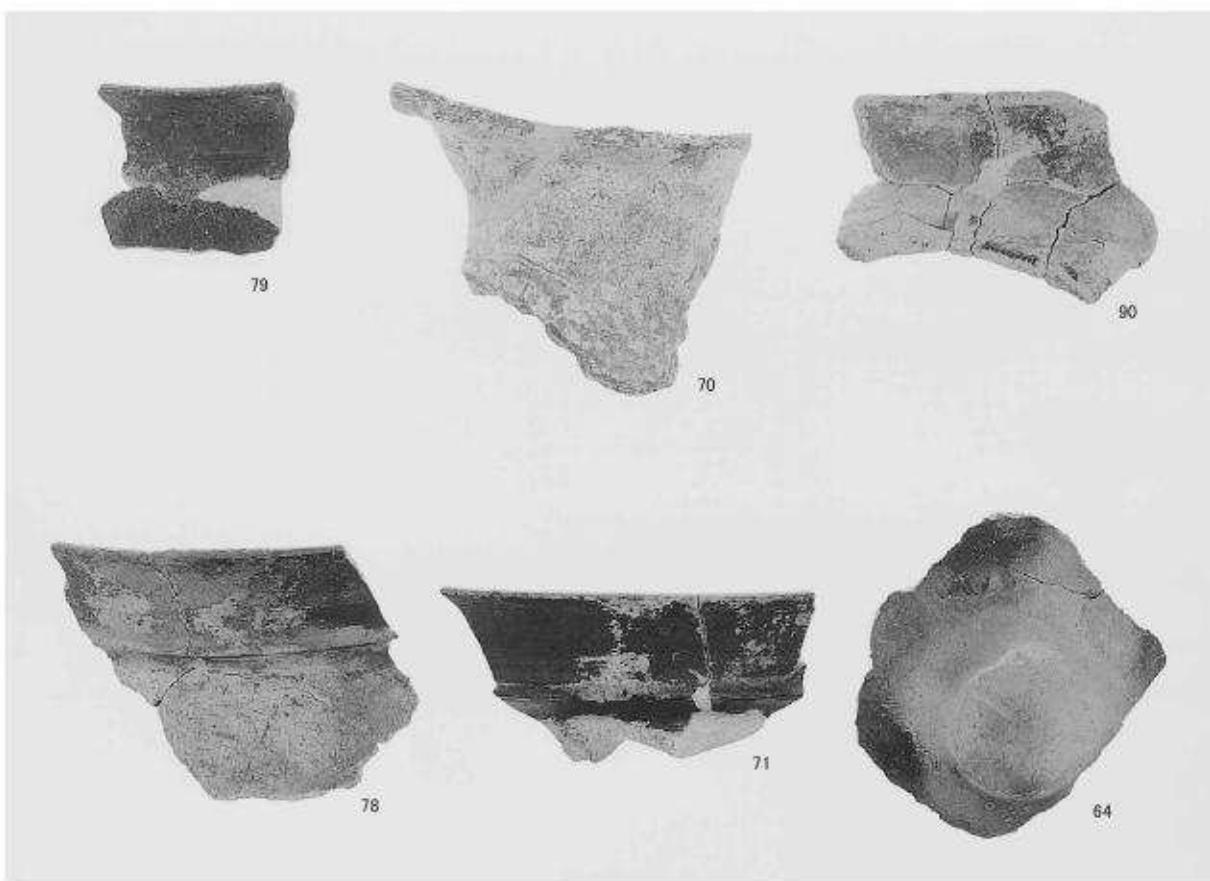
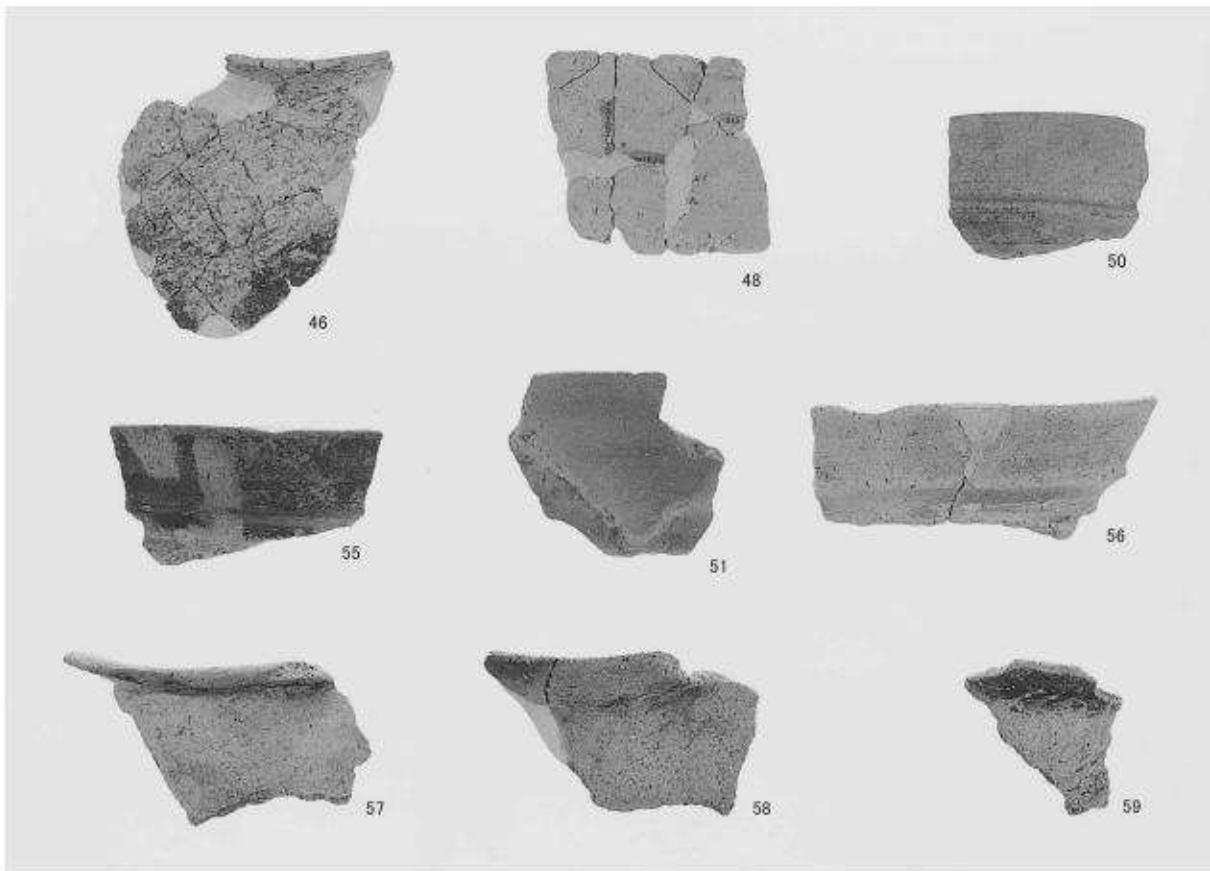
写真図版39 出土土器(7)



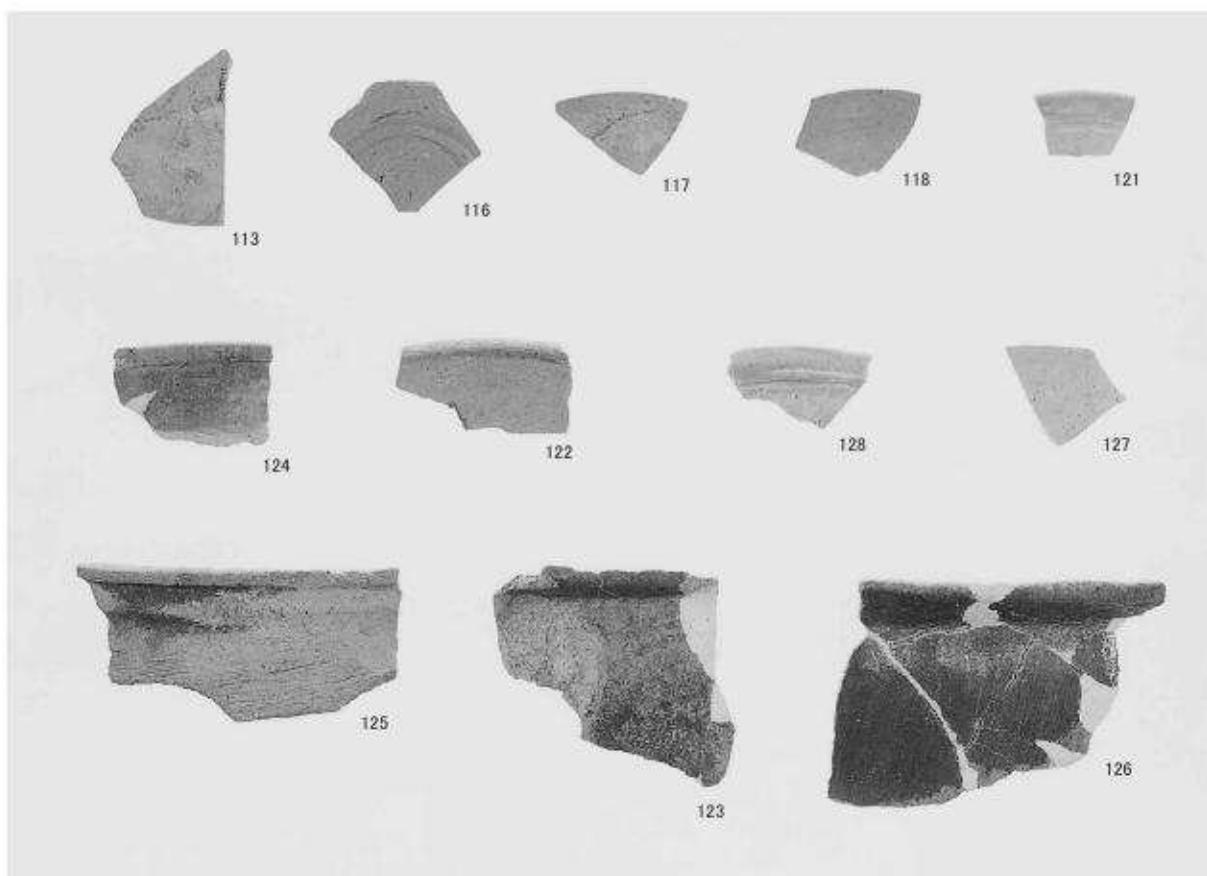
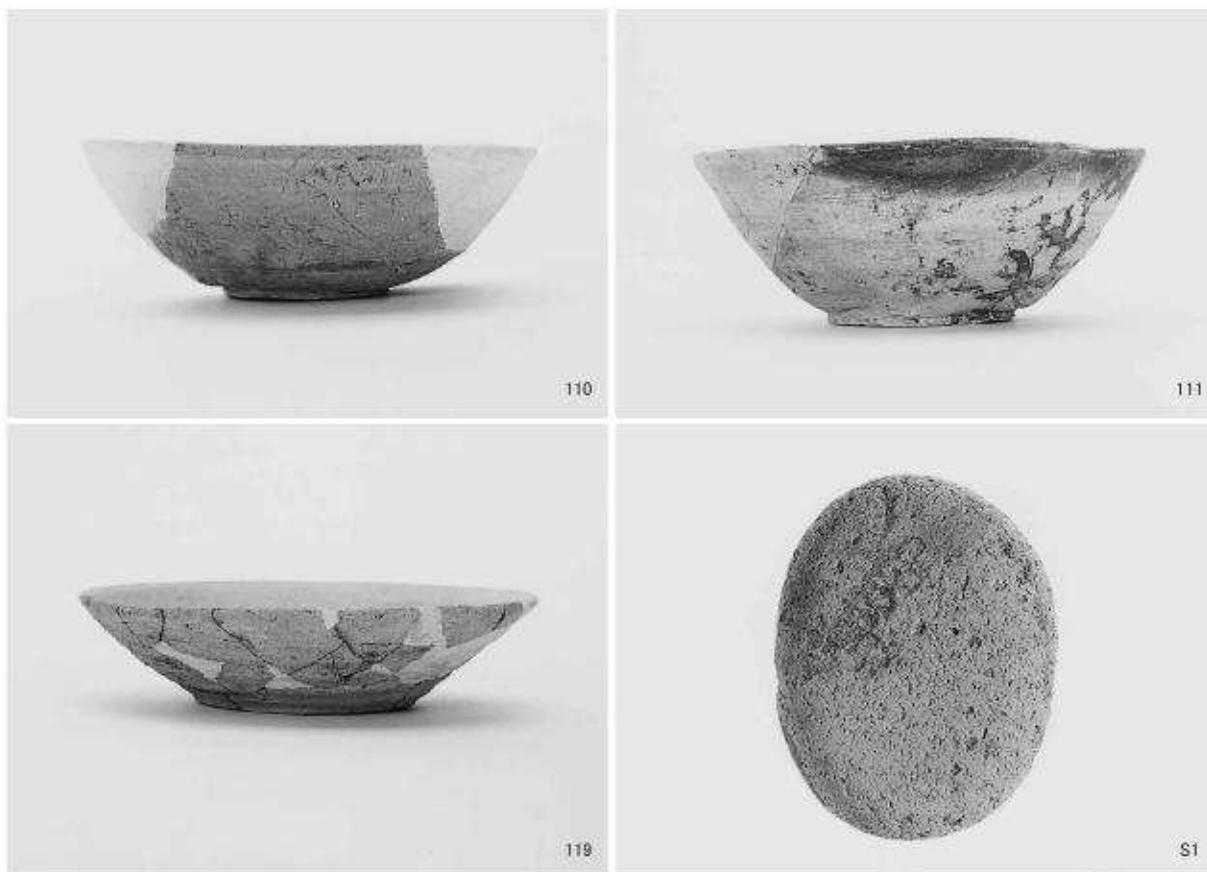
写真図版40 出土土器(8)



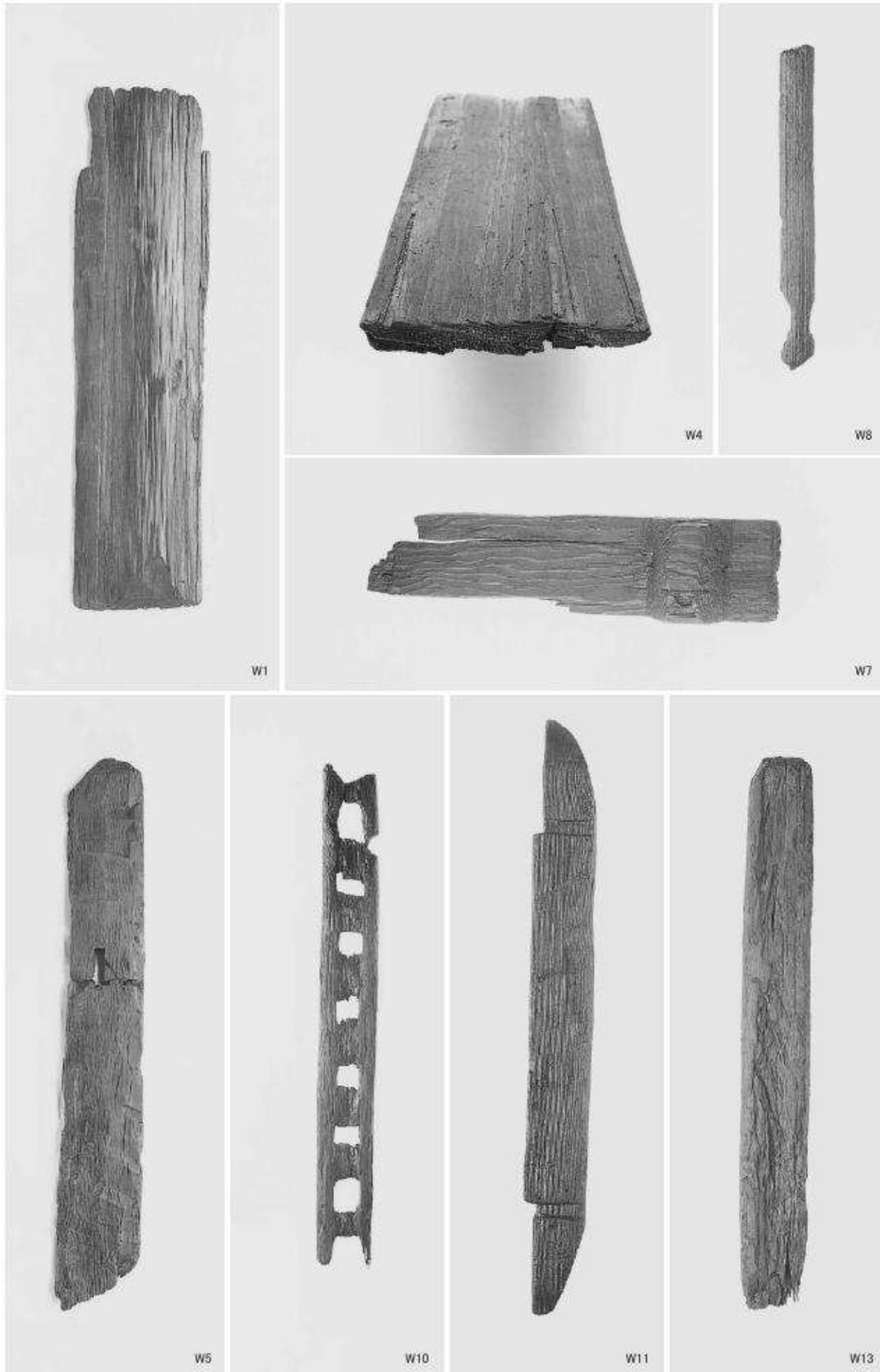
写真図版41 出土土器(9)



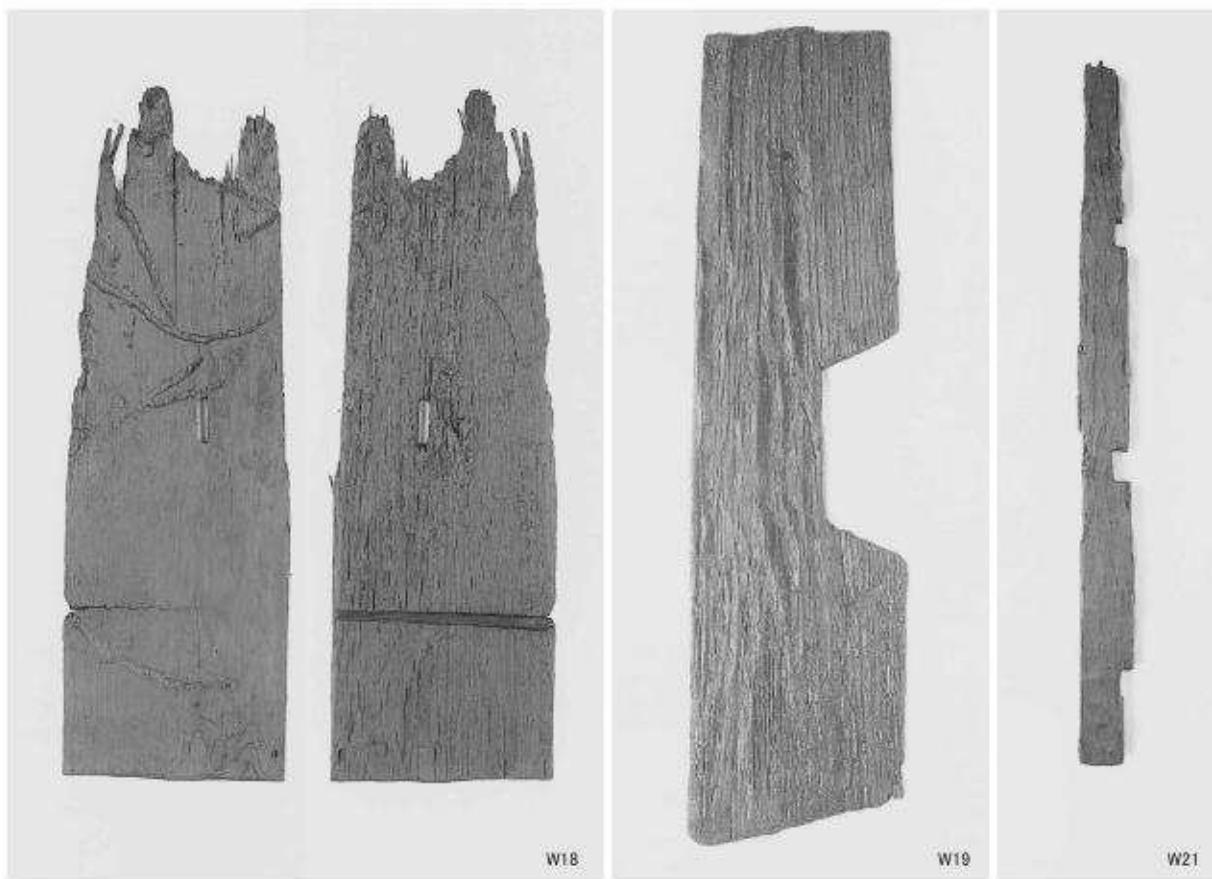
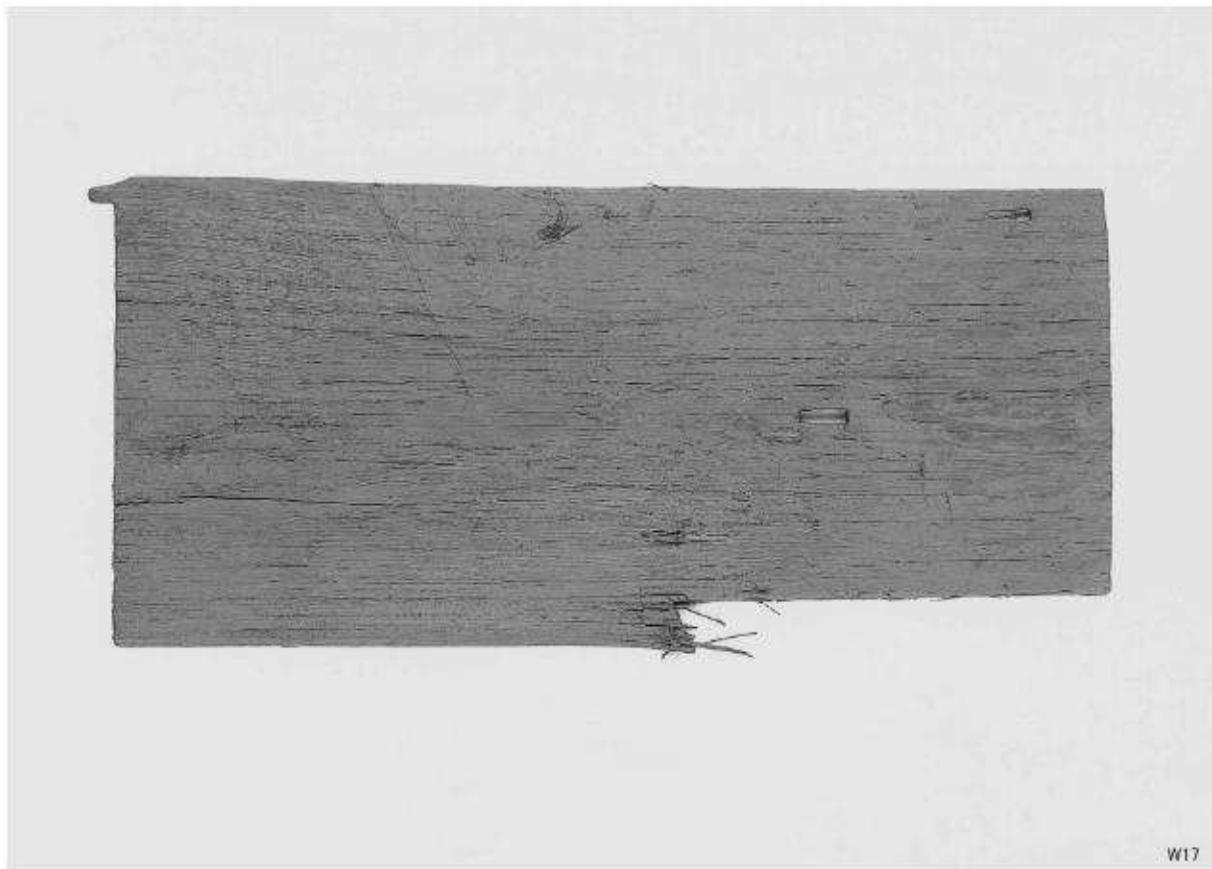
写真図版42 出土土器(10)・石器



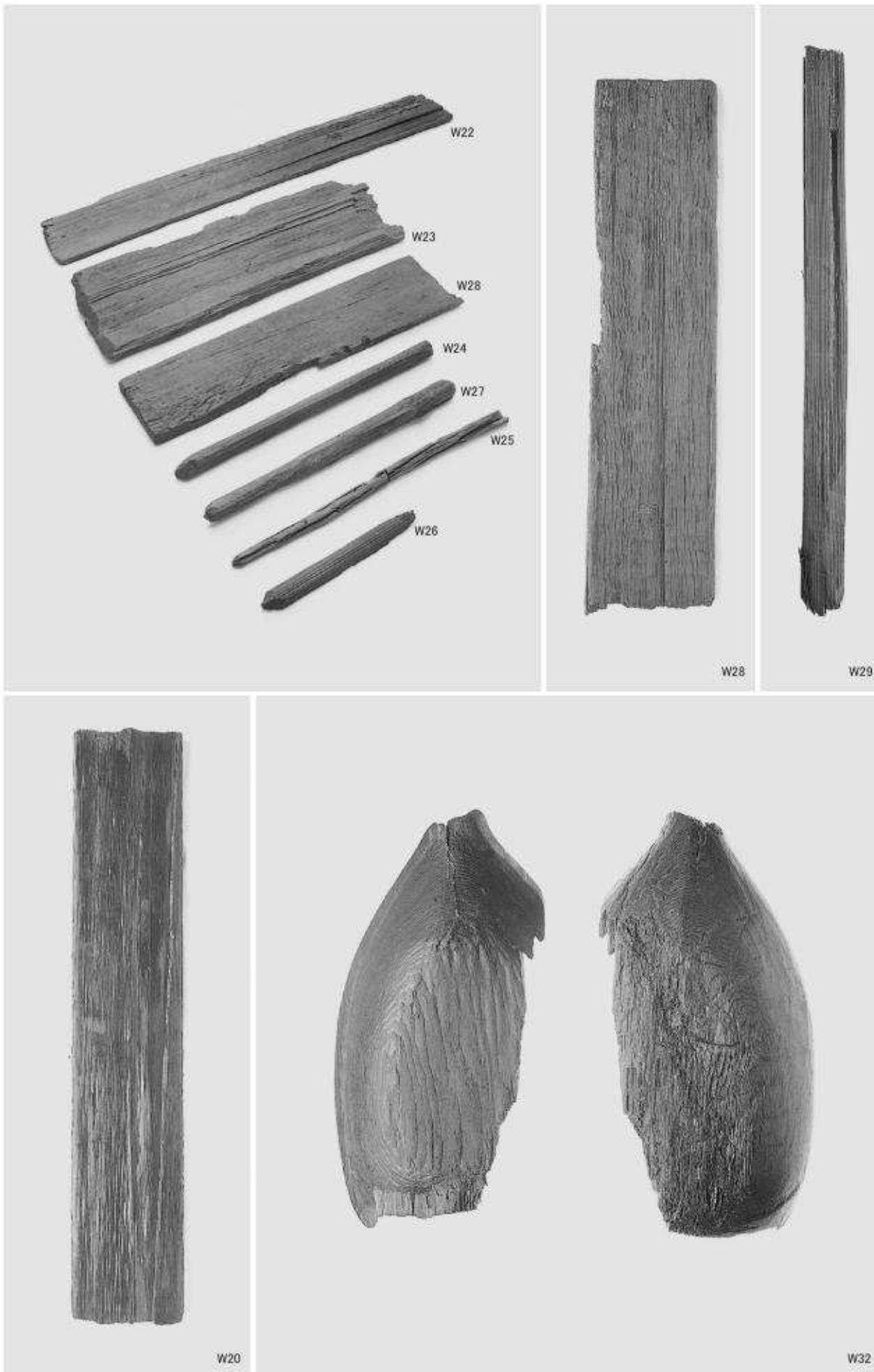
# 写真図版43 出土木器(1)



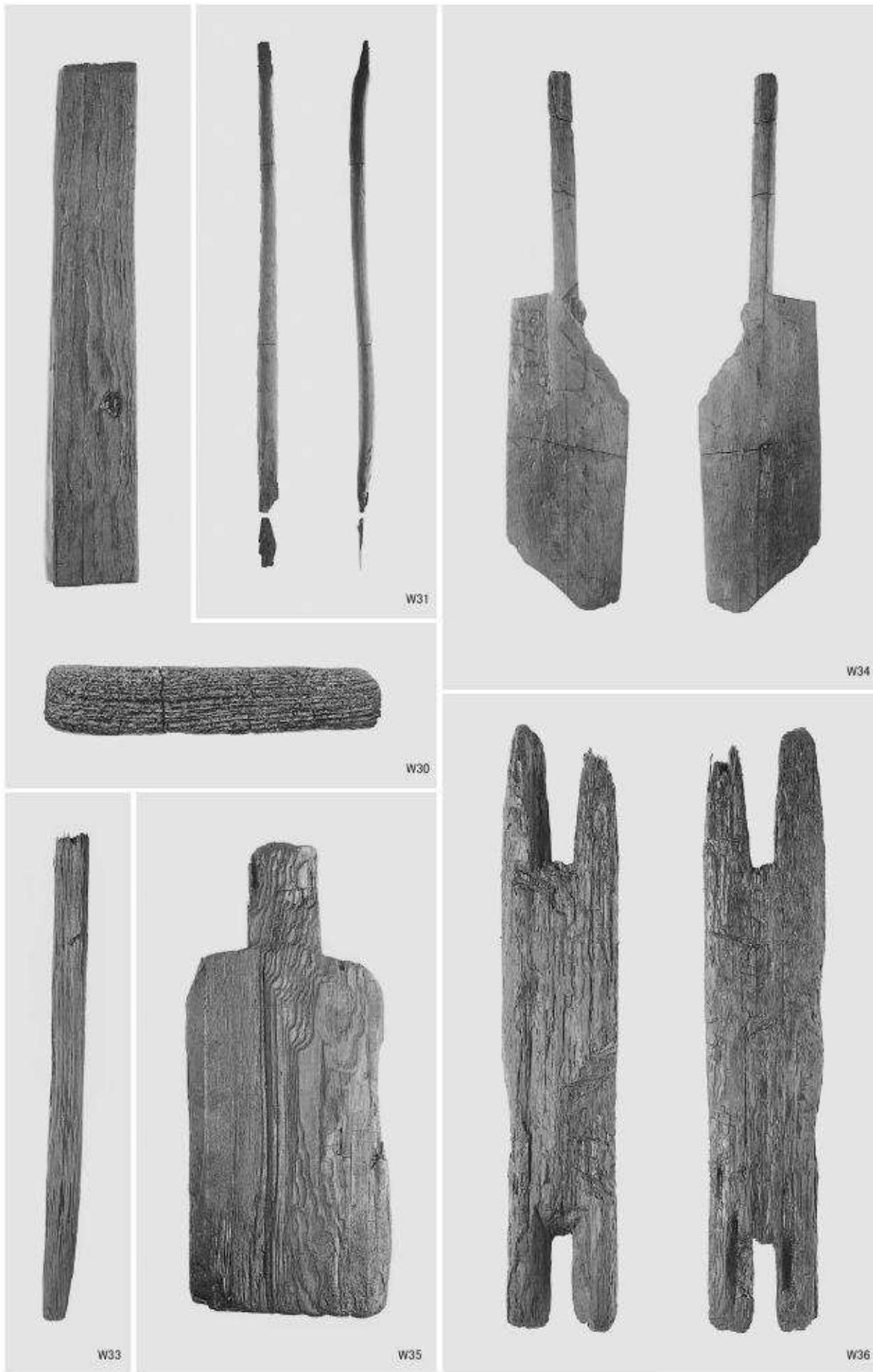
写真図版44 出土木器(2)



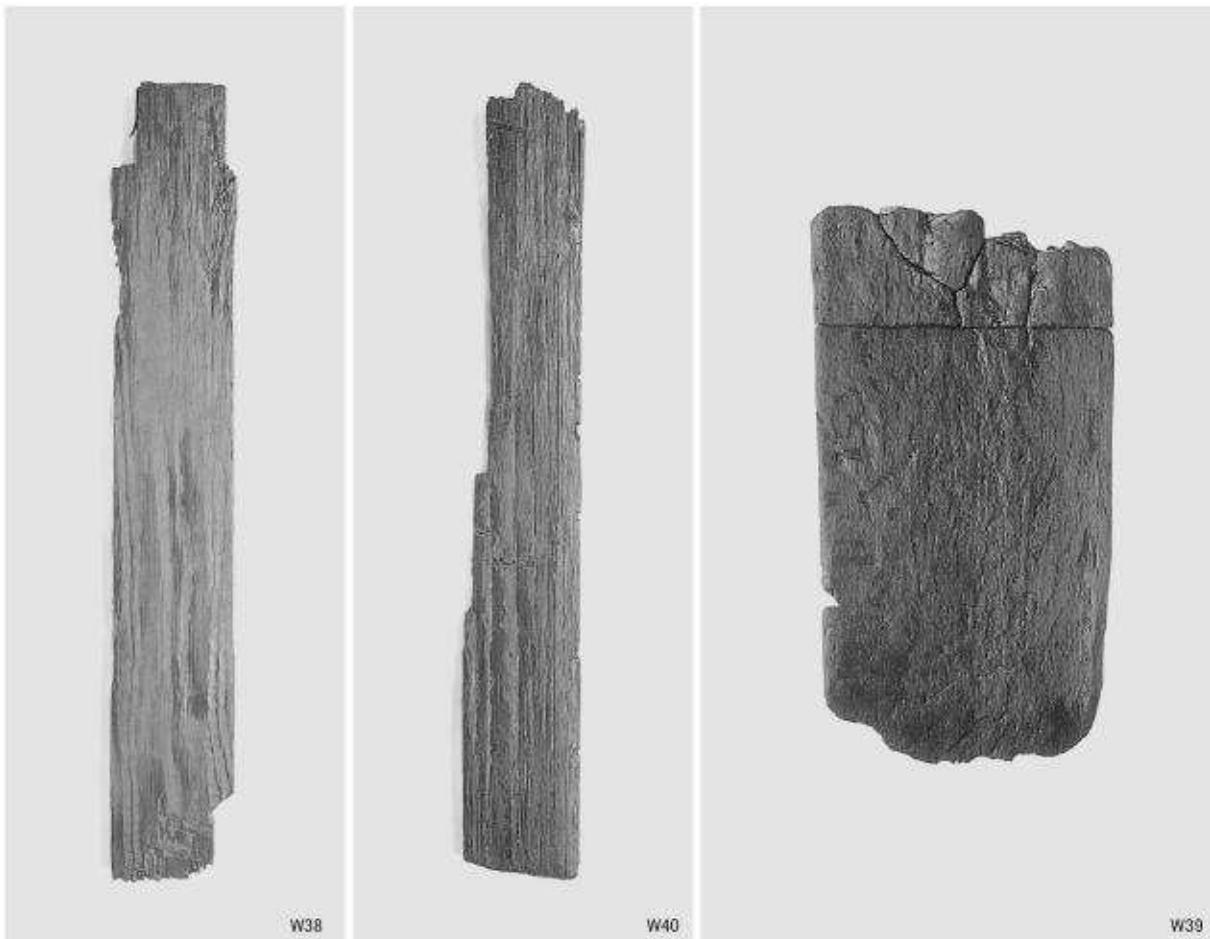
# 写真図版45 出土木器(3)



写真図版46 出土木器(4)



写真図版47 出土木器(5)



W38

W40

W39



W41

W42

W44



— Scale bar

---

---



